# DENKO

経大人のための情報誌

# 澂江

2013年48号

SPECIAL

80th anniversary

## 特集●大阪経済大学創立80周年記念

創立80周年記念式典／座談会：勝田泰久理事長・徳永光俊学長・佐藤武司会長

写真で見る80年のあゆみ／大樟会総会・ホームカミングデー／わがまちイチオシ　他

大阪経済大学大樟会

## 大阪経済大学創立80周年記念式典・祝賀会

# 多くの来賓を迎え、厳粛にかつ和やかに開催される

2012年10月1日(月)、創立80周年記念式典・祝賀会がホテル阪急インターナショナル(大阪市北区)で挙行された。記念式典には、文部科学省や日本私立大学協会、海外協定校など多くの来賓と、同窓会および大学関係者など939名が集まり満席となり、大阪商工会議所・佐藤茂雄会頭による記念講演会が行われた。引き続き会場を移して開かれた記念祝賀会も、多くの参加者で会場が埋め尽くされた。鏡開きのあと、会場のあちらこちらで歓談の輪ができ、和やかな雰囲気のなかで交流を深めた。また、80年の歩みを紹介するスライドが上映され、懐かしいキャンパスの風景に見入る人も多く見られた。OBを交えたグリークラブの合唱や、吹奏楽総部も記念演奏し、80周年の祝賀にふさわしく、その余韻は会場を最後まで包んだ。

受付風景

グリークラブによる学歌斉唱

開会宣言　高塚邦夫常務理事

式辞　勝田泰久理事長

記念式典・会場風景

来賓祝辞　文科省・森田正信課長

来賓祝辞　私大協・小出秀文事務局長

来賓祝辞　メンフィス大学・シャノン・ブラントンさん

# 100周年に向けて、さらなる飛躍をめざそう

## 創立80周年を祝い、100周年への決意を新たに

―― 勝田泰久理事長

午後1時、出席者全員が起立してグリークラブを中心に学歌を斉唱した後、高塚邦夫常務理事が開会を宣言し、創立80周年記念式典は厳かな雰囲気のなか幕が上がった。開会のあいさつで壇上に立った勝田泰久理事長は、1932(昭和7)年に浪華高等商業学校として発足し、1935(昭和10)年に昭和高等商業学校として再出発して以来、現在の4学部7学科、4研究科、3センターを擁する経済・経営系の高等教育・研究機関として発展をとげた本学の歩みを振り返るとともに、キャンパス整備事業などを中心にした創立80周年記念事業の取り組みを紹介した。そして、80周年を迎えた決意の一つとして「つながる力」のさらなる向上をあげ、「卒業生は8万6,936名に達し、本学の最大の財産です。卒業生と教職員、卒業生と在学生のつながりをさらに密接にしていきたい。それはまさに『つながる力』です」と述べ、「本日を創立100周年への発展となる新たなスタートとしたい」と結ばれた。

記念講演　佐藤茂雄大商会頭

講演風景

## 大阪から繁栄のモデルを創出しよう

―― 佐藤茂雄大商会頭

来賓紹介のあと、多数の来賓を代表して文部科学省高等教育局私学部私学助成課・森田正信課長、日本私立大学協会・小出秀文事務局長、海外協定校のメンフィス大学・シャノン・ブラントン(Shannon Blanton)さんが祝辞を述べられた。続いて、大阪商工会議所の佐藤茂雄会頭が登壇され、「大阪を元気にするために」をテーマにした記念講演会が行われた。佐藤会頭は「大正後期から昭和初期にかけて『大大阪』と呼ばれていた頃の大阪の製品出荷額は全国の約18%を占めていたが、現在はたったの5.4%」と大阪経済の現状を分析し、「東京一極集中で日本が成長するのならいいが、そうなっていない。大阪が率先して繁栄のモデルを創り出していかなければならない」と力説された。東京のまねをするのではなく、大規模な築港の整備や大胆な都市計画で「大大阪」を築いた歴史から学び、大阪のポテンシャルを活用してアジアをはじめとする新興国から大阪・関西への集客と投資導入を図り、新たなビジネスを創出しようと呼びかけ、会場は感動と拍手に包まれた。

CONTENTS


特集●大阪経済大学創立80周年記念
2 創立80周年記念式典・祝賀会
5 創立80周年記念事業
6 座談会
勝田泰久理事長
徳永光俊学長
佐藤武司会長
10 写真で見る80年のあゆみ
14 創立80周年記念事業募金
16 大樟会総会・交流レセプション
20 80周年学生企画
・・・
22 ゼミ紹介
26 増えてきた母校のメディア情報
28 飛躍するクラブ
30 経大TOPICS
新しい「学生寮」が、オープン!
31 大阪経済大学・周辺MAP
34 わがまちイチオシ
38 支部だより
53 OB・OGネットワーク
60 お世話になった先生からのお元気なお便り
62 ゼミ短信
64 本部だより
67 大樟会支部長・各種団体会長一覧
68 ズームアップ経大人
80 大樟会旗を新調しました

## 20年後、経済・経営系のNo.1私大を

―― 徳永光俊学長

記念式典の最後は、徳永光俊学長が謝辞を述べられ、2032年の創立100周年に向けた目標として、「学生たちの満足度評価においてNo.1の実現」、「大経大を支えている教職員はじめ全スタッフの力で、学生たちへの面倒見のよさNo.1の実現」、「教員においては、さまざまな分野で、ニッチでも特殊な分野でもいいので、学問研究においてNo.1をめざす」と、3つのNo.1を示した。「20年後の100周年に、経済・経営系の私立大学として、日本でNo.1をめざすことを宣言したい」と、新たな目標を力強く語ると、会場からはひときわ大きな拍手が沸いた。

謝辞　徳永光俊学長

祝賀会・会場風景

祝賀会・開会宣言　草薙信照副学長

乾杯　私大協・小出秀文事務局長

鏡開き

スライド上映

吹奏楽総部演奏

謝辞　北村實理事

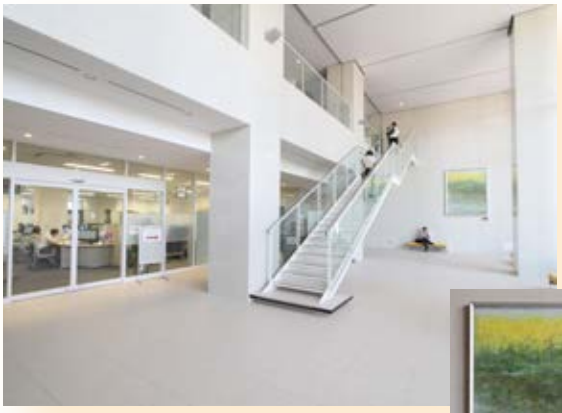
記念式典終了後、午後3時からは会場を移し、記念祝賀会が開かれた。中央のステージには4つもの酒樽が並べられ、大学関係機関や近隣、企業などの来賓と、勝田理事長、徳永学長、佐藤武司大樟会会長をはじめとした大学関係者が「よいしょ」の掛け声で鏡開きをし、祝賀会が始まった。

会場の中央には80周年記念を祝う華やかな氷の彫刻が飾られ、その周囲を囲むようにあちこちで歓談の輪が広がった。ステージでは、海外協定校からのプレゼント紹介、グリークラブや吹奏楽総部の演奏が行われ、祝賀ムードを盛り上げた。また、崎田洋一事務局長による80年の大学の歩みを紹介するスライド上映も行われ、懐かしいキャンパスの風景が映し出されると、80年の歴史の重みを改めて感じることができた。結びに、創立80周年記念事業幹事である北村實理事が当日の記念式典・祝賀会への出席の感謝と、記念事業への協力に深い感謝の意を述べると、記念すべき一日を締めくくるように会場は一段と大きな拍手に包まれた。

80th 創立80周年記念事業

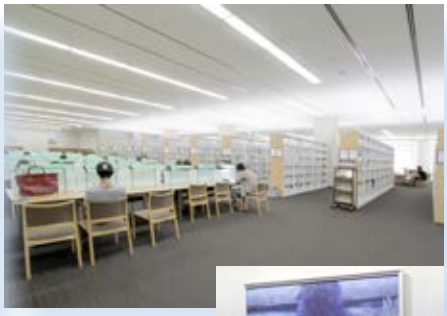
# つぎつぎに、整備されていくキャンパス

母校・大阪経済大学では、創立80周年記念事業として、会員の皆様からご協力いただいたご寄付等を活用して、キャンパスの整備を行っている。2012年末現在、新事務研究棟（J館）、新図書館、新学生会館、新体育館がすでに竣工し、学生・教職員に利用されている。また、最終計画の「新校舎」の建設も始まった。



★J館（1F）「春」

新事務研究棟（J館）



新図書館

★図書館（1F）「白い野に」

★図書館（3F）「路」

★80周年を記念し、日展会友の藤原郁子さんから寄贈された3点の絵画

新学生会館

新体育館

完成予想図

## 「新校舎」の建設始まる！

創立80周年記念事業の集大成として、キャンパス整備事業の中核ともいうべき「新校舎」の建設が始まった。旧本館・図書館が取り壊され、更地となった校地に、去る2012年9月25日、多数の来賓・関係者を迎えて、地鎮祭が執り行われた。その後、基礎工事がすでに始まり、2013年春に竣工予定、秋からは授業等に供用される計画だ。

座談会

# 90周年、100周年に向けて「つながる力」をさらに強め、未来へ

母校、大阪経済大学は、創立80周年を迎え、2012年10月1日記念式典を盛況裡に執り行った。さらに今後、90周年、100周年に向けて、次代を担う経大人に伝統をどうつなげていくのか、また新たな歴史をどのように築いていくのか。大学の生き残りをかけ、勝田泰久理事長、徳永光俊学長、そして佐藤武司大樟会長に、それぞれの立場から思いを語っていただいた。（聞き手＝広報部長・平田義行）

――大経大が創立80周年を迎え、10月1日の記念式典には939名もの方にご出席いただき盛況裡に終わることができました。また、2010年9月から記念事業もスタートしています。そこで、まず80周年という大きな節目にあたっての思いをお聞かせください。

**勝田**　80周年を迎えるにあたり、私は派手な行事をやるよりも「学生のために」ということを念頭に置いてきました。記念事業としておよそ100億円をかけて進めているキャンパス整備もその一つで、これは今の学生のためだけではありません。安心･安全なキャンパスにすることは、90周年、100周年につなげるための土台になると考えています。

**徳永**　式典と記念祝賀会に合わせて939名もの方々にご出席いただき、本当にありがたいと思っています。これまで培ってきた80年の歴史が凝縮されていると感じました。また、アイススケート部の2011年全国優勝に続く準優勝、準硬式野球部の全国ベスト4など、多くの体育会クラブがすばらしい戦績を残してくれていますし、芸術会や学術会のクラブも活躍してくれています。クラブだけでなくサークル活動も盛んです。こうした学生たちの課外活動が80周年に花を添えてくれています。

――会長は募金委員長を兼ねながら、いろいろ大変だったと思います。

**佐藤**　同窓生と本学とのつながりを考えてみますと、支部をしっかり固めることが同窓会としての大きな役割です。またご承知のとおり、現下の経済状況から募金が集まりにくくなっており、今回、同窓会メンバーが手分けして大阪、兵庫、京都の経大出身のオーナー企業を訪問したところ、これまで表に出てこなかった方々とも出会い、大変心強く思いました。その意味でも同窓会は、卒業生をまとめていくとともに、本学の応援部隊としてバックアップする気持ちを醸成していくことも大事な役割だと実感しました。

――記念事業の目玉の一つでもあるキャンパス整備計画は順調に進んでいますか。

**勝田**　2014年5月にはすべて完了する予定で、今年9月には新校舎で授業ができるでしょう。新校舎の完成により、安心・安全キャンパスになるというのは本学にとって最大の資産になります。

## きめ細かい教育で国際的な感覚を養う

――キャンパスが整備されて、次は中身として教育力が課題になってきます。教学の立場から、学長は今後どのような人づくりを目指しておられますか。

**徳永**　一つは、文部科学省から指摘されているように、グローバル人材の育成が大きな課題になります。私としては、能力のある学生、自分自身で伸びようとしている学生を育てていきたい。80周年のジャンプアップ海外留学奨学金により、今年は海外留学生の数が24名と、昨年の3倍に増えました。この点からも、やはり学生は海外に出たいという意欲を持っていることを実感しますし、また留学先から帰った学生はよりアクティブになり、確実に成長しています。そうした学生を積極的かつ継続的にサポートしていくことが必要です。モチベーションを高めるために「英語カフェ」をやったり、授業のカリキュラムも改革したりしなければならない。そういうことを今、強く思っています。

　ただし、一方では故郷である日本に関する文化や教養も同時に養成することが大切で、これらの能力を活かして海外に飛躍できる学生を育成することが重要な課題だと考えています。

**勝田**　学生を積極的に海外に押し出していくというのは、大学としても絶対に必要です。ただ語学については、これからの経済情勢を考えれば、英語だけじゃなく中国語もやっておくことが必要でしょう。

**佐藤**　語学も大切ですが、その上で個性化をどう図っていくか。大経大としての個性を出し、その中でグローバル化に向けた展開を考えていくべきだと思います。

――では、具体的に学長はどのようにグローバルな人材育成を進めようとお考えですか。

**徳永**　それにはまず国際的な視野を持つことが求められます。そのため、国際的な感覚で発言し対処できる能力を経大の4年間で養いましょうと。その意味でも学生時代に一度は海外に出たほうがいいですし、それによって自分自身が日本人であることが自覚できる。本学が目指すグローバル人材育成というのは、国際的かつ日本的な視野を持って活躍できる人材。

　その時に、本学の基本である経済の基礎はしっかりと勉強しておかなければなりません。その方法として、本学が強みとしている「ゼミの大経大」を前面に出して少人数教育を行っていこうと思います。2012年度も専門ゼミの応募率は全学部で95.8%と非常に高く、これはマンモス大学にはできません。私は、これからも本学のような中規模大学のメリットを活かしたきめ細かい教育を進めていくべきだと考えています。

**佐藤**　それはぜひ進めていただきたいですね。

## ゼミを通して就職力の強化を図る

――グローバル化の中で、いま産業界はどういう人材を求めているとお考えですか。

**勝田**　私がショックを受けたのは、関西経済連合会の懇談会でパナソニックの元専務が「大学の卒業証書よりも本人の品質証明書がほしい」と言われたこと。また昨年、ソニーの社長が「これからはアジアの学生を3割採る」と言われた。こうしたことを考えると、われわれも発想を変えなければならない。これまで日本は欧米に追いつけ・追い越せでやってきましたが、改めてアジアの一員として、尊敬される存在になる必要があると思います。それはリーダーシップや教養なども含めて。日本人にはそれだけの素養と資質があるはずで、企業はそういう人材を求めているのです。

**佐藤**　同窓会の中に「春秋会」というOBの組織がありますが、このあたりを掘り起こせば、就職問題にとって大きな力になると思います。また、とくに中小企業でいま大きな課題になっているのが、後継ぎ問題。親父さんが卒業生で、息子に後を継がせたいが勉強する機会がないという声をよく聞きます。私は、北浜キャンパスを活用し、経大発で後継者育成のための「後継者塾」をやれば大変喜ばれるし、社会的貢献度も上がるのではないかと思います。

**勝田**　3年前から一般社会人を対象にした「経営実践塾」を開いています。毎月著名な経営者に来てもらい、講師陣には必ず経大卒業生を1人入れてやっていますが、大阪では経営者の“ナマ”の話が聴ける機会が少ないだけに、受講者は毎回100名を超すほどの人気です。

**徳永**　北浜キャンパスを活用したいろんなプログラムはあっていいでしょうね。立地も良く、多様な企画が考えられると思います。

――本学の就職力の強化を図るために、学長はどのような方策をお考えですか。

**徳永**　就職に強いというのが大学の社会的評価につながりますから、「ゼミの大経大」としてゼミを通じた就職指導をさらに強めないといけません。そのため、プレゼンテーション力を高めるために今年で3年目となった「ZEMI-1グランプリ」など、これからもより実践的な教育をしていきたいと考えています。

**佐藤**　社会的評価という点では、マナーを守るという小さな事の積み重ねも大切です。私は体育会総会で、外部からの来客には軽く会釈をすることを提唱していますが、ぜひこれを全学的に進めていただきたい。

**勝田**　マナーを守ることは学生、社会人を問わず大切なことです。ところで、自分が読んだ本を推薦する書評合戦の「ビブリオバトル」という学生イベントに出ましたが、あれは大学らしい「知」の遊びで、いまの学生に欠けている表現力を身につけることができ、就職の面接にも役立つ。自分の意見を発表する場をつくるのも大学の仕事ですから、もっとやるべきです。

――理事長はかねがね金融界への就職に力を入れたいとお話しされています。

**勝田**　やはり経済大学ですから、金融機関への就職率を上げることが大きな目標です。ただ、私の言う金融はメガバンクだけじゃなく、本学が得意とする地銀や信金も含めてで、とかく金融というとグローバルなイメージを持たれますが、むしろ地域で認められる金融も非常に重要だと思います。

就職の問題では、「進路支援センター」を設けて事前相談を行っていますが、担当者から「覇気のある学生にするために、クラブ活動の参加を増やしてほしい」という要望があり、いま奨励しているところです。文化、体育系を問わず、クラブ活動に参加すれば社会性や礼儀が身につき、さらにコミュニケーション能力も養われると思います。

――就職の受け皿として同窓会の役割も大きいのでは。

**佐藤**　そうです。機会あるごとに同窓生が活躍されている企業にひとりでも多く採用して欲しいと要請しております。逆に「今の経大生はどんな個性を持っているのか」と採用側から聞かれます。近年、経大の評判も上がってきており、受け皿として同窓生企業からの支援が一層欲しいところです。

## 三位一体で「つながる力」を発揮

――さて、来るべき90周年、100周年に向けて、経大生や同窓生に何を伝えていくか。ビジョンをお聞かせください。

**徳永**　80年の伝統を礎に、さらに他大学との差別化を図るため、私は2010年の就任時に、「経済、経営系の私学No.1」を目指すと宣言しました。そして2012年10月1日の80周年記念式典で、具体的にそれを実現するには、まず1つ目は、「大経大に来てよかった」と感じる学生の満足度No.1、2つ目は教職員の学生たちへの面倒見の良さNo.1、そして3つ目がニッチな分野でもいいからトップを目指す教員の研究におけるNo.1を目指す、というお話をしました。この3つのNo.1を、今後100周年に向けて20年間じっくり積み上げていく。一方で、教育というのはまさに共に学びあうということですから、学生と教職員が互いに働きかけ助け合って、お互いに満足度を高め合う、双方向的な視点が必要だと思います。

**勝田**　私は、キャンパス整備をさらに進めるとともに、学生や教職員の居心地の良さにもつながるゆとりあるキャンパスを目指していきたい。また、地域から親しまれ喜ばれる存在として、町の人から「経大さん」と呼ばれる大学にしたい。そのためには、まだまだやらなければならないことが多いと思っています。

**佐藤**　同窓会から言いますと、やはり組織化をしっかりやっていくことが大学のバックアップ体制につながる一番重要なポイントになると思います。90周年には卒業生が10万人に達します。この多くの卒業生と大学が「つながる力」を発揮するには、同窓会と理事長、学長が一枚岩になることが大切です。三者がお互いに尊重しながら良いコンビネーションを持って行動すれば、さらに大経大が発展していくと思います。

――どうもありがとうございました。

司会の平田広報部長

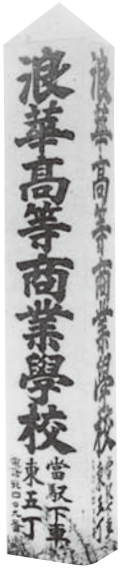
# 写真で見る 80年のあゆみ

## 揺籃期（浪華高等商業学校）

1932年（昭和7年）～1935年（昭和10年）

昭和7年4月、商都大阪の唯一の私立高商として誕生した本学は、設立時の紛争やその後の学生の期末試験放棄、同盟休校事件などから廃校の危機に直面するという事態に追い込まれたこともあった。

昭和9年10月、旧B館、当時の西大道町に校舎新築される




浪華高商への道しるべ
上新庄駅前に立っていた

## 創設期（昭和高等商業学校）

1935年（昭和10年）～1943年（昭和18年）

局面打開に文部省をはじめ大阪府、市、教育界、財界の強力な支援の下、昭和高等商業学校として再建、故黒正巌先生をはじめとする新進の学者グループが「融和と自由」を旗印に今日の本学の礎を構築された。

当時の教授陣
（前列左から大北文次郎、
一人置いて菅野和太郎、
その右が黒正巌の各先生）

日本経済史研究所　昭和13年4月、北京市に開設した中華経済研究所に呼応して本学にも建設され、永く大学院として利用されていた

国際協会昭和高商支部を結成して活躍する学友会研究部のメンバー(昭和11年9月)

当時の剣道部学生の通学風景

淀川公園勤労奉仕に参加する学生たち(昭和14年7月)

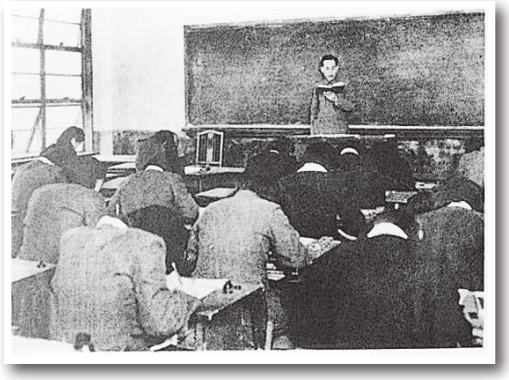
平田(へいだ)の渡し　現在の東淀川区豊里町と対岸の旭区豊里町を結ぶ渡船

学徒出陣壮行会　昭和18年11月、生徒は学業半ばにして時局がらやむなく入営、日に日に学内から生徒の姿は消えていった

## 転換期（大阪女子経済専門学校）

1944年（昭和19年）～ 1948年（昭和23年）

昭和19年、昭和高商の生徒募集が中止され、教授陣、校舎をそのままに大阪女子経済専門学校として女子学生を受け入れる。同20年学徒戦時動員令で学生は工場へ、学内にも日立造船上新庄工場として旋盤など工作機械が持ち込まれた。戦後の荒廃の中、昭和21年5月、共学制の大阪経済専門学校として再スタート、復員学生らを迎え、学園復興に努力された。



女子教育は初めての先生方、意気込みと戸惑いが同居していたとか

門標と女子学生

校庭で、人生とは・・・
夢多き乙女の憩い

## 大学昇格・大学中興期（大阪経済大学）

1949年（昭和24年）～ 1970年（昭和45年）

当時の大学正門

戦後の教育改革実施に伴い、昭和24年大阪経済大学設置が認可され、黒正博士が初代学長に就任、学園整備が始まった。昭和39年に経済学部に加えて経営学部を新設、同42年、43年に大学院経済学研究科修士・博士課程を設置、経済・経営系の専門大学として教学の充実に乗り出す。昭和39年から長年親しまれていた大隅グランドに本館研究室、事務棟、図書館などを新設。

安保闘争や大学立法反対スト決起大会などが盛んになり、荒廃した学舎が散見された時期もあった

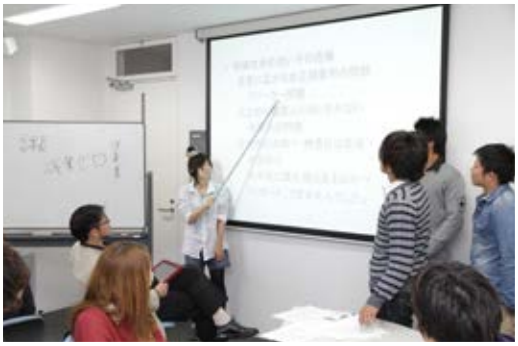
## 大学の現状（大阪経済大学）

1971年（昭和46年）～2012年（平成24年）

平成の時代に入り9年に経営情報学部（同24年情報社会学部に改組）、同14年に人間科学部を新設し、経済・経営系の伝統ある都市型中規模複合大学として基盤を固めつつある。今では女子学生が30％近くになり、学園風景も一層華やいだものになっている。

中央手前の旧本館と旧図書館は、新館建設のため現在は取り壊されている

新設なった本部事務棟（J館）



ゼミの経大にふさわしい授業風景

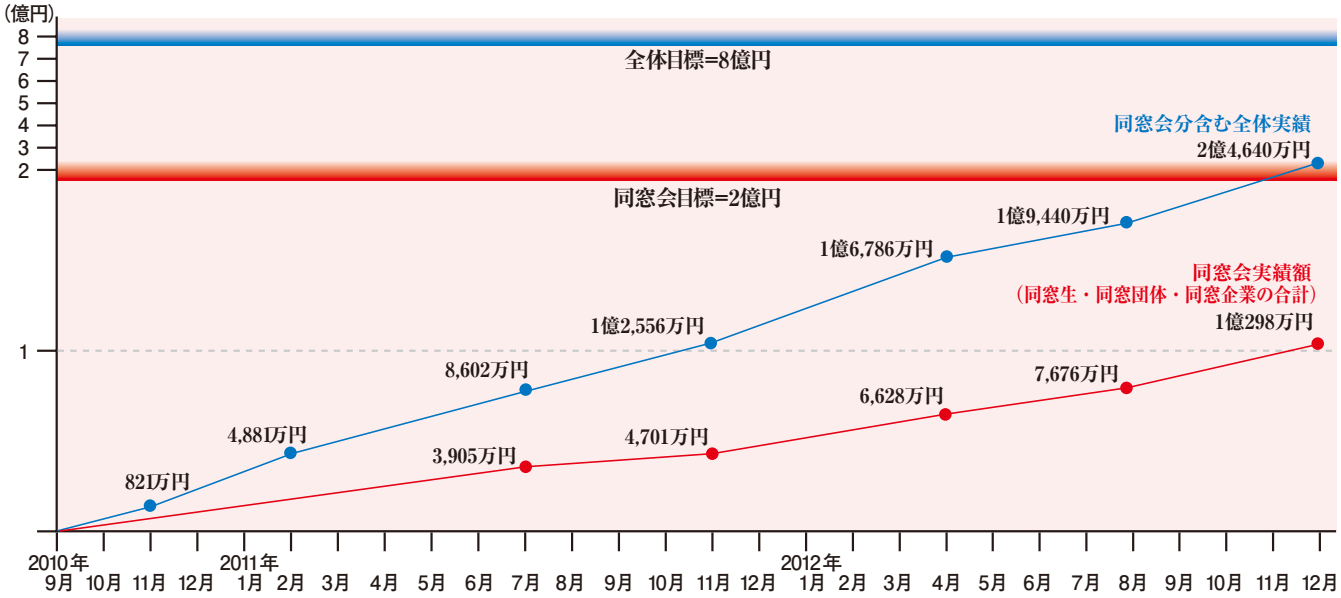
# わたしたちの母校が2012年、創立80周年を迎えました。

## 皆さまのご協力に感謝いたします。引き続きよろしくお願いします。

“Jump up ！（飛翔！）”を合い言葉にスタートした記念募金事業も最終年となりました。この間、記念事業も着々と進み、一人ひとりの協力と支援の積み重ねが具体化しています。あなたの母校愛に感謝申し上げます。なお、募金期間は2013年3月末日までです。引き続きよろしくお願いします。

| 中間報告 | 2010年9月30日～2013年1月8日※ |
|---|---|

（資料提供：創立80周年記念事業募金事務局）




◎大学ホームページにご寄付いただいた方のお名前と全体の金額を毎月更新しています。
http://www.osaka-ue.ac.jp/80th/guestbook/index.html

### 募金使途別集計表（2010.9.30 ～ 2013.1.8）※

| | 新図書館 | | 指定なし | | 振興基金 | | 合計 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 区分 | 件数 | 金額（円） | 件数 | 金額（円） | 件数 | 金額（円） | 件数 | 金額（円） |
| 役員・教職員 | 157 | 30,681,000 | 55 | 10,900,000 | 108 | 23,955,000 | 320 | 65,536,000 |
| 元役員・教職員 | 7 | 2,390,000 | 8 | 1,880,000 | 8 | 1,040,000 | 23 | 5,310,000 |
| 同窓生 | 649 | 27,506,000 | 416 | 13,190,000 | 267 | 9,683,000 | 1,332 | 50,379,000 |
| 同窓団体 | 26 | 4,277,130 | 50 | 22,337,119 | 28 | 2,686,000 | 104 | 29,300,249 |
| 同窓企業 | 17 | 3,915,000 | 22 | 15,190,000 | 13 | 4,200,000 | 52 | 23,305,000 |
| 後援会 | 329 | 4,279,500 | 180 | 1,936,000 | 154 | 2,385,500 | 663 | 8,601,000 |
| 一般企業 | 40 | 23,165,000 | 60 | 29,175,300 | 17 | 5,815,000 | 117 | 58,155,300 |
| その他 | 10 | 158,602 | 14 | 5,588,402 | 4 | 75,700 | 28 | 5,822,704 |
| 合計 | 1,235 | 96,372,232 | 805 | 100,196,821 | 599 | 49,840,200 | 2,639 | 246,409,253 |
| | 2,040 | 196,569,053 | | | | | | |

※指定なし：新図書館へ使用する旨、募金趣意書に記載済み
※同窓団体：同窓会支部、OB 会、同期会など
※同窓企業：同窓生が代表を務める企業
※その他：パソコン教室、地域の方（講座受講生）
※上記期間における処理件数・金額を表示

# 創立80周年記念事業募金の状況について

## 各同窓団体からのご寄付状況　（2013年1月8日現在）※

（敬称略）

| ●同窓会本部・支部・各種団体 | |
|---|---|
| 同窓会本部 | 15,000,000 |
| 池田泉州銀行経友会 | 600,000 |
| 泉南支部 | 500,000 |
| 愛媛支部 | 400,000 |
| 阪神支部 | 400,000 |
| 北大阪支部 | 300,000 |
| 熊本支部 | 300,000 |
| 神戸支部 | 300,000 |
| 丹有支部 | 300,000 |
| 豊中支部 | 300,000 |
| 奈良支部 | 300,000 |
| 和歌山支部 | 300,000 |
| 静岡支部 | 250,000 |
| 姫路支部 | 250,000 |
| 北摂支部 | 201,080 |
| 明石支部 | 200,000 |
| 尼崎支部 | 200,000 |
| 堺支部 | 200,000 |
| 但馬支部 | 200,000 |
| 東京支部 | 200,000 |
| 備後支部 | 200,000 |
| 福井支部 | 200,000 |
| 大樟体育会 | 200,000 |
| 社労士大樟会 | 200,000 |
| 税理士大樟会 | 200,000 |
| 大樟教育研究会 | 191,950 |
| 北河内支部 | 141,130 |
| 池田支部 | 120,000 |
| 愛知支部 | 100,000 |
| 淡路島支部 | 100,000 |
| 石川支部 | 100,000 |
| 伊丹支部 | 100,000 |
| 大阪市役所支部 | 100,000 |
| 岡山支部 | 100,000 |
| 香川支部 | 100,000 |
| 北九州支部 | 100,000 |
| 北播磨支部 | 100,000 |
| 岐阜支部 | 100,000 |
| 京都支部 | 100,000 |
| 高知支部 | 100,000 |
| 滋賀支部 | 100,000 |
| 徳島支部 | 100,000 |
| 富山支部 | 100,000 |
| 広島支部 | 100,000 |
| 北海道支部 | 100,000 |
| 宮崎支部 | 100,000 |
| 山口支部 | 100,000 |
| 日立大樟会 | 100,000 |
| 津山支部 | 60,000 |
| 箕面・豊能支部 | 20,000 |
| ●クラブOB／OG会 | |
| 吹樟会 | 228,089 |
| 空手道部OB会 | 200,000 |
| 山岳部OB会 | 181,000 |
| 体育会本部OB会 | 155,000 |
| 合気道部OB・OG会 | 100,000 |
| アイススケート部OB会 | 100,000 |
| カヌー部OB会 | 100,000 |
| 競技スキー部OB会 | 100,000 |
| 剣道部OB・OG会 | 100,000 |
| 硬式野球部OB会 | 100,000 |
| ゴルフ部OB会 | 100,000 |
| 自転車部OB会 | 100,000 |
| 柔道部OB会 | 100,000 |
| 準硬式野球部OB会 | 100,000 |
| 少林寺拳法部OB会 | 100,000 |
| ソフトテニス部OB会 | 100,000 |
| 日本拳法部OB会 | 100,000 |
| バスケットボール部OB会 | 100,000 |
| ハンドボール部OB会 | 100,000 |
| ラグビー部OB会 | 100,000 |
| ワンダーフォーゲル部OB会 | 100,000 |
| 卓球部OB会 | 50,000 |
| ●ゼミOB／OG会 | |
| 藤田ゼミOB有志 | 170,000 |
| 徳永ゼミ野風草会 | 100,000 |
| ●同期会 | |
| 23期生会有志一同 | 300,000 |
| 32期生会 | 125,000 |
| 三十期生会 | 100,000 |
| とりあえず34会 | 100,000 |
| 第14回生同期会有志 | 32,000 |
| 33会(24期生会) | 20,000 |
| ●その他 | |
| 大樟会総会・ホームカミングデー交流レセプション参加者 | 570,000 |
| 大学院同窓会 | 500,000 |
| 寮友会有志 | 145,000 |
| 同窓会東播磨支部役員一同 | 120,000 |
| 大樟文具天狗会 | 100,000 |
| 空手部OB会フランス支部 | 100,000 |
| 株式会社東急コミュニティー卒業生ご一同 | 36,000 |
| 同窓会和歌山支部那賀地区ゴルフ会有志ご一同 | 20,000 |
| 大樟教育研究会和歌山県 | 14,000 |

## 卒業回数別寄付状況　（2013年1月8日現在）※

注）同窓生で、理事・評議員の方は含まれておりません。

| 卒業回生(卒業年度) | 人数 | 募金額 |
|---|---|---|
| 第3回生(昭和12年卒) | 4 | 170,000 |
| 第5回生(昭和14年卒) | 2 | 15,000 |
| 第6回生(昭和15年卒) | 3 | 145,000 |
| 第7回生(昭和16年卒) | 2 | 260,000 |
| 第8回生(昭和17年卒) | 4 | 145,000 |
| 第9回生(昭和18年卒) | 2 | 110,000 |
| 第10回生(昭和19年卒) | 3 | 320,000 |
| 第11回生(昭和20年卒) | 8 | 325,000 |
| 第12回生(昭和21年卒) | 7 | 102,000 |
| 第13回生(昭和22年卒) | 13 | 711,000 |
| 第14回生(昭和23年卒) | 6 | 300,000 |
| 第15回生(昭和24年卒) | 8 | 10,225,000 |
| 第16回生(昭和25年卒) | 9 | 460,000 |
| 第17回生(昭和26年卒) | 7 | 290,000 |
| 第18回生(昭和27年卒) | 5 | 140,000 |
| 第19回生(昭和28年卒) | 6 | 80,000 |
| 第20回生(昭和29年卒) | 6 | 149,000 |
| 第21回生(昭和30年卒) | 20 | 509,500 |
| 第22回生(昭和31年卒) | 13 | 177,000 |
| 第23回生(昭和32年卒) | 33 | 1,268,000 |
| 第24回生(昭和33年卒) | 24 | 582,000 |
| 第25回生(昭和34年卒) | 20 | 375,000 |
| 第26回生(昭和35年卒) | 22 | 623,000 |
| 第27回生(昭和36年卒) | 21 | 1,185,000 |
| 第28回生(昭和37年卒) | 19 | 329,000 |
| 第29回生(昭和38年卒) | 23 | 538,000 |
| 第30回生(昭和39年卒) | 41 | 3,300,000 |
| 第31回生(昭和40年卒) | 25 | 615,000 |
| 第32回生(昭和41年卒) | 53 | 4,710,000 |
| 第33回生(昭和42年卒) | 46 | 2,969,000 |
| 第34回生(昭和43年卒) | 36 | 1,292,000 |
| 第35回生(昭和44年卒) | 67 | 2,843,000 |
| 第36回生(昭和45年卒) | 29 | 1,721,000 |
| 第37回生(昭和46年卒) | 47 | 1,450,000 |
| 第38回生(昭和47年卒) | 46 | 1,863,000 |
| 第39回生(昭和48年卒) | 54 | 2,318,000 |
| 第40回生(昭和49年卒) | 36 | 530,000 |
| 第41回生(昭和50年卒) | 28 | 1,225,000 |
| 第42回生(昭和51年卒) | 26 | 520,000 |
| 第43回生(昭和52年卒) | 20 | 284,000 |
| 第44回生(昭和53年卒) | 15 | 228,000 |
| 第45回生(昭和54年卒) | 19 | 858,000 |
| 第46回生(昭和55年卒) | 9 | 210,000 |
| 第47回生(昭和56年卒) | 11 | 350,000 |
| 第48回生(昭和57年卒) | 10 | 263,000 |
| 第49回生(昭和58年卒) | 15 | 530,000 |
| 第50回生(昭和59年卒) | 4 | 140,000 |
| 第51回生(昭和60年卒) | 9 | 167,000 |
| 第52回生(昭和61年卒) | 9 | 175,000 |
| 第53回生(昭和62年卒) | 8 | 85,000 |
| 第54回生(昭和63年卒) | 6 | 105,000 |
| 第55回生(平成元年卒) | 8 | 155,000 |
| 第56回生(平成2年卒) | 6 | 32,000 |
| 第57回生(平成3年卒) | 4 | 37,500 |
| 第58回生(平成4年卒) | 5 | 36,000 |
| 第59回生(平成5年卒) | 10 | 154,000 |
| 第60回生(平成6年卒) | 6 | 36,000 |
| 第61回生(平成7年卒) | 7 | 58,000 |
| 第62回生(平成8年卒) | 5 | 100,000 |
| 第63回生(平成9年卒) | 5 | 47,000 |
| 第64回生(平成10年卒) | 7 | 222,000 |
| 第65回生(平成11年卒) | 6 | 157,000 |
| 第66回生(平成12年卒) | 5 | 37,000 |
| 第67回生(平成13年卒) | 2 | 11,000 |
| 第68回生(平成14年卒) | 3 | 38,000 |
| 第69回生(平成15年卒) | 2 | 15,000 |
| 第70回生(平成16年卒) | 3 | 35,000 |
| 第71回生(平成16年9月、17年3月卒) | 6 | 36,000 |
| 第72回生(平成17年9月、18年3月卒) | 5 | 20,000 |
| 第73回生(平成18年9月、19年3月卒) | 7 | 52,000 |
| 第74回生(平成19年9月、20年3月卒) | 8 | 95,000 |
| 第75回生(平成20年9月、21年3月卒) | 14 | 477,000 |
| 第76回生(平成21年9月、22年3月卒) | 9 | 76,000 |
| 第77回生(平成22年9月、23年3月卒) | 10 | 151,000 |
| 第78回生(平成23年9月、24年3月卒) | 4 | 17,000 |
| 総　計 | 1,106 | 50,379,000 |

※　募金データは、すべて2013年1月8日時点で、募金事務局が把握・集計した数字です。実際の振込日と金融機関からの通知日とは一定の時間差がありますので、1月8日以前の振込が反映されていない場合もあります。ご了承願います。

# 80年の歴史を胸に、母校へさらにバックアップを

## 平成24年度大樟会総会が盛大に開催

学生の祭典大樟祭開催期間中の平成24年11月3日(土)、午前11時よりA館で、大樟会総会が開催された。今年も総会には、北は北海道、南は鹿児島から約240名の同窓生が参加。総会では、オープニングセレモニーに続いて感謝状の贈呈、記念講演が行われたほか、新しい大樟会旗がお披露目された。午後は交流レセプションが学生会館で行われ、1年ぶりに会った懐かしい顔との歓談が盛り上がるなど、和やかなひと時となった。また、同時開催で大学主催のホームカミングデーも開催され、ゼミ生の同窓会から150名が交流レセプションに参加した。

### 総会

当日は大樟祭も開催

受付風景

学歌斉唱　グリークラブ

会場風景

司会　小林真人常務理事

開式のことば　進木伸次郎実行委員長

ごあいさつ　佐藤武司会長

来賓祝辞　勝田泰久理事長

来賓祝辞　徳永光俊学長

感謝状贈呈

### 記念講演会

講師　中村雄二客員教授

講演風景

# 旧友との絆を深め、「来年も会おう」

## 記念講演、グローバルなテーマを熱心に聴く

総会は、午前11時に進木伸次郎実行委員長の開会宣言で始まり、グリークラブの学歌斉唱のあと、大樟会を代表して佐藤武司大樟会会長があいさつに立った。佐藤会長は、80周年を記念して「80」の文字をデザインした陶板（縦3m、横4m）を大学へ寄贈することを明らかにした上で、「新校舎ができて学校の形が変わるなど、80年の歴史の中で同窓会の足跡をどのように残していくかが大きな役割。これからも団結し、『大樟教育研究会』や『春秋会』を就職の受け皿として、少子化の時代に向けて同窓生8万7,000人の力でバックアップしていきたい」と強調。また、寄付について「10万円以上ご寄付いただいた方はお名前をボードに刻印し、図書館の外壁に掲げ、永久に顕彰します」とし、さらなる協力を呼びかけた。

続いて勝田泰久理事長は「80周年記念式典では諸先輩からいろいろ助言をいただき、また各支部から要望もいただいた。これらは本学を思えばこその熱い言葉と感じています」との謝辞のあと、「これからの90周年、100周年を展望し、本学ではグローバル人材の育成に向けて語学力の強化や海外留学の支援などに取り組んでおり、80年の歴史の中で築いていただいた基盤を礎に、新たな第一歩を進めていきたい」と述べた。

引き続き、徳永光俊学長は「昨日、第3回ZEMI-1グランプリが開かれたが、審査員に加わった企業の方からも高い評価をいただいた。これからも『ゼミの大経大』としてきめの細かい教育を行い、100周年に向けて経済、経営系の私大No.1を目指したい」と述べるとともに、就職率向上に向けて同窓生企業の支援を呼びかけた。

このあと、永年にわたり大樟会の常務理事として貢献された神田博氏に感謝状が贈られた。

恒例の記念講演会は「欧州通貨危機と日本外交」をテーマに、前・駐イタリア特命全権大使を歴任し、現在は本学の客員教授でもある中村雄二氏が、日本をはじめ世界中に影響を及ぼしているヨーロッパの通貨不安やその背景、今後の見通しについて自身の体験談を交えながら解説（別掲）。日本の経済にも密接に関わるグローバルなテーマとあって、参加者は熱心に耳を傾けていた。

午後からは会場を学生会館に移し交流レセプションがスタート。大勢の参加者の熱気に包まれる中、平田義行広報部長のテンポ良く歯切れのいい司会で、恒例の鏡開き、乾杯と続き、会場は和やかなひと時が流れた。各テーブルでは、「おー、元気やったか」と思い出や近況を語り合う同窓生の皆さんの笑い声で盛り上がり、すっかり打ち解けたよう。またこの日は、広島をはじめ奈良、和歌山、伊丹、北河内、北大阪の支部の皆さんも駆けつけたほか、29、30、32、34、35、36期の同期会も開かれ、旧交を温めた。そしてレセプションは終盤を迎え、全員で学歌、逍遥歌を大合唱。最後は万歳三唱で来年の再会を誓い合った。

なお、この日は大学主催のホームカミングデーも同時開催され、ゼミ教授ごとのミニ同窓会や模擬店ラリーが行われるなど、恩師や旧友との絆を深め合った。

### 交流レセプション

司会　平田義行広報部長

鏡割り　左から佐藤会長、勝田理事長、徳永学長

中締め　田村正晴副会長

乾杯　三木泰税理士大樟会会長

和やかな会場内

## 各支部・同期会のみなさん（交流レセプション会場にて）

29期生のみなさん

30期生のみなさん

32期生のみなさん

34期生のみなさん

35期生のみなさん

36期生のみなさん

北大阪支部のみなさん

広島支部のみなさん

奈良支部のみなさん

和歌山支部のみなさん

伊丹支部のみなさん

## 別会場にて

32期生会

とりあえず34期会

29期・30期会（「ひでよし」にて）

## ホームカミングデー（ゼミ同窓会、人間科学部同窓会）

徳永ゼミ

山口ゼミ

人間科学部

家本ゼミ

池島ゼミ

北村ゼミ

平成24年大樟会総会　記念講演

# 「欧州通貨危機と日本外交」

講師／中村雄二氏・大阪経済大学客員教授（前イタリア特命全権大使）

## 各国の思惑から通貨統合を進める

大樟会総会において、恒例の記念講演会が行われた。テーマは「欧州通貨危機と日本外交」。講師は客員教授・中村雄二氏で、外務省時代に特命全権大使としてイタリアに赴任。当時の経験に基づき、EU経済統合の進展とその政治的な側面、さらに日本外交の展望について分かりやすく解説していただいた。

### 経済基盤の弱い国の加盟も促進

ヨーロッパの通貨不安が世界中に影響し、日本にも波及しています。2010年ギリシャの財政赤字が表面化したことが発端となり、ユーロ自体にも問題が生じることとなったのです。本来であれば、一つの通貨を持っている経済圏は一つの金融政策、経済政策、財政政策を持つのが当然ですが、EUはこれを各国に任せたまま通貨統合を推し進めた。経済理論からすれば大変な矛盾です。EUスタート時の加盟国はフランス、ドイツ、イタリア、オランダ、ベルギー、ルクセンブルクの6か国で、これらはほとんど同質な国家でした。ところが、すそ野を広げた結果さまざまな経済状態の国が入ってきたわけです。

ヨーロッパは一つと言いますが、実はかなりメンタリティーの差があります。例えば1時に集会をするといえば、ドイツやスイスでは概ね1時に揃いますが、イタリアは1時20分くらいにならないと始まらない。この違いは古代ローマの支配の内外にまでさかのぼると思います。とくにイタリア、ギリシャは近世まで外国の支配下にあり、外国支配が続くと国民は政府を信用せず、自分で自分を守る伝統が培われます。

### 戦争回避に「統合」を選ぶ

これらの違いを抱えながら、なぜ共通の経済政策、通貨を導入したのか。ヨーロッパにとっては、20世紀に入って数十年間に2回もの大戦争を引き起こした結果、地位は大きく低下し、アメリカが世界で覇権をとりました。そこで、これ以上ヨーロッパで戦争を起こせば没落すると考えた。これが動機となり、ヨーロッパ統合に進むことになったのです。それと同時に、経済に問題がある国も受け入れたのは冷戦の影響があったと私は考えます。当時、ギリシャ、イタリアなどは共産党が強く、西側に引き留めるには共同体に入れたほうが得策という考えがあったからで、それでも通貨統合については「まだ将来の話」というのが実感でした。

では、なぜそれが変わったのか。それは1989年のベルリンの壁崩壊が起こったからです。ドイツ人は、これでドイツ分断が克服できると喜びましたが、他の国はどこもドイツ統一を望んでいませんでした。そこでドイツは「ドイツの統一はヨーロッパ統一の中でのこと」を強調した。こうした相反する思惑が、ヨーロッパ統一の促進の流れに合流し、通貨統一の動きが加速度的に進んだというのが実態だと、私は思います。

今後を見通すにあたり、忘れてはならないのが、たとえ通貨に問題はあっても安定を図るために通貨統合を維持していく、また一流国としての地位を保っていくというヨーロッパ諸国の意図。この認識は今も変わっていません。とはいえ、通貨に関して将来、不安がないわけではなく、一番怖いのはマーケットでコントロールが効かなくなること。もちろん、そうならないよう各国やヨーロッパ中央銀行も努力しています。

### 対米関係を転換するなら日本は別の手が必要

さて、ヨーロッパ統合が日本の外交にどのようなヒントになるか。

まず日米関係について。EU統合の動機の一つとして、アメリカに負けない一流国にするという意図がある半面、政治面、軍事面で地域の安定を図るためにはアメリカが必要であることも深く認識しています。こうしたことを考えると、日米関係においても、仮に対アメリカ関係で施策を転換するのなら、何か別の手を打つ必要があると思います。

尖閣問題については、領土問題は妥協が図れず、しかも国民感情に密接につながっているため、非常に難しい。ヨーロッパ諸国でも領土問題はあり、経済・通貨統合が進む中で問題自体が消えてしまうという例もありますが、それは一つの可能性として参考程度にすぎません。日本の状況はヨーロッパとあまりにも前提が違うため、短期的な解決の見通しはなく、現状がこれからも続くことを覚悟しなければならない。できるだけ問題が不必要に尖鋭化することは避ける努力をしていくべきでしょう。

80周年
学生企画

# 大経大の「つながる力」を学生らしい創意工夫でアピール

「学生のための80周年を」という主旨のもと、大学の80周年を記念する企画を学生から募集した。多くの企画が寄せられたが、6月のプレゼンテーションをへて「DEPP 大阪」「チーム大K大☆ Jumpers」「Rockin'on 大K大編集部」「龍馬勉強会」の4チームのユニークな企画が評価され、採用された。

## 子どもたちがつなぐ“人の命”と“地域の絆” 東淀川防災教育モデル事業

DEPP 大阪

「DEPP 大阪」(代表／山本宰さん・経済学部地域政策学科3年)は、東日本大震災の教訓を踏まえた防災教育モデル事業で犠牲者ゼロの地域づくりを目指して企画した。きっかけはゼミの授業で見た大地震の映像だった。

まず、実際に被災地の現状を知るため、山本さん以下27名のメンバーが9月27日～10月1日の日程で岩手県釜石市を訪れ、防災教育の取り組みなどを見て回った。山本さんらが注目したのは、子どもたちの判断で主体的に避難したため多くの命が救われた“釜石の奇跡”。そこで、震災前まで釜石東中学校に勤務し、現在は岩手県教育委員会で引き続き防災教育に取り組んでいる森本晋也先生から防災教育のねらいやノウハウなどを聞いた。

「DEPP 大阪」では今回の体験を活かし、東淀川区の住民の防災意識を高めていきたいとしており、防災意識調査班として参加した森田吏さんは「地域ぐるみでみんなの意識を高めていく大切さがよく分かった」と話している。

※メンバーの(前列左から)森田吏さん、山本宰さん、北田正利さん、(後列左から)高梨宏亮さん、北川佳郎さん、坂口知哉さん

## 80周年だよ！全員集合

チーム大K大☆ Jumpers

80周年のキャッチフレーズ「Jump up ！」にちなんで、「ジャンプする人」の写真を80周年にちなんで800人撮影する。これを企画したのが「チーム大K大☆ Jumpers」(代表／丸山智子さん・経済学部経済学科3年)。

撮影は7月から授業の空き時間や昼休みを利用して行い、「学生ならではの視点」を心掛けた。ジャンプの瞬間がシャッターチャンスとあって撮り直しもしばしばあったが、被写体になった学生は快く協力してくれたという。

撮影した学生や教職員は、おしくも目標にあと一歩の約750人。より多くの人に写真を見てもらうため、A館(フレアホール)のKEIDAI ギャラリーで展示し、写真集も1月には完成する予定だ。丸山さんは「この企画を通じて、撮影に協力してもらった学生や Jumpers のメンバー、さらに協力していただいた業者の方など、いろんな人とのつながりを感じました」と話す。

※メンバーの丸山智子さん(左)と木島卓也さん

## JUMP UP 大K大

Rockin'on 大K大編集部

「Rockin'on 大K大編集部」(代表／井上祐貴さん・経営学部経営学科3年)は、芸術の分野で活躍するOBの人たちを冊子で紹介し、大経大の学生であることを誇りにしてもらいたいとの思いを企画に託した。きっかけは、井上さんが所属する軽音サークルのOBがミュージシャンとして活躍しているにもかかわらず、学内であまり知られていなかったからだ。

当初は音楽界のOBに絞っていたが、プレゼン時に「芸術系にも広げれば」とのアドバイスを受け、OB探しが始まった。ネットで調べたり先生方の協力を得たりしながら探し出した切り絵作家や陶芸家、またラジオパーソナリティーとして活躍する7名のOBに取材を申し込んだところ、いずれも快諾。取材のために、遠く高知県まで足を運んだこともあった。

冊子は300部程度を発行する予定で、メンバーの野田美菜代さんは「企画を通し、自分の価値観が変わった。冊子が完成したらできるだけ多くの人に読んでもらい、将来の選択肢を広げてほしい」と話す。

※メンバーの(前列左から)村瀬亜沙美さん、野田美菜代さん、田中千智さん、(後列左から)山田経太さん、井上祐貴さん、前田知里さん

## つながれメッセージ 祭りを彩るキャンドルナイト！

龍馬勉強会

創立80周年へのコメントや東日本大震災への追悼、また自分の将来の夢など、いろんな思いをキャンドルに託して集う場を企画したのが「龍馬勉強会」(代表／粟坂史郎さん・経営情報学部ビジネス情報学科2年)。思い思いのメッセージを発表する場をつくりたいと思ったのがそもそもの発端だが、キャンドルの芯材にペットボトルの廃材を使うことでリサイクルにも役立ち、集まったキャップは途上国の子どもたちを救うワクチン代に活用されるなど、社会貢献にも一役。加えて、「夕方になると人が減る学祭の集客に役立てば」との狙いも。

9月からペットボトルを集める一方、手書きボードやツイッターでメッセージを募集し、800個のキャンドルを製作。11月4日の午後6時15分にA館前でキャンドルが点灯され、「80」の文字と経大のマスコットキャラクター「はてにゃん。」が浮かび上がると、「感動しました。この企画を通じ、大経大の素晴らしさを近隣の人たちに知ってもらいたい」と粟坂さん。

※粟坂さん等スタッフと手伝ってくれた皆さん

# 税理士大樟会

**税理士大樟会は大樟会の職域支部です。同窓会本来の目的である会員同士の情報交換や親睦を図るための組織だけにとどまらず、大学同窓会の任意団体としてはトップで近畿税理士会の認定研修団体に認定されております。同窓会の支部としては一味違った組織として積極的に活動しています。**

税理士大樟会は、平成3年7月20日に創立された大阪経済大学同窓会の職域支部です。会員は、大阪経済大学、大阪経済大学大学院の卒業生である税理士、公認会計士で組織され、「研讃と親睦」を目的とし、毎年の行事としては、研修会、会員同志の情報交換、親睦を図っております。同窓会のＨＰにもその都度税理士大樟会の行事、事業報告等をＵＰしておりますので、ご確認いただければ幸いです。

平成13年10月1日には創立10周年記念事業を、平成23年10月13日に創立20周年記念事業を大阪経済大学において開催致しました。

卒業生の税理士、公認会計士の皆様のご入会を心からお待ち申し上げます。

**会長　三木　泰（昭和44年卒）**
**（近畿会岸和田支部）**

税理士大樟会が設立されて21年目を迎えております。

大阪経済大学・大学院の卒業生の税理士、公認会計士の「職業会計人」集団で現在107名（平成24年9月30日現在）の会員が所属しております。

ですが、大阪経済大学･大学院には税理士、公認会計士の卒業生が約400名前後いらっしゃると言われています。

1人でも多くのかたのご入会をお待ちしております。

**組織担当副会長**
**市原　孝志（昭和49年卒）**
**（近畿会明石支部）**

**お問合せ先・ご入会連絡先**

組織部長　平岡　彰信（昭和50年卒）（近畿会上京支部）　中野会計事務所　内
TEL：075（431）4361　　FAX：075（431）4365
Mail：hiraoka@nakano-cpa.com

# ゼミ紹介

大阪経済大学は、経済・経営系の中規模私立大学として、他大学にない特色ある教育を実現している。なかでも、多人数の総合大学ではできない、中規模大学ならではの特性を活かした授業が「ゼミ」である。いい意味で、学生と教員との距離が近く、親しい関係を築きやすく、アットホームな授業のなかで、学生が主体的に課題に取り組んでいく。「ゼミの経大」といわれる所以である。今回は、経済・経営・情報社会・人間科学の４学部から、４名の先生の協力を得て、そのゼミを紹介する。

経済学部

## 「雇用」「労働」「フリーター」問題に取り組む

地域政策学科准教授
**伊藤　大一**

伊藤ゼミのテーマは社会政策、とくに雇用問題や労働問題、フリーター問題などです。各学年25名程度の学生が在籍しております。ゼミのスケジュールを書くと次のようになります。

2回生秋学期　新書レベルの社会政策導入教育、4回生から2回生までの合同コンパ。2月に4回生と2回生のスキー・スノボ旅行、白馬岩岳で開催。

3回生春学期　テキストを使った社会政策演習。夏休みに、3回生は就職対策合宿。内定をとった4回生がコーチ役。

3回生秋学期　卒論に向けた各自のテーマ決定とテーマ研究開始。

4回生　前半就職活動、就職活動終了後順次卒論執筆へ。卒業前の2月は2回生とスキー・スノボ旅行へ。

卒論執筆前の低回生時のゼミは、テキストリーディングを中心にしながら、実際にあった労働問題のトピックなどをおりまぜて進めていきます。「父親が帰ってくる時間」を念頭におきながら労働時間の問題を議論したり、結婚・出産、子供の成長といった人生のイベントごとに年功賃金はどのように変化していくかなどを議論したりしています。

4回生時には卒論を執筆してもらいます。これまでの卒業論文のテーマは、「日本の年金制度」や「介護保険制度」など社会保障関連のものから、「フリーター問題」「貧困問題」「日本型能力主義」など多彩でした。面白いところでは、「突撃ネットカフェ難民」と題して、実際新大阪のネットカフェで1週間泊まり歩き、そこで集めたデータから卒論を書いた学生や、「大経大女子学生100人に聞きました仕事観と結婚観」と題して、100人の女子学生にアンケート調査をした学生までいました。

伊藤ゼミの勉学面以外の特徴は、「飲み会などゼミの企画には強制参加」としている点です。特に教員に飲みに誘われたら必ず付き合わなくてはなりません。大学で勉学を納めたあとは、企業に就職し、社会生活を送らなければなりません。そのさいに、新人として周りの人から可愛がってもらうために、「飲み会には必ず行く」これが大事であろうと考えております。お高くとまっているような学生は伊藤ゼミにはおりません。

先日おこなわれました同窓会では、久方ぶりに卒業生と会うことができました。みな、職場での苦労を語りながらも、その成長した姿にうれしく思ったものです。今後も、大阪経済大学の学生を教育し、日本の民主主義社会を担う人材として送り出していきたいと思っております。

経営学部

# 江島ゼミナール：お店の解剖プロジェクト No Fun, No Gains!

経営学科教授
**江島　由裕**

江島ゼミでは、特定のお店の現象に徹底的にこだわり、その現状と課題をリサーチする。大学で学習している理論や知識を総動員して、客観的（データを使って）かつ主観的（感性を使って）に状況を分析する。これまでに扱ったお店は「タリーズコーヒー・ジャパン」「クリスピー・クリーム・ドーナツ」「ユナイテッド・アローズ」「時屋（ラーメン店）」「テネリータ・メゾン（アパレル店）」「シュクレテラス（シフォンケーキ専門店）」など。できる限り学生に身近で興味をもつお店を選ぶ。

例えば、クリスピー・クリーム・ドーナツの心斎橋店に行列が出来ている、という情報が入ると、その行列の実態をまず把握してもらう。待ち時間はどれくらいか？　どの時間帯も行列ができているのか？　平日と休日とで行列の数は異なるのか？　どんな人が待っているのか？　待っているお客の顔つきは？　開店から閉店まで学生が交代で観察調査を続ける（人のカウントと待ち時間のチェック）。行列の実態を正確につかんだら、「なぜ、行列ができるのか」という分析に入る。ドーナツもほぼ全種類食べつくす。値段もチェックする。マーケティングの４Ｐの検証も怠らない。納得がいくまで議論と観察調査を繰り返す。そのプロセスで経営学の理論と実践の双方向を経験できると考えるからだ。

但し、学生は大変。なぜなら、通常のゼミ活動日以外も時間がとられるからである。しかし、満足度は極めて高く大きく成長していることを感じる。江島ゼミは、楽しく学ぶ “No Fun, No Gains!” をモットーにしている。そして、こうした活動は自己満足に終わらせることなく形に残す。具体的には、学内のゼミナール大会や奨学論文、学外の西日本インカレや社会人基礎力グランプリにエントリーし入賞にこだわる。それは、努力は報われることを体感してもらい、自信を持ってほしいからだ。卒業論文集は2年半の一貫したプロジェクトの集大成を本として出版したい野望ももっている。

江島ゼミは、徹底して一つのテーマにこだわり、考え抜き足を使って地道に行動する。そして、それをチームで実践する。つまり、徹底的に考える力、行動する力、チームで協働する力を鍛える。まさに、これは企業が望む人材能力とも一致するだろう。就活のエントリーシートには、他の誰も経験していない自分だけのストーリーを書ける。面接にはプロジェクトのサマリーをお土産に置いてくるようにアドバイスする。概ね、反響は良好。

ここまでゼミ活動を美しく語ってきたが、必ずしもいつも成功している訳ではない。試行錯誤を重ねて失敗を次のゼミ活動にいかしている。それは私自身の成長にもつながる。江島ゼミに入る前（2年の秋時点）と後（4年の卒業時点）とで少しでも学生の力が向上していることを願ってゼミ活動に日々取り組んでいる。

情報社会学部

# 都市と地域の社会学：地域社会の理想と現実

情報社会学科教授
**難波　孝志**

「『地域社会』とは、どこのことを指すのでしょう？」とゼミで学生に質問すると、都道府県とか市町村といった答えが返ってきます。こちらの意図としては、町内会とか、行政区とか、小学校区とか、人の顔が見える範域を、地域社会として捉えたいわけですが、スマートフォンやタブレット端末に慣れ親しんだ学生たちには、もはや人の顔の見える範域は、自分たちの生活には、不要な概念になってきているようです。

しかしながら、他方では、農山漁村の「限界集落」や都市の「限界コミュニティ」が話題になっています。これは、高齢化や過疎化が進行し、地域社会の運営が困難になった社会のことを指します。一般の社会では、お互いの顔の見える地域社会というのは、必要なんですね。

本ゼミでは、大都市から過疎地に至る各地を社会調査することによって、地域社会の理想と現実を浮き彫りにすることを目標としています。具体的には、ある地域をターゲットとして、市役所や区役所、町村役場等々に出向いてインタビューを行ったり、アンケート調査を実施したり、地域の生の声を集めて、コンピュータを駆使してそれらの分析を試みます。

「遊ぶときは徹底的に遊ぶ。勉強するときは徹底的に勉強する。」が、本ゼミの基本方針です。２年生秋学期に、まず地域社会に関する文献を読み漁ります。秋学期が終わる頃、「卒業研究」に向けて各自のテーマを決めていきます。３年生春学期には、アンケートの設計方法やインタビューの技術をマスターします。そして、コンピュータを使ったアンケート調査分析の方法を学修することに力を注ぎます。３年生の夏休みからは、いよいよ調査に入ります。３年生の秋学期には、Excelの統計関数や分析ツール、統計パッケージの使用法、統計学的知識を徹底的にマスターします。４年生では各自「卒業研究」に取り組みます。３年生、４年生では、都市や山村・離島を歩く企画（ゼミ旅行）も実施しています。こうして、自分の足で調査に出向いた経験や、データと顔を突き合わせて分析した経験は、彼女ら彼ら（難波ゼミは女子学生の方が多いんです）の就職活動に対して、大いに役に立っているようです。

学生が取り組む地域調査の結果は、単なる卒業研究に留まらず、地域住民の生活に直接影響を及ぼす可能性があります。例えば、学生の行ったコミュニティ（町内会）アンケート調査の地域愛着度（この地域は好きですか？）という項目の結果は、町内会に還元すると町内の人たちを驚かせることもあります。それだけにやりがいのある研究だと思います。本ゼミで学び、体験する「情報収集」、「分析」、「企画」、「バイタリティ」といった能力は、社会に出た後に、間違いなく活用できるものと確信しています。

人間科学部

# チーム力の３期生

人間科学科准教授
**鵜飼　奈津子**

私が本学に赴任してきてから、学部の専門ゼミは3期生が卒業の年を迎えようとしています。お互いのことを良く知らずにそれぞれが不安な顔で集まった、非常に個性的な男子4名、女子8名でしたが、2回生の秋学期からの2年半で、皆とても仲良しになりました。2限目のゼミのあとは、毎週そのまま研究室でランチタイム。ゼミの欠席や遅刻の連絡、あるいは「遊ぼう!」などという打ち合わせはメーリングリストで、皆で共有しています。

もちろん、卒業論文の完成に向けても、お互いに意見を交換しながら、それぞれのテーマに取り組んでいます。ゼミのテーマは、「子どもの心の成長・発達と心理療法」ですが、「子ども」、「成長・発達」、「心理」といったキーワードから、幅広いテーマに取り組んでいるのは、この3期生に限らず、もはや1期生からの鵜飼ゼミの「伝統」といえるかもしれません。

ちなみに現在の3期生は、「子どもの虐待」や「発達障害」という、私自身がライフワークとしているテーマに取り組み、ともに考えを深めてくれている人たちから、「グリム童話」や「ハリーポッター」など、「児童学」の一領域である「児童文学」をテーマに取り上げている人たちもいます。また、「エヴァンゲリオン」、「嵐」、「モンスターペアレント」など、まさに現代社会における「現象」について、心理学的な観点から取り上げている人たちがいるのも魅力です。一方、「夢」や「摂食障害」といった、臨床心理学が常に関心を持って取り組み続けているテーマに挑んでいる人たちがいるのも頼もしいかぎりです。

「野球の指導方法」や、まさに３期生のキーワードである「チーム力」について取り上げている人たちもいます。これらはまさに、比較的受身の態勢で時間を過ごしていても許されていたであろう高校生までの生活と、心理的な自立に向かいながらより積極的な姿勢で物事にあたっていくことを求められる社会人の、まさに「中間領域」に属する大学生ならではのテーマではないかと思われます。新社会人として色々なことをおおめに見てもらえるかもしれない社会人１年生の期間は、あっという間に終わります。次の４月には後輩を迎え入れる先輩として、いやがおうにも指導する立場に立たなければならなくなりますし、社会に出れば、自分ひとりの力で何かを達成することよりも、チームの力で物事に当たっていく機会の多さとその必要性に、早晩、気づかされることになるでしょう…　そういう意味でも、こうした幅広いテーマに関して、毎週、お互いの発表を聞く中で切磋琢磨し、様々な視点や考え方、そして感じ方があるということを体感できるゼミの時間は、とても貴重なものではないかと思います。

そして何よりも、悩みや喜びをともに共有してきたメンバーとの出会いと、こうして共に過ごした時間が、一人ひとりの「こころの力」になることを願っています。

# 増えてきた母校のメディア情報

一般新聞に、母校の現役学生や教員の活動などの記事掲載が増えています。
また、母校関連の記事がさまざまなメディアで多数掲載されています。
2012 年の半年間を紹介します。

※詳細は大学 Web をご覧ください。http://www.osaka-ue.ac.jp/

## TV(テレビ)

| 放送日 | 媒体 | 内容 | |
|---|---|---|---|
| 2012 年 4 月 30 日 ～ 5 月 6 日 | J : COM「週刊情報スロット」 | 大経大スイーツコラボ | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 7 月 19 日 | テレビ大阪ニュース BIZ | 土居商店街活性化 | 経営学部<br>吉野忠男ゼミ |
| 2012 年 8 月 9 日 | 朝日放送キャスト | 「若者を苦しめる奨学金の実態」での<br>コメントが取り上げられました | 経済学部<br>伊藤大一准教授 |

## WEB 掲載

| 掲載日 | 媒体 | 内容 | |
|---|---|---|---|
| 2012 年 4 月 20 日 | フライング・ポストマン・プレス | 大阪経済大学のキャラクター<br>『はてにゃん。』をモチーフにした洋菓子 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 24 日 | asahi.com | はてにゃん。スイーツに<br>大経大 3 人が企画 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 24 日 | YOMIURI　ONLINE | 食べて「大経大ケーキ」創立80周年<br>記念 学生が地元店とコラボ | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 24 日 | YOMIURI　ONLINE | 大学マスコットでケーキ3種を共同開発 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 25 日 | MSN　産経ニュース・<br>Yahoo!　JAPAN　NEWS | 食べて　大経大スイーツ<br>学生3人、地元店とコラボ　大阪 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 27 日 | 日本食糧新聞　電子版 | 大経大女子学生と地元洋菓子店の<br>コラボスイーツ誕生 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 4 月 30 日 | 毎日 j p・Yahoo!　JAPAN　NEWS | 大経大スイーツ：どうぞ　創立80周年で<br>学生ら共同開発、洋菓子店と販売 / 大阪 | 80 周年学生企画 |
| 2012 年 5 月 5 日 | ウーマンライフ Web 版 | 大経大女子学生×「プチ・プランス」のコラ<br>ボスイーツ5月 13 日まで期間限定発売！ | 80 周年学生企画 |

## 新聞掲載

| 掲載日 | 媒体 | | | 内容 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 2012年4月20日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | 大経大生が清掃活動 | 学生部 |
| 2012年4月22日 | 読売新聞 | | 大阪市内 | 大経大で実践力の授業 | 情報社会学部 |
| 2012年4月24日 | 朝日新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | 食べてニャ はてにゃん。 | 80周年学生企画 |
| 2012年4月24日 | 読売新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | 食べて「大経大ケーキ」 | 80周年学生企画 |
| 2012年4月25日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | Visit 研究室<br>足で解く「行列のナゾ」 | 経営学部　江島由裕教授 |
| 2012年4月25日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | 学園情報　学生企画「プチ・プランスとのコラボ商品」販売 | 80周年学生企画 |
| 2012年4月25日 | 産経新聞 | 朝刊 | 大阪府内 | 食べて大経大スイーツ | 80周年学生企画 |
| 2012年4月30日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪府内 | 「大経大スイーツ」どうぞ | 80周年学生企画 |
| 2012年5月4日 | 大阪日日新聞 | 朝刊 | 大阪 | 大経大「はてにゃん。」ケーキ | 80周年学生企画 |
| 2012年5月7日 | 製菓時報 | 朝刊 | 商品ガイド | コラボスイーツを販売 | 80周年学生企画 |
| 2012年5月22日 | 菓業食品新聞 | 朝刊 | | 大経大、プチ・プランス<br>コラボでケーキ発売 | 80周年学生企画 |
| 2012年5月30日 | 毎日小学生新聞 | 朝刊 | | 「はてにゃん。」文房具セット | |
| 2012年5月31日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪市内 | Visit 研究室　素朴な疑問<br>自主性重んじ調査 | 経済学部　上宮智之講師 |
| 2012年6月2日 | 大阪日日新聞 | 朝刊 | 大阪 | 大経大80周年で「黒正塾」を開講 | 日本経済史研究所 |
| 2012年6月5日 | 産経新聞 | 朝刊 | 大阪府内 | 創立80周年記念講演会<br>大阪経済大が参加者募集 | 研究支援部 |
| 2012年6月27日 | 産経新聞 | 朝刊 | 大阪府内 | 「大経大キッズカレッジ」<br>子供たちに野球の楽しさを | 硬式野球部 |
| 2012年6月27日 | 日刊工業新聞 | 朝刊 | 大阪 | 今こそ OSAKA　北部産業界<br>はてにゃん。スイーツ×プチ・プランス | 80周年学生企画 |
| 2012年6月27日 | スポーツニッポン | 朝刊 | 大阪・<br>名古屋 | 野球教室 | 硬式野球部・研究支援部 |
| 2012年6月28日 | 朝日新聞 | 朝刊 | 大阪 | 大経大野球部ちびっ子教室 | 硬式野球部・研究支援部 |
| 2012年6月30日 | 読売新聞 | 朝刊 | 特別面 | 大学関西フォーラム<br>第11回シンポジウム | 徳永光俊学長 |
| 2012年7月5日 | 読売新聞 | 朝刊 | 特別面 | 大学の実力 - 教育力向上の取り組み | 徳永光俊学長 |
| 2012年7月30日 | 日本消費経済新聞 | 朝刊 | | 商店街活性で学生がプレゼン<br>柔軟な発想で提案 | 経営学部　吉野忠男ゼミ |
| 2012年7月30日 | 日経産業新聞 | 朝刊 | 大阪・東京 | インターンシップ進化論<br>全13回の講座で事前研修 | 進路支援部 |
| 2012年8月1日 | 毎日新聞 | 朝刊 | 大阪 | 大経大生の学生が八つの活性化案 | 経営学部　吉野忠男ゼミ |
| 2012年8月9日 | 日本経済新聞 | 夕刊 | 生活ひと<br>がいどガイド | 大阪経済大学創立80周年記念<br>講演会　トークセッション | 研究支援部 |

# 世界へ 全日本へ

飛躍するクラブ
2012年活動レポート

## アイススケート部

## 2014年、冬季オリンピック“ロシア・ソチ”の有力候補 上村大輔選手

大阪経済大学職員・
アイススケート部OB（氷友会）

2012年度のワールドカップ北米・アジア大会選手選考を兼ねた「第23回全日本距離別ショートトラックスピードスケート選手権大会」が平成24年10月6日～7日山梨県甲府市で開催された。トップレベル36名により距離別日本一を決定する重要な大会で、大阪経済大学から職員でOBの上村大輔、現役学生3名の計4名が日本の最高峰の大会に参加した。

競技では、日本オリンピック特別強化選手の上村大輔選手は終始枠順に恵まれず予選から外枠発走ばかりで、初日から苦しい大会となった。しかし卓越した技術で500m－2位、1500m－2位と何とか初日を総合点で1位通過したものの、2日目も有利な内枠が1度も当たらず1000m準々決勝でまさかの3位敗退、得意の1000m個人追い抜きも波に乗れず3位止まりとなり念願の1位通過はならず、総合3位に終わった。

現役学生では4回生の上村翔太選手が総合13位、3回生の吉川政志選手が総合15位と大健闘（学生だけの順位なら5位、6位）し、2013年に期待がかかる。

上村大輔選手は今後、ワールドカップ、世界選手権の日本代表として世界を転戦する。2014年に開催されるロシア・ソチオリンピックの有力候補として今後の活躍が大いに注目される。

大阪経済大学体育会アイススケート部
OB会長　梶村貞男（37回）

**今後の試合日程**

●ワールドカップショートトラックスピードスケート
欧州地区大会
・第5戦　2013年2月1日～3日
ロシア・ソチ（プレ五輪）
・第6戦　2013年2月8日～10日
ドイツ・ドレスデン
●世界ショートトラック選手権
2013年3月8日～10日　ハンガリー・デブレツエン
●冬季オリンピック
2014年2月7日～23日　ロシア・ソチ

## 陸上競技部

## 前回より順位で2番、タイムで8分縮める 全日本大学駅伝

力走する溝渕選手

応援に参加した皆さん

第44回全日本大学駅伝対校選手権大会が11月4日（日）、名古屋市の熱田神宮から三重県伊勢市の伊勢神宮まで8区間106.8キロで行われた。

3大会ぶり18回目の出場権を得た陸上競技部は、参加26チーム中、前回17位を上回る15位、タイムは5時間32分23秒でこれも前回を8分縮める完走だった。

本学学生部スポーツ文化振興室が中心に同窓会などにも呼びかけ、約20人の応援バスツアーを出した。スタート時点の応援は時間的にムリなため、第2中継所となる三重県の川越町で「大阪経済大学」と染め抜かれた新調の幟（のぼり）を15本立て、9時40分ごろ2区を力走するランナーに盛んな声援を送った。

ゴールは最長距離の第8区間の伊勢神宮内宮。ゴール地点は参加大学の選手や応援団、マスコミ、地元の人々など千名以上が埋める中、アンカーの溝渕大輔選手（2回生）が堂々のフィニッシュをした。溝渕選手は「白タスキだったが、最終区間どこにも抜かれずに完走でき良かったです」と微笑んでいた。

応援バスツアー以外にも新幹線で勝田泰久理事長、徳永光俊学長、同窓会員らが早朝から来られ、スタートする選手に力強い声援を送られた。

前回より好成績をあげた勝因を陸上競技部の鶴谷邦弘監督は「1区は緊張したようだが他の区間は他校との距離も開かず順調に走れました。目標の15位に入れたのは、選手のねばりとあきらめない気持ちが最後まで続いたことです。次回びわ湖大学駅伝では頑張ります」。

広報部長　平田義行

## 弓道部（女子）

### 第60回全日本学生弓道選手権大会

### ベスト8へ

“自分の壁を越える”をテーマに

2012年8月14日～8月16日、日本ガイシスポーツプラザにおいて、第60回全日本学生弓道選手権大会が開催された。

本学弓道部（女子）は、203校が出場した団体戦予選で12射中9中の成績により、見事予選2位で決勝トーナメントに進出。1回戦はシードとなり2回戦で慶応義塾大学と対戦、本学10中、慶応8中で下し準々決勝へ。関東の強豪、日本大学に本学6中、日本大学8中で敗退した。2年前のベスト4に続き、女子団体でベスト8入りを果たした。今回も、関西の強豪校として全国に本学女子弓道部の名を広めた。

## グリークラブ

“歌好きな学生が心をひとつに”

### 第67回関西合唱コンクール

### 金賞受賞

2012年10月8日
伊丹市立文化会館いたみホール

## 準硬式野球部

### 第64回全日本大学準硬式野球選手権大会

### 全日本4強

2012年8月26日～31日、愛知県瑞穂公園野球場などにおいて、第64回全日本大学準硬式野球選手権大会が開催された。本学、準硬式野球部は、順当に勝ち上がっていったものの準決勝で中央大学に惜敗、全日本4強の結果となった。

（成績）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 1回戦 | 大阪経済大学 | 3―1 | 東北学院大学 |
| 2回戦 | 大阪経済大学 | 1―0 | 愛知学院大学 |
| 3回戦（準々決勝） | 大阪経済大学 | 4―3 | 同志社大学 |
| 4回戦（準決勝） | 大阪経済大学 | 1―2 | 中央大学 |

## ハンドボール部

### 第55回全日本学生ハンドボール選手権大会

### 27年連続
### 47回目の全国大会出場

本学ハンドボール部は、関西3位の好成績をおさめた。西日本大会でもインカレ代表決定トーナメントを勝ち上がり、見事全国大会出場を決めた。ハンドボール部の全国大会出場は、27年連続47回目の快挙だ。

第55回全日本学生ハンドボール選手権大会は、2012年11月14日～11月18日、福岡県アクシオン福岡にて開催された。11月14日、本学ハンドボール部は、初戦、関東の強豪・日本大学とあたり、24－32で残念ながら敗退した。

経大TOPICS

# 新しい「学生寮」が、オープンしました！

留学生や遠方・地方から入学してきた新入学生たちはもちろん、その保護者にも安心してもらえ、大阪での生活や大阪経済大学への通学が便利・安全な新学生寮が誕生した。女子学生のための「瑞光センター」（大阪市東淀川区）と男子学生寮「扇町センター」（大阪市北区）だ。新装された最新の学生寮を紹介しよう。

## 瑞光センター（女子学生寮）

女子学生のための寮「瑞光センター」は、大学から徒歩２分の至近距離にある。そのため、学業だけでなくクラブやアルバイト、友人との交遊など、充実したキャンパスライフを送ることができる。

部屋は、女子 36 室（単身者用のみ）、ワンルーム 14㎡の個室で、入り口はオートロック、管理人も常駐のため安心。日当たりの良い共同スペースや開放感のあるルーフテラスもある。

＊　＊　＊

大阪経済大学「瑞光センター」（女子学生寮）
大阪市東淀川区瑞光４丁目８－12
（問い合わせは、☎ 06-6328-2431 学生部へ）

## 扇町センター（男子学生寮）

男子学生寮「扇町センター」は、主に海外からの留学生のための寮だ。地下鉄堺筋線・扇町駅から徒歩５分の近さで、梅田まで徒歩 15 分の大阪都心部にある。大学へも阪急淡路経由、地下鉄経由の２経路があり、通学も便利。

部屋は、男子 40 室（単身者用のみ）、ワンルーム 14㎡の個室で、談話コーナー（兼会議室）、調理室、食事室、洗濯室などの共同施設・設備も充実している。

＊　＊　＊

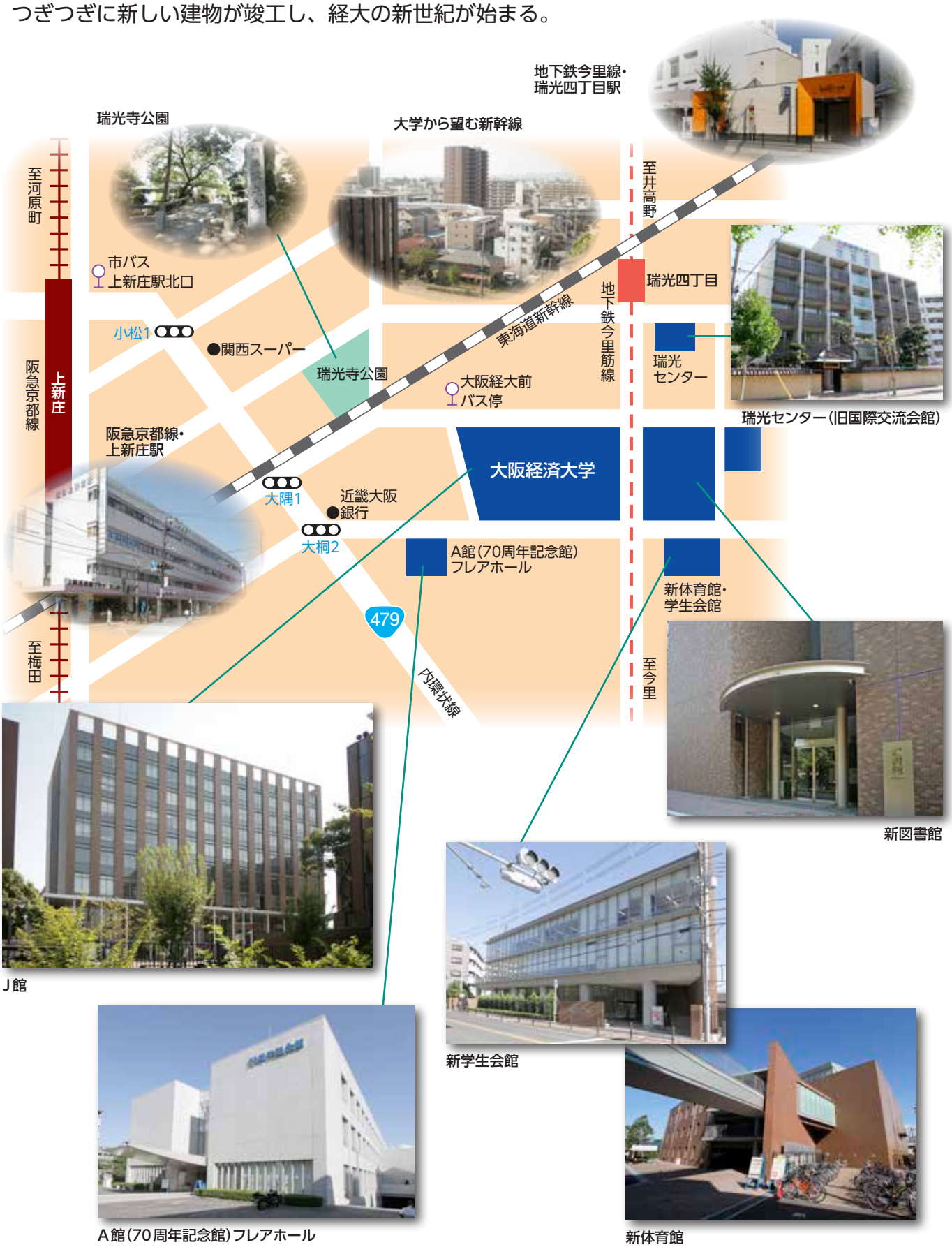
大阪経済大学「扇町センター」（男子学生寮）
大阪市北区神山町１－31
（問い合わせは、☎ 06-6367-1017 扇町センターへ）

### 懐かしの「江口寮」

昭和36（1961）年、第２グランド北側に72名収容の学生寮が建設された。

# ■大阪経済大学・周辺 MAP

母校の周辺もずいぶん様変わりした。教室の窓から新幹線が見えるのは昔のままだが、
2006年、地下鉄今里筋線が開通し、瑞光四丁目駅まで徒歩数分の便利さ。
大学キャンパスは、昔の面影が消えつつあるのは淋しいが、
つぎつぎに新しい建物が竣工し、経大の新世紀が始まる。



Daiwa Lease®
大和ハウスグループ

未来を、つなごう We Build ECO

緑が、街を変えていく。
ECOloGREEN
大和リースの環境緑化事業

大和リースでは、「ECOLOGREEN（エコログリーン）」の名称でさまざまなシーンにみどりを育み、豊かな暮らしを見つめた総合緑化をご提案しています。特に、壁面緑化は、「大地を立てる」という発想で、全面に十分な専用土を確保し、より自然に近い環境を再現することで、植物の根が大きく縦横に育ち、豊かに成長することができます。

◆◆壁面緑化施工事例◆◆

■フレスポ長田（東大阪市）

■ エコログリーンパーキング（大阪市）

■ JR 新大阪駅「大阪花屏風」（大阪市）

大和リース株式会社　www.daiwalease.co.jp
大阪市中央区農人橋2丁目1番36号 ピップビル　〒540-0011
Tel 06-6942-8011　Fax 06-6942-8051

建設業許可番号·国土交通大臣許可（特-22）第5903号
宅地建物取引業者免許番号·国土交通大臣（7）第3836号

●顧問サービス
●就業規則作成・変更
●助成金申請
●労務管理サポート
●給与計算事務
●役所対応・労務トラブル

久保社会保険労務士法人
所長 久保太郎（31回）
社労士大樟会会長

所長プロフィール
1941年 岡山県倉敷市生まれ。40年間人事労務の業務に携わり、
企業労務コンサルタントとして70業種1000社を超す企業の労務改善、
業績アップの指導に従事。2009年2月厚生労働大臣賞受賞。

厚生労働大臣認可　労働保険事務組合関西労働保険協会　代表
関西労働保険事務組合 会長
社団法人　全国労働保険事務組合連合会 副会長
社団法人　兵庫県労働保険事務組合連合会 会長

久保社会保険労務士法人

〒660-0881　兵庫県尼崎市昭和通2-7-1　ホテルニューアルカイックビル1階
電話 06-6482-6312　FAX 06-6487-3960　MAIL info@sr-kubo.jp　http://sr-kubo.biz/index

# 社労士大樟会

## 社会保険労務士は企業の健全な発展と働く人々の幸福を目指します!!

育児介護休業法・労働者派遣法・労働契約法・高年齢者雇用安定法が改正されました。「雇用」をめぐる情勢は大きく変化しようとしています。「社労士」は雇用管理のエキスパートとして、これらの法改正を企業の現場にソフトランディングさせる「コンサルテーションを行う実務家」です。

社労士大樟会　会長　久保　太郎（31期）

社労士大樟会は2008年7月に誕生した大阪経済大学同窓会の職域支部です。学術の研究、講演会の開催等会員の資質向上及び社会的貢献につながる事業と会員相互の親睦をはかる事業を行っています。社労士資格をお持ちの同窓生の皆さん！ぜひご参加ください。「つながる力」を結集しましょう。

お問合せ先：事務局長　飯田　政信（35期）
TEL 06(6263)5511　FAX 06(6263)5510

## 各支部のふるさと自慢

# わがまち イチオシ

さきの東日本大震災では、東北地方を中心に大きな被害がありましたが、これを機に東北だけでなく、全国各地で、地域のあり方を見つめ直そうという機運がますます高まってきたように思われます。そこで、全国各支部に依頼し、「これぞ、わがまちのイチオシ」というものや「ふるさとで自慢できるもの」などを自由にお書きいただきました。

### 魅力ある純白の大地　北海道支部

北国の魅力は、何んといっても白い天からの贈り物に尽きます。札幌の雪祭りは有名ですが、ここ十勝の鹿追町「しかりべつ湖コタン」。それは湖と冬からの贈り物です。しあわせチャージ、あこがれのスノーフィールドの世界です。

毎年1月になると、厳しい寒さで凍結した然別湖の湖上に開村する「しかりべつ湖コタン」、真冬にだけ現れる幻の村で、幻想的な然別湖を満喫できる冬のイベントです。完全結氷した湖上では、雪と氷で作られた氷の建物「イーグル」がいくつも作られ、アイスバーやコンサートホール、アイスシアターになっています。世界にひとつだけの氷上露天風呂は脱衣所も雪と氷で出来たこだわりよう。結氷した然別湖が広がっていて、味わったことのないような開放感。是非、実体験を！（開村期間　1月末～3月末）　支部長　池田正勝（34回）

### 東京駅　東京支部

首都東京の玄関である東京駅は大正3年12月に完成し、大正12年の関東大震災にも損傷を受けなかった。が昭和20年の大空爆で大破しました。一部修復して開業して来ましたが平成24年10月1日に約10年の月日を経て装い新たな姿を見せました。

様々な歴史の事実を背負って東京駅はビジネスの丸の内、商業の八重洲を開発、発展、拡大を続けて東京のシンボルとなりました。大変貌したマンモスステーションは見物、買物をするには一日や二日で出来ないくらいの素晴らしい一大拠点になりました。

上京される機会がありましたら「東京駅観光ツアー」いかがですか？　山下隆司（32回）

### いらっし、見まっし　石川支部

石川といえば全国ブランドの金沢、温泉で有名な加賀、海岸線を誇る能登があります。大河ドラマ「利家とまつ」の舞台になり、名勝兼六園がある金沢は、加賀藩主前田利家が将来を見越して、藩発展の大方針として創設した加賀藩御細工所、そこへ京都その他の地から意欲的に工芸全般の分野の職人衆を集め藩として育て“工芸石川”の基盤を確立した。現在各分野で最高称号重要無形文化財（人間国宝）の認定者は9人現存して居られます。その数全国一位、文化勲章受章者を含めて「工芸王国石川」は全国に認知されて居ります。視点を変え県、市民の生活の場から見ると全国一と自負できる“近江町市場”があります。加賀藩と密接な関係を持ち、間もなく開場三百年を迎えます。市場というのは6つのキーワードを持つべきだと考えて居り、これらが立派に揃って居り誇りです。そして全国に誇る金沢の味覚を支えて居ります。また同窓生が3人活躍して居ります。　柚木　繁（21回）

### 今も元気を与える「太陽の塔」　北大阪支部

1970年に開催されたわが国初めての「日本万国博覧会」。180日間の会期で6421万人が訪れました。「人類の進歩と調和」を掲げた高いテーマはその後40年間、わが国の経済、社会、文化などの成長の指針となり、その理念は今なお生きています。テーマを表す原点は「太陽の塔」で万国博の輝かしいシンボルとして、訪れた人々を迎えました。塔の顔は未来を表す「黄金の塔」、現在を象徴する「太陽の顔」、過去を表わす「黒い塔」の3つの顔を持っています。博覧会終了後は日本庭園、自然文化園、レクリエーション施設、ガンバ大阪のホームグランドが入るスポーツ施設に整備されています。万国博が終わり43年、今も「太陽の塔」は大阪府民に元気を与えてくれています。

支部長　平田義行（31回）

### 平成24年2月25日に第50番目支部として誕生　箕面・豊能支部

当支部は大阪府北部の北摂連山にあり、能勢町・豊能町は妙見山、棚田、石仏、箕面市は箕面山（明治の森国定公園）と箕面大滝（日本滝百選）等が有名です。

関西有数の紅葉名所である箕面山の歴史は古く、約1350年前（飛鳥時代）に開創、役行者によって山嶽修行道場として発展し、空海、行基、日蓮等の修行記録が瀧安寺に残っています。また、富くじ（宝くじ）の発祥地である当寺は、近くの勝尾寺と共に多くの参拝者が訪れます。駅から箕面滝まで約3ｋｍを散策中、運が良ければ山に生息している日本猿に会えます。イチオシは道中の土産店実演販売『もみじの天ぷら』です。食用紅葉を揚げたカリントウのようなお菓子で美味しいですよ。　会計・幹事　吉仲美智子（68回）

## 伊丹市の「歴史と文化と経済」 伊丹支部

空港がある伊丹市のイメージですが、縄文時代からの文化財もあります。摂津の国の大名・荒木村重が造った「有岡城」は、天守閣を備え、町ぐるみ防御する「惣構えの城」とし、国史跡に指定されています。市北部の鴻池で16世紀に現在の様な清酒が発見され「上質の酒」の生産地として全国に知られていました。17世紀には将軍家の「御膳酒」となったようです。俳人鬼貫は伊丹市生まれです。裕福な酒造家達の余技として句作が流行し、鬼貫が俳句の地位を高めたのです。又それを通し、茶華道の文化が開花し、芭蕉、西鶴も訪れました。神戸、大阪の住宅都市、世界先端技術の工場が立地する工業都市でもあります。

支部長　水納敏也(25回)

## 海峡の四季 明石支部

1月は柿本神社　年の初めは飛鳥時代の柿本人麻呂の気分で明石海峡を眺めます。冷たく波打つ海と明石海峡大橋の機能美のコントラストは、頬を刺す寒風と相まって胸に迫って来るものがあります。4月は明石公園　全国さくら名所100選にも名を連ねる満開の桜を眼下に石段を登り天守台へ。春霞の奥に淡路島が穏やかに横たわっています。手に持つ缶ビールも程よい温さとなっている筈です。7月は大蔵海岸　砂浜に寝転んで斜め下から明石海峡大橋を見上げます。背景はお決まりの真っ白の入道雲。10月は屏風ヶ浦海岸　200万年前のアカシゾウの気分で深まりゆく秋の海峡を見て「無意味な感慨」に浸るひととき。明石は「時の町」と実感できます。　副支部長　湊　義朋(41回)

## 加古川名物“かつめし” 東播磨支部

命を育み、人を育み、街を育んできた清流加古川。その最大都市なる加古川市は、東播磨に位置し、人口27万人弱。聖徳太子が建立したと伝えられる国宝鶴林寺を抱え、その自然と歴史の調和の街から誕生した郷土料理“カツメシ”が有名。ご飯の上に、叩いて平たくしたビフカツをのせ、デミグラスソース系のタレをかけ、洋皿にお箸で食べる。戦後まもない頃、加古川駅前の食堂で考案されたお箸で気軽に食べることができる洋食というルーツからきていると言われている。現在、150店舗以上あり、学校給食にも取り入れられ、それぞれのお店のレシピのある料理となっています。食べ歩き楽しいですよ！

支部長　西川嘉紀(33回)

## 「淡路人形座」がグランドオープン! 淡路島支部

古事記に『国生みの島』や『御食国(みけつくに)』で知られる淡路島では、500年の伝統と歴史を誇る国指定重要無形民俗文化財「淡路人形浄瑠璃」の保存・伝承の拠点となる「淡路人形座」が2012年8月8日、兵庫県南あわじ市福良港にグランドオープンしました。

コンクリート造りの外観とは対照的に内部は兵庫県内産の木材を舞台や客席に、地場産業でもある淡路瓦を壁に使い、提灯(ちょうちん)といった昔ながらの芝居小屋を演出し、毎日5回の公演(休館日：水曜日)が行われています。友人知人やご家族でぜひ淡路島へお越しいただき、「淡路人形座」の伝統芸能に触れてみてはいかがでしょうか。

支部長　竹内通弘(34回)

## 大仏さんと居酒屋と 奈良支部

大和は国のまほろば…。それぞれの土地に名所、旧跡があるが、なかでも奈良は別格。あえて東大寺の大仏さんを推奨したい。

大きいだけでなく、美しさの中に侵しがたい歴史の「重み」のようなものを感じたのは私だけか。

修学旅行で見学済みだろうが、今一度、足を運ばれてはどうだろう。お姿に接していると俗世に漂う我が身に再び勇気が湧いてきた。

大仏殿の裏に回り、二月堂、興福寺、猿沢の池を経て近鉄・奈良駅前へ。行基菩薩像近くの商店街に入ると居酒屋「文楽」がある。四、五人いた店員の振る舞いが涼やか。いずれも女子大生で「躾はきちんとしています」と店長。

素晴らしい女性たちに出会えたのも大仏さんのお導きか。

支部長　西本集一(23回)

## パンダの家族に会いましたか? 和歌山支部

和歌山県には高野山や熊野三山・熊野古道などの世界遺産をはじめ日本を代表する観光資源が豊富にありますが、なかでも今回は白浜町にあるテーマパーク「アドベンチャーワールド」のジャイアントパンダをご紹介します。

同施設には世界的に珍しいジャイアントパンダの大家族が元気に暮らしています。2012年8月10日には赤ちゃんパンダが誕生しパンダの故郷中国を除けば飼育頭数9頭と世界一の大所帯です。芝生でパンダ親子がじゃれあう姿を見たり、おやつをあげたりできるのも日本でここだけ。パンダに癒された後は日本三古湯・白浜温泉や白浜の名の由来となった白良浜、幻の高級魚「クエ」料理など食され南紀リゾートをぜひお楽しみください。

事務局長　西　芳男(36回)

## 津山洋学資料館　津山支部

**―未知なる学問への挑戦　あなたは彼らの生き方に何を感じますか―**

津山は織田信長の小姓「森蘭丸」の弟、森忠政が入封して出来た城下町です。

江戸期後半、江戸詰の津山藩医宇田川玄随が津山に本格的に洋学を紹介(蘭学とも言われます)。彼とその跡を継いだ玄真、榕菴は、いずれも洋学研究の大家で、彼ら三代によって日本に近代科学が紹介されたといっても過言ではありません。また、津山出身の藩医で玄真に学んだ箕作阮甫は、開国を迫られた幕末期の日本を学術・教養の面から支えました。

洋学資料館には、「解体新書」など蘭学が始まった頃の資料や玄随などの業績を紹介しております。箕作阮甫の家系図も必見です。

支部長　竹本　巧(37回)

## 広島の路面電車は動く電車の博物館　広島支部

私も物心ついた時から、「チンチン電車」と呼んで、大変乗ることに楽しみと運転手さんに憧れを感じたものです。広島の路面電車の歴史を紐解くと1912年(大正元年)11月に広島市内2路線50両からのスタートになります。広島原爆投下後もいち早く復旧し、市民の足として活躍をしてきました。戦後、車両を増やすにあたり、大阪市電、神戸市電、京都市電、西鉄北九州線、西鉄福岡線と車両を購入、リニューアルせず、そのままの姿で市内を走り、近年はドイツドルトムント、ハノーバーからも。いつかからか「動く電車の博物館」と呼ばれるようになり、マニアの間では悠然と走る電車の姿をカメラに写す光景が今でも観られます。現在の超低床電車ＧＲＥＥＮＭＯＶＥＲも活躍しています。ぜひ広島にお立ち寄りの際には路面電車にお乗りください。

支部長　陰山秀明(44回)

## ＳＬ復活第１号　山口支部

国鉄の終焉で姿を消したＳＬを「わが町に是非ＳＬ復活を」という誘致合戦が始まり、その数は１５線区以上にも上りました。新幹線と接続している新山口駅と終点津和野駅にＳＬの方向転換が出来る転車台が残っており、沿線には山口、津和野など全国的な観光名所があることなどから山口線が誘致第一号になった理由です。

こうして昭和54年８月、全国のファンの期待を集めて山口線の新山口～津和野間62.9㎞での運行が再開されたのです。牽引するＳＬはＣ571、そのスマートな形から「貴婦人」の愛称で親しまれています。誕生して75歳になる現在も山口県観光のシンボルとして全国から多くのファンを集め、３月から11月まで原則土日、祭日を中心に運行され、特定の日にはＣ56との重連運転もされます。貸切運行も可能です。

支部長　小林真人(32回)

## 青春の城下町、我が故郷の丸亀城！　香川支部

わが町、丸亀市は人口11万人の城下町です。名産品は全国一の生産量を誇るうちわ。食べ物は讃岐うどんに骨付き鳥、それに瀬戸内海で獲れる新鮮な魚貝類。でもイチ押しの見所は高さ日本一の石垣に鎮座して400年の歴史を刻む丸亀城。大手門から見上げる天主は威厳に満ち、夕暮れの天主は優しさをまとい、心を和ませてくれます。400年の時を経た今日でも決して色あせることなく、自然と調和した独自の様式美をはっきり現在に残しているのです。「石垣の高さ、美しさ」から、「日本100名城」の一つにも選ばれ、花見や散歩など、私は憩いの場として利用しています。大樟会の皆さん！是非、一度お越し下さい！うどん接待させて頂きます！

支部長　鈴木澄夫(36回)

## 愛媛にもおいでんや！　愛媛支部

四国と本州を結ぶ橋は３本ありますが、その１本に「しまなみ海道」があります。1999年に、総事業費7500億円を費やし、風光明媚な芸予諸島を島伝いに、愛媛県と広島県を10本の橋で結びました。全長約60Kmのこの橋は、唯一自転車や歩行者も渡れるという専用道路が併設されています。

休日などには、各地から多くの人々が訪れ、のんびりとサイクリングやウォーキングを楽しむ姿が見られます。橋の上から見る、渦・島・夕日は絶景です。みなさんもご家族やグループで「いっぺん、おいでんや!」病みつきになること請け合いです。

私たちは、この橋のど真ん中で何時の日にか、中国各支部と合同支部総会が開ける日を夢見ています。

支部長　眞鍋一美(32回)

## 我が故郷自慢　熊本支部

熊本で誇れるものは近年で云えば、ゆるキャラ日本一となった“くまモン”であります。その愛くるしい表情と所作は県内に止まらず全国でも老若男女を問わず人気を博しております。

自然に恵まれた熊本県は、世界一の規模を誇る阿蘇のカルデラの雄大な景色、与謝野鉄幹・晶子夫妻が絶賛した天草灘の夕焼け、小国郷・黒川を始めとする良質の温泉など数々の風景があります。また名城熊本城は先年に本丸御殿が復元され、威容を誇る天守閣と武者返しと共に訪れる旅人を迎えることでしょう。

九州新幹線開業により大阪から熊本が近くなりました。新大阪から３時間、同窓生諸氏もくまもとの雄大な自然の中でのんびりくつろぎませんか。お待ちしております。

支部長　濵　忍(35回)

# 思いを守る、明日へつなぐ

大正12年に製本業で創業しました。
昭和26年に株式会社を設立、
手帳やアルバムの製造･販売を経て
現在は、環境関連市場、介護福祉市場など
技術力を活かした事業展開を続けています。
これからもお客様のお役に立つ企業を目指し、
新たな価値を創造してまいります。

**ナカバヤシ株式会社**

製本から手帳･アルバムへ、そして新しい価値の創造へ

***http://www.nakabayashi.co.jp/***

# 支部だより

## 北海道支部

### 高齢化

10月19日(金)、札幌市にて北海道支部総会および懇親会を開催しました。今回は、札幌の夜景を一望できる場所を選定し、大学の高塚常務理事・佐藤同窓会会長はもちろん、地元北海道の支部会員にも、喜んでいただきました。

例年同様、少人数での和気藹々の会で盛り上がりましたが、支部発足以来永くご出席いただいている会員の中にも、少しずつ欠席というお返事が増えてきました。あたりまえのことですが、毎年一つずつ歳をとり、確実に高齢化が進んでおります。特に北海道支部では、若手メンバーの参加率を上げる施策が必要だと感じています。

一方で、地方会員の参加が増えて喜んでいます。北海道内でも、地方都市は札幌市からかなり遠く、車で移動しますと、帯広市は4時間、釧路市は6時間、函館市は5時間、旭川市でも2時間かかります。そんな遠方からもご参加いただける会員に感謝しています。

鵜飼泰正(51回)

## 東京支部

### 人と人とのつながりを実感

平成24年9月13日に開催されました東京支部総会に、今回初めて参加をさせて頂きました。

大阪経済大学を卒業して17年、社会人として初めて転勤する事になった時、同期生より支部総会の誘いがあり、参加させて頂きましたが、これ程たくさんの卒業生の方々にお会い出来るとは思っていませんでした。お話を聞くうちに「大経大」という強い人と人とのつながりを実感する事が出来ました。大学は創立80周年を迎えたことを聞き、久しぶりに大学のキャンパスに遊びに行きたい気持ちにもなり、充実した時間を過ごせました。また、パワーのある大先輩の方々からのお話が、たいへん刺激にもなりました。

今後も引き続き、卒業生の皆様とのつながりを大事にし、自分自身の更なる成長につなげていきたいと思います。来年もぜひ参加出来る事を楽しみにしております。

楠圓貴裕(61回)

## 富山支部

### 卒業後3年以内の方は無料招待　支部長に小泉俊夫さんを再選

富山県支部は平成24年7月14日(土)15時より、富山市のANAクラウンプラザホテル富山で総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることが出来ました。同窓会から平田義行広報部長、大学から佐々木繁理事・事務局次長のご出席のもと、総勢23名が和やかな雰囲気の中、大学の現状と将来についての報告を頂きました。

総会開催に先立ち、長年支部の発展にご尽力いただきました重松尚さん(23回)をはじめ物故された会員への黙祷を行いました。また役員改選では、小泉俊夫さん(30回)を推挙する声が多く、支部長に再任されました。

参加会員の高齢化が進む現状を打破する契機となればと期待して、卒業後3年以内の同窓生には参加費無料の案内を出しています。しかし該当の参加者は多くはありませんでしたが、今回新しく参加された方も例年になく多く、今後期待が出来るのではないかと思っています。

しかし希望を持てる半面、返信に『今後、参加する予定が無いので、登録を抹消してください』というような記載が目立つようになってきました。個人情報の管理に神経を尖らさざるを得ない時代ですが、連絡事務を扱う者としては、返信に寄せられる『ご苦労様』の一言や、返信のない向こうにおられる会員や家族の皆様の存在を励みにしておりますので、細い縁ではありますが出来るだけ大切にしていきたいと思っております。

これからも多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いします。

事務取扱　野田 満(48回)

## 福井支部

### 「経大寄席」で落語を楽しむ

平成24年6月30日、ホテルフジタ福井において支部総会を開催しました。来賓として大学から経営学部長井形浩治教授、同窓会から梶村貞男事務局次長のお二人をお迎えし、大学および同窓会の近況をお聞きしたほか事業報告、収支決算の承認、24、25年の2年間の支部役員

案の承認、会費納入時期の変更の承認等を滞りなく決議し、総会を終了しました。引き続き今年のアトラクションとして開催したのは「経大寄席」です。福井市内で関西落語を研究しているアマチュアの落語家グループから「米今アスパラ」さんと「都の亭ぼうし」さんのお二人を招き、素人とは思えぬ軽妙な話しぶりの古典落語二題を楽しみました。懇親会は例年通り、一年ぶりの楽しい会話とおいしい料理、飲み放題のお酒で大いに盛り上がり、最後は全員が肩を組み円陣になって「学歌」「逍遥歌」を歌って締めくくりました。

今年は、常連の会員の欠席が目立ち、参加会員は40名と近年になくこじんまりとした総会でしたが、5月に開催した役員会においては、新会員を一人でも多く獲得し、支部活動を盛り上げていくために必要な事業を継続的に実施していくことを確認しています。例えば、総会開催時に人目を引くアトラクションをいれたり、支部活動の宣伝にもつながる総会開催案内の新聞広告の掲載、現役3回生の就職支援のためのキャリアセミナー等の開催です。また、かねてからの懸案であった他支部との交流事業では、7月13～14日にあわら市において、兵庫県伊丹支部の4人のメンバーとゴルフと懇親会を持ち、大いに盛り上がりました。

支部長　石橋隆夫(32回)

## 石川支部

### 金沢部会、能登部会、南加賀部会が分担し毎年総会を開催

平成24年度石川支部臨時総会が、平成24年8月3日(金)午後7時から、和倉温泉「あえの風」で開催されました。大学本部からご来賓として、情報社会学部長の家本修教授及び同窓会本部から佐藤武司会長並びに中坪鍵治財務部長のご臨席を賜り、また石川支部から鍛治一英支部長はじめ20名が参加しました。

今回の臨時総会は、母校が創立80周年を迎えるに際し、大学の記念式典迄に全支部への総会開催の要請があり開催したものです。石川支部の総会は原則3年に一度開催しており、毎年春に役員会を、夏には金沢部会、能登部会、南加賀部会が分担し同窓会を開催することとしており、またゴルフコンペも開催し親交を深めています。今回の臨時総会は、能登部会が担当し開催しました。

総会では、大学ＤＶＤの紹介に始まり、支部長挨拶、ご来賓の挨拶と続き、活動報告では、平成23年度事業報告並びに収支決算報告と会計監査報告がなされ、全員の承認を得ました。その後懇親会を開催し親交を深め、最後に出席者全員が輪になって、学歌・逍遥歌を高らかに歌い、母校の充実発展を願うと共に同窓生の絆を一層深めて、盛会裏に終了しました。翌朝は、「和倉ゴルフ倶楽部」でゴルフコンペが開催されました。

監査　寺井明夫(39回)

## 岐阜支部

### 11年振りの岐阜支部再興総会開催について

岐阜支部は大学同窓会大樟会のご支援により、平成24年11月11日11時に11年振りの再興総会を岐阜キャッスルインにおいて開催することができました。ここに至る経緯につきましては、昨年10月25日に支部会員179名に再興アンケートを郵送。結果、47名の返送があり、最終的に33名から支部再興の意思をいただきました。33名全員に再興の話し合いの場を設定したところ、7名の出席の返事をいただき再興会議が実現いたしました。そして、岐阜支部単独再興に全員の合意確認をし、新体制づくりとして役員候補を選任しました。そして3回の会議を重ね、会則案も決定し、総会で承認ということで本日に至りました。

再興総会には来賓として、大学より勝田理事長、同窓会本部より田村副会長、竹中事務局長をお招きし、愛知、滋賀、京都の各支部幹部の参加もあり、総勢24名での総会が実現いたしました。会は大いに盛り上がり、来年の参加を申し合わせてお開きとなりました。

事務局長　豊田項吉(45回)

## 静岡支部

### 勝田理事長に感謝

8月26日(日)大学から勝田理事長、同窓会本部から田村副会長をお迎えし、支部総会を開催いたしました。今年の出席者は8名で、少しずつではありますが、支部同窓会の輪を広げるための努力が実りつつあるように感じています。

さて、支部総会では勝田理事長に大学の現状や将来のビジョンに至るまでこと細かに説明いただき、出席者一同感激した次第です。また出席者全員が近況報告をするなど和気あいあいのうちに楽しい時間を過ごすことができました。

次回はさらなる支部発展のため若い世代の人にも参加してもらえるよう、役員が一丸となって活動していくことを誓いあいお開きといたしました。

支部長　大塩博喜(40回)

# 支部だより

## 愛知支部

### 10回卒の大先輩もご出席

平成24年度大樟会愛知支部総会は、9月9日(日)名鉄ニューグランドホテルに於いて開催されました。当日は、大学より　経営学部長の井形教授、同窓会より事務局長の竹中様　各支部より　京都、滋賀、岐阜の支部長等々　御出席を賜りました。今回の出席者の中には　10回卒業の　翠　忠明さん　91才の大先輩のお元気な姿がありました。お話の中で、もっと多くの出席者で開催が出来る様にと、ハッパがかかりました。皆様の話が弾む中　赤塚副支部長の三本締めで会は終了致しました。

追伸　8月には、準硬式野球の全日本選手権大会が愛知県で開催され、大経大準硬式野球部が出場しました。試合は1回戦から3回戦　順調に勝ち進み準決勝戦で、接戦で優勝した中央大学に敗れました。当支部のメンバーが多数応援に駆けつけました。大学より徳永学長はじめ、同窓会本部よりも、多数の役員の方々も応援に来られて、試合球場は大変盛り上がりました。また11月4日(日)には、熱田神宮より伊勢神宮への大学駅伝があります。これにも大経大陸上部が、3年ぶりに出場致します。応援よろしく御願いいたします。

支部長　五十棲保彦(32回)

## 滋賀支部

### 次回総会は100人の出席を目指す

平成24年9月29日(土)滋賀支部総会が近江八幡市ホテルニューオウミにて開催されました。

当日は大学から梅原経済学部長はじめ、大樟会より佐藤会長、福地常務理事、近隣支部から愛知五十棲支部長、福井石橋支部長、京都田中支部長等の御来賓をお迎えし、盛大に開催する事が出来ました。

7月31日に逝去されました前正村公一支部長の功績の大きさに感謝し、最初に黙祷で始まり総会・懇親会へと和やかに進みました。今回は、若い方から年配者まで巾広くご出席頂き特に懇親会は盛大に開催する事が出来ました。中でも37回卒の山田茂雄氏からの瓢箪のプレゼントがあり、無病(六瓢)息災のお話をして頂き、参加者一同感激致しました。

今後は参加者一人一人が友達を誘い合い、次回総会に参加する事を申し合わせ、“100人”の参加を目標に新役員一同努力致しますので、さらなる御協力の程よろしくお願い申し上げます。

支部長　橋本庫一(30回)

## 京都支部

### 新しい会場に溢れんばかりの友が大集合

平成24年11月16日(金)、京都新阪急ホテル(ＯＢが総支配人)にて支部総会を開催致しました。当日は過去最高65名の出席(会員58名、ご来賓7名)を頂きました。本来60名収容の会場は正にすし詰め状態でしたが、その分近距離で和気あいあいの触れ合いができました。尚、ご来賓は徳永学長、佐藤同窓会長、下垣同常務理事、五十棲愛知支部長、橋本滋賀支部長並びに馬場理事、髙本但馬支部長の各氏です。今回のスピーチは、11名参加の平成卒メンバーを中心にお願いしました。

また、女性の出席者も5名おられ華やかな雰囲気に包まれました。この流れで行くと、夢の100名突破もそう遠くはないかも・・・。まだ参加されていない会員の皆様も、この素晴らく楽しい集まりにぜひ仲間入りして下さい。お待ち致しております。

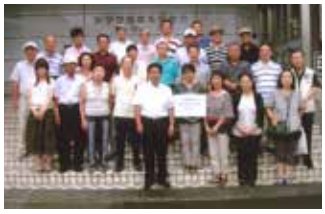
支部長　田中伸治(45回)

## 北大阪支部

### 「会員制」を生かし多彩な活動

大学に最も近い支部として、大学や大樟会の行事には何かにつけ積極的に参加をしております。この意識を持つ同窓生が集まり「会員制」(平成24年度会員数86名、年会費￥1000)の組織を取っています。同じ支部会員という帰属意識でこの1年、上下関係のない家族的なつながりができました。昨年度の支部活動の一部を写真で紹介します。

定期支部総会＆懇親会＝6月30日　22名参加



左)社会見学(姫路城・ヤマサ蒲鉾)9月2日　26名参加
右)秋季マナーアップキャンペーン(大学構内清掃)10月26日　5名参加

## 北摂支部

### 今年もにぎやかに楽しく

平成24年3月17日に支部総会を高槻市民会館で開催致しました。来賓として大学より先の学長重森先生、人間科学部部長城先生、教務部長菊川様、本部より廣野常務理事、北大阪角野副支部長の出席を賜りました。総会は例年の2月開催を繰り下げて、参加者を多数予想致しましたが、逆に皆さんの予定が重なり出席が減りました。皮算用を反省！

議事は事業と収支実績報告の承認、新役員選出を行い、役員18名体制となってさらに強化され、同時に若い61回生、66回生の参加で活動範囲の拡大が期待される中、新年度活動方針、収支予算を決定して恙無く終わりました。

懇親会では落語家森乃福郎師匠の笑いのお話が披露され、宴を盛り上げました。同窓生の親しい交流の中、お待ちかね大西氏、和気多氏のリードで学歌、逍遥歌と歌い上げて同窓の絆を確かめて、にぎやかに楽しい一日となりました。新しい活動を模索して今年の総会へ！

支部長　大門壽郎（29回）

## 箕面・豊能支部

### 大樟会の皆様　こんにちは！

私たちはこの度同窓会本部の力強いご支援で箕面・豊能支部を結成し、50番目の支部として大樟会に参画させていただくことができました。

設立総会は平成24年2月25日（土）箕面の音羽山荘に勝田泰久理事長、佐藤武司同窓会長、田村正晴副会長、平田義行広報部長、進木伸次郎組織部長、梶村貞男事務局次長、中一正池田支部長をお迎えして開催いたしました。理事長・同窓会長のご祝辞の後、総会では全ての議案が満場一致で採択され無事終了いたしました。懇親会では乾杯の後来賓の皆様のご祝辞と参会者の自己紹介、余興、歓談、最後に全員で学歌・逍遥歌を合唱して2時間半盛会の中散会となりました。次回も盛大に開催いたします。会員の皆様のご参加をお願いいたします。

本地区には約400名の同窓生が在住しておられます。今後は同窓生間の絆を深め交流と親睦を計り、会員の英知を結集して微力ながら支部拡大と地域社会への貢献・母校の発展に寄与してまいります。今後とも大樟会の一員としてご指導・ご鞭撻と更なるご支援をお願い申し上げます。最後に母校・同窓会本部と各支部の益々のご発展と同窓生各位の末長いご多幸とご健勝を祈念いたします。

支部長　木谷正雄（31回）

## 北河内支部

### “参加者を増やすため声かけ運動を始めよう”

さる6月24日（日）午前11時から寝屋川市の「がんこ寝屋川店」で、第5回支部総会を開催、学校側から草薙信照副学長、同窓会本部から廣野義直組織部長・丹有支部長、梶村貞男北摂支部事務局長、北大阪支部から阪口昇副支部長らのご出席を頂き、総会に花を添えていただいた。

総会に先立ち、草薙副学長から「学校も10月1日の創立80周年式典を控え、事務棟の完成に続いて旧事務棟の取り崩し作業が始まるなど、学園風景もすっかり変わろうとしており、機会を作ってぜひお立ち寄りください」と、廣野常務理事からは「80周年募金に多大のご協力を頂いておりますが、来春の期間まで引き続きご協力をお願いしたい」との、挨拶を頂戴した。

その後山本寿照氏（33回）を議長に選出、平成23年度事業・会計報告を承認、任期満了に伴う役員改選で、支部長に森川義一氏（25回）副支部長に志水利通氏（23回）花岡任宥氏（27回）を再選、会計幹事に笠原政芳氏（37回）を選出した。続いて会員相互の親睦を一層深めていくためのイベントの開催などを織り込んだ平成24年度事業活動。予算案を承認、無事総会を終了した。

支部長　森川義一（25回）

## 豊中支部

### 「税制改革について」の講演を聴く

第28回豊中支部総会が10月13日、ホテルアイボリーにて開催いたしました。今回は大学から勝田理事長、経営学部増山裕一先生、同窓会より廣野義直組織部長、梶村貞男事務局次長様ら4名の来賓の方が来てくださいました。はじめに勝田理事長より、大学の現況報告と80周年の事業に関しての話をしていただき、その後、増山先生から「最近気になる税制改正について」をテーマに講演をしていただきました。第2部の総会も、とどこおりなく各議案承認で可決いたしました。その後記念写真をとり、第3部の懇親会を開き、わきあいあいに話ももりあがり、参加者より一言ご挨拶をいただきながら、大学よりいただいたDVDをプロジェクターで放映しました。

最後まで楽しく開催出来ました事、感謝いたします。今回は講演会が37名、総会が35名の方が参加していただき、誠に有難うございました。

支部長　植田富雄（38回）

# 支部だより

## 堺支部

### 大樟会堺支部創立10周年記念総会が盛会裡に行われた

平成24年11月18日(日)、堺支部創立10周年を御来賓、会員 総勢81名が集まり開催した。

**平成24年度大樟会堺支部総会**

平成24年度支部総会を西 恵司(35回:大阪府会議員)の司会で開会した。中坪健治事務局長(41回)から議事(事業報告、会計報告、会計監査報告)進行がなされ、拍手で承認されて一部を終了した。

**大樟会堺支部創立10周年記念式典**

堺支部創立10周年記念式典は見学捷太郎(28回)副支部長、式典副委員長の司会で始まった。堀本 修(24回)堺支部長兼式典委員長が「支部創立10年の節目を本日迎えられて感激もひとしおです。今日はご多忙の中から堺市長、大学関係者、大樟会々長はじめ近隣支部長の御来賓、また多くの会員の皆様が御出席頂き感謝している。堺支部の創立は当時の井阪理事長から強く望まれて、平成14年11月に旗上げした。『物のはじまり堺から』と堺は歴史と伝統のあるまちです。私たちは支部設立時より『組織と親睦』をテーマにしてきました。『組織』とは全国の支部で初めて区市町別に副支部長を配し地域単位で活動している。『親睦』とは遊び心を以って、ゴルフ会、旅行会、懇話会を通して会員間の親睦を深めている。加えて支部旗を他支部にさきがけて作り、支部の集まりには日章旗も掲揚するなどして誇りを持って同窓会活動をしています。これからは役員の若返りと組織の充実を図りたい。」と挨拶しました。

御来賓の御祝辞は堺市長 竹山 修身氏が各種行事の中を割いて出席され、歴史と伝統のまち堺の市長として3年余り市制の発展に取り組んでいる。文化と遺産と先端産業の街としてこれからも頑張りたい。大経大および同窓会のご発展をお祝いすると挨拶された。

つぎに大阪経済大学から崎田洋一事務局長が立たれ、大学創立80周年記念行事の推移や学校の事情を話され、これからの大学のすすむ途や学業以外のクラブ活動の報告が伝えられた。大樟会の佐藤武司会長が「初めての来堺は遅きに失すると思われるが堀本支部長の同窓会への情熱には敬服しており、堺支部発展に期待したい」と挨拶された。近隣支部長の代表として水納敏也伊丹支部長が「堺支部の活動にはいろいろ参加してみたが、その先見性に自分たちの支部も参考にしたいことが多い」とお褒めとお祝いの言葉を頂きました。

開宴の乾杯は西本集一奈良支部長で、「奈良と堺は昔から繋がりが深く親近感をおぼえます。堺支部の益々の発展と御参会者のご健勝をお祈りします」とご発声戴き和やかなうちに宴会に入った。今回の式典を大いに盛り上げようと企画し、母校の吹奏楽総部の祝演奏を取り入れました。参加者全員で大学々歌を斉唱してはじまり、気鋭の部員18名が後半の祝宴も含め7曲を熱演してくれました。

堺支部創設以来10年間の苦労話や学生時代の懐かしい想い出など談笑が絶えず時間がアッと言う間に過ぎて、堺支部副支部長、式典副委員長馬場敬允(26回)により閉会の挨拶、万歳三唱をして閉会した。

副支部長兼式典副委員長　見学捷太郎(28回)

## 尼崎支部

### 若い世代が気軽に交流

尼崎支部は平成24年度支部総会を4月26日に尼崎商工会議所に於いて開催しました。来賓として佐々木繁事務局次長、佐藤武司同窓会長、竹中亨同窓会事務局長の御出席と会員23名の参加がありました。久保支部長の挨拶の後佐々木繁事務局次長、佐藤同窓会会長より御祝辞をいただき、会計報告を行いました。懇親会は諸田治様(昭和35年卒)の乾杯にて始まり、途中毎年恒例となっておりますビンゴゲームをしたりするなど楽しい時間を過ごしました。最後に学歌を熱唱して常深俊昭様(昭和32年卒)に締めの挨拶と万歳三唱をしていただき今後の同窓会の発展を願いながら散会しました。

尼崎支部は若手の参加者も多く、幅広い年代での交流の場としてどの年代の方々も気軽に来ていただければありがたく思います。近年参加者が減少している傾向にありますので是非お知り合いの方に声を掛け参加をお願いします。

支部長　久保太郎(31回)

## 阪神支部

### 総会の開催を25年度から毎年開く

11月7日、午後6時からホテル・ノボテル甲子園で、新大樟会旗の下、平成24年度支部(西宮・芦屋・宝塚の3市)総会を大学から情報社会学部長の家本修教授、大樟会から佐藤武司会長、廣野義直組織部長のご出席をいただき開きました。

はじめに進木支部長が、母校創立80周年記念式典が10月1日、大阪・ホテル阪急インターナショナルで来賓を含め約900名の方々が臨席され盛大に行われました。20年後の創立100周年に向けなお一層の発展、充実を目指すと理事長、学長が決意表明されたことを受け、阪神支部もこのことを共有することを誓い合いました。総会では支部役員の若返りを図るため3名の副支部長から1名が交替、さらに多くの会員の要望を受け、総会の開催年をこれまでの隔年から毎年開くことで、平成25年から実施することが決まりました。この後、皆さん和やかな懇親会の終宴、学歌斉唱の締めで総会を終えました。

支部長　進木伸次郎(33回)

## 伊丹支部

### 江戸時代の街並みを散策　総会を兼ね親睦を図る

平成24年6月2日(土)に大阪経済大学大樟会伊丹支部総会が、支部の「まち」をよく知るための市内散策と合わせて開催しました。

＜総会＞ 猪名野神社境内に隣接する伊丹市の共同利用施設「あじさいセンター」で散策に引き続き、午後4時30分から、平成24年度総会を開催しました。

水納支部長による開会の挨拶の後、ご来賓としてご出席頂きました、情報社会学部部長補佐の宮武記章様から大学の現状説明を含めご挨拶を頂きました。他に平田大樟会広報部長はじめ7名のご来賓の皆様には、大変ご多忙の中ご出席頂き誠に有難う御座いました。

会員16名と伊丹市在住現役2名が参加し、平成23年度事業報告・会計報告が承認され平成24年度事業計画案(①福祉施設でのボランティア、②地元の宮ノ前まつりにバザー参加、③清水一二氏(50回卒業生)による「陶芸教室」、④福井市支部とタイアップした「ゴルフ・観光」)及び予算案等、午後6時まで熱心な審議が行われ、承認されました。

＜懇親会＞　総会終了後、白雪のブルワリービレッジ「長寿蔵」に移動し、来賓・会員25名が参加し、懇親会を開催しました。長寿蔵は江戸時代末に建設された酒蔵で、レストランに改造されたものです。名物は伊丹市の姉妹都市であるベルギー国ハッセルト市のビール会社とタイアップして醸造されている4種類のビールとにごり酒によるパフォーマンスに堪能しながら、午後9時まで賑やかに懇親を深めることが出来ました。特に最後は全員肩を組み、学歌を斉唱しました。

代表幹事　瀧内和之(35回)

## 池田支部

### 「震災に学ぶ減災まちづくり」の講演を聴く

平成24年6月24日(日)池田の老舗「太郎兵衛寿司」にて支部総会が開催されました。この日のためにあったような梅雨晴れの中、ご来賓に大学より勝田泰久理事長、同窓会から佐藤武司会長、竹中亨事務局長、木谷正雄箕面・豊能支部長、田辺捨夫同支部会計監事、吉仲美智子同支部会計、瀧内和之伊丹支部幹事のご臨席を賜り総勢30名の出席者。勝田理事長からは80周年を契機にさらに伸び行く大学の未来を、80周年記念募金委員長でもある佐藤会長からはその未来を支える募金活動についてのお話を頂戴いたしました。また、当支部の会計担当理事である角庵勝己氏(43回)の大樟会卒回理事就任が披露されました。

総会は松田今朝男副支部長の司会で始まり、中一正支部長から力のこもった挨拶をいただきました。次いで活動報告、会計報告、会則変更、役員改選の各議案がいずれも満場一致で承認され、無事に終了しました。引き続き、経済学部教授の遠州尋美先生による「東日本大震災に学ぶ減災まちづくり」という誠に時宜にかなったテーマでのご講演があり、命を守り再出発を保証する「減災」の重要性について丁寧なお話を頂戴しました。

第2部の懇親会は山形武相談役の乾杯の発声でスタートしました。参加者全員の自己紹介には軽妙なお話、愉快なお話が続出し、何度も会場が沸きました。ビンゴゲームでは支部長自ら進行を務め、満座の喝采を受ける名司会者振りでありました。また当支部ではゴルフクラブ、囲碁クラブが活動しており、山形輝三副支部長から活動報告が行われました。内容はホームページの「池田支部のクラブ活動報告」をご覧下さい。楽しい懇親会は山形副支部長の閉会の辞に次いで、中三吉先輩の先導による学歌の斉唱、大学・大樟会・参加者へのエールが送られる中、次回の再会を約しました。

最後になりましたが、お蔭様で総会・記念講演・懇親会とも非常に充実した内容になりました。これも偏に同窓会並びに大学のご支援の賜物と改めて感謝申し上げる次第です。　　監事　今村武司(43回)

## 丹有支部

### 地元高校卒の経大同窓生の入会を強化しよう

北摂山系の優しい尾根の山々が見渡す限り紅葉が真っ盛りの11月18日、「三田市総合文化センター」郷の音ホールで開催しました。来賓として学校から草福財務部部長、大樟会から田村副会長、進木総務部長らがご出席され、ご祝辞はじめ学内状況、80周年事業の進捗と改めて募金のお願いがありました。参加者一同学校の変貌に驚いた様子で、ぜひ25年度の総会には行ってみたいと発言がありました。続いて支部長から23年度の活動報告と24年度の計画発表があり、特にニュータウン地域で新設高校を卒業した若い世代の経大同窓生(現役、卒業生合わせて約400名)への入会勧誘強化と、役員の若返り及び組織の強化を掲げた。また「向こう三軒両隣」支部との友好、親睦関係の継続と、新たにボランティア活動の提案がなされた。終わりに支部長より、同窓生の田中一良君が市議選で当選できたのは、丹有支部員のそれぞれの個人的な影の応援が大きな理由で当地の京大、神大、関、関、立命出身の議員連中に経大の「繋がる力」の強さを知らしめる事ができ、支部長として誇らしい思いであり心からお礼申し上げます、との報告があった。

総会後田中一良君の講演で、(芸術、スポーツ部長)「三田と裏千家の繋がりとお茶の話」で裏千家中興の祖13代「円能斎」の妻綱子が11代三田藩主九鬼隆徳の娘であり世界の「お茶」の歴史の中で三田の人が関わっている事、その発展に我が経大の三田の同窓生が寄与していることに、不思議な縁を感じた。懇親会では、支部員の「中庸」などの吟詠があり、自己紹介、近況報告では経大入学志望の時の動機や現役時代のクラブ活動の素晴らしい成績等の楽しい話題で盛り上がり次回の再会を楽しみに高らかに逍遥歌を歌い閉会となった。

支部長　廣野義直(34回)

# 支部だより

## 但馬支部

### 母校の80周年記念事業に20万円を寄付

第7回但馬支部総会を平成24年7月7日、朝来市の和田山ホテルで開催しました。大学から橋本進路支援部長、同窓会から佐藤会長、広野組織部長、尼崎支部の久保支部長、田中京都支部長、同支部南相談役の方々に遠方よりご出席いただきました。当日は「生野高原カントリークラブ」で高本但馬支部長をホストに親睦ゴルフコンペを14名の参加者で楽しく行いました。

総会は橋本進路支援部長が大学の近況、佐藤会長が80周年記念事業の現状と総会への祝辞がありました。平成23年度の事業・決算報告、24年度の事業計画と予算案及び80周年記念事業の募金として当支部より20万円の寄付が承認されました。懇親会は和気あいあい、最後は参加者全員で学歌、逍遥歌を合唱、お開きとなりました。

但馬支部の会員の皆さま、平成25年の総会にはお友達お誘いの上、ぜひご参加していただきますよう、お待ちしております。

事務局長　藤原将之(48回)

## 明石支部

### 明石支部発足15周年「記念総会」を盛大に開く

平成24年9月15日(土)午後4時より、「西明石キャッスルプラザ(兵庫県明石市)」において支部発足15周年記念総会を開催いたしました。大学側から勝田理事長、崎田事務局長をはじめ、大樟会竹中事務局長、平田広報部長、大樟体育会下垣会長、また近隣支部からたくさんの支部長様のご臨席を賜りました。

第一部は韓国観光大使でわが大学の客員教授でもあります「李容淑＝イヨンスク」先生をお迎えして、〔日本文化と桜とキムチ〕というテーマで記念講演会を開きました。先生の講演は非常に楽しく見事な日本語と話術で素晴らしい講話でした。

第二部の総会・懇親会では、佐藤武司支部長の挨拶の後、来賓から祝辞をいただきました。勝田理事長からは、理事長ならではの大学の80周年記念行事に関する話をざっくばらんに聞かせていただき、皆さん、よく理解できたと思います。懇親会では、恒例のビンゴゲームを楽しんだりしながら、最後に学歌・逍遥歌を斉唱し、閉会しました。二次会は近くのカラオケステージを貸し切り、李先生の熱唱あり、佐藤支部長夫妻のデュエットありの和気あいあいの中、楽しい時間を過ごしました。発足15周年にふさわしい記念総会となりました。

吉本明浩(41回)

## 姫路支部

### 「創立80周年の総会開催に感謝」…林支部長

平成24年度姫路支部総会は、9月1日(土)午後5時30分より姫路キャッスルホテルにて62名の参加者で開催いたしました。林支部長より、大学創立80周年の今年、姫路支部総会が開催できましたことに対し、熱い感謝の意を込めた挨拶がありました。引き続き来賓として大学より勝田理事長、同窓会から佐藤会長をはじめ多数のご来賓の方々のご出席を賜り、皆様方より大学の現況や将来構想をはじめ、創立80周年事業の活動状況や近隣の同窓会の活動等々についての説明と報告を兼ねたご挨拶をいただきました。また会計報告に続き、5年間の長きにわたって支部長を務めてこられた林支部長より来年度の役員改選の提案がありそれに対する役員一任決議を行いました。記念撮影の後、懇親会にはいり、和気あいあいとした卒業年次ごとの自己紹介で多いに会員同士の親睦をはかりました。また、若い会員からは来年からは是非女性の同窓生を誘って参加することも宣言してくれました。全員で学歌・逍遥歌を合唱し、懐かしくも大変楽しいひと時を過ごすことができました。最後に大学の一層の発展とお互いのご健勝を心から祈念しながら、来年度の再会を誓い合って一本締めで終了致しました。

副支部長　上野隆裕(40回)

## 東播磨支部

### ―介護保険について―　勉強しました

10月28日(日)11時より、加古川プラザホテル内東京「田村」で、昨年に続き第二回支部総会を開催しました。

大学から森詩恵准教授、藤原広太郎理事、同窓会本部より佐藤武司会長、上田敬二郎常務理事、姫路支部より芦田雄二副支部長をお迎えし、議事を滞りなく終えることができました。また、ご来賓の各位より大学や大樟会の近況のご報告をいただき、懐かしく80年の歴史・記念事業を拝聴いたしました。

特に森先生の「介護保険制度の仕組みと課題」についての講演が大変な好評で、懇親会や自己紹介での話題の中心になり、身近な課題となっている会員からは多数のお礼の言葉がありました。

盛り上がった懇親会は延長戦となり、中締めの後も10数名が居残り楽しく歓談をし、改めて有志で忘年会の準備を開始することを約束し散会となりました。

支部長　西川嘉紀(33回)

## 北播磨支部

### 関西大学・関西学院とゴルフ交流戦

兵庫県北播磨支部も創設6年目となりました。少し遅くなったのですが、平成24年度総会を11月18日に、小野市内の「おがわ」さんで開催しました。出席者は11名とやや少ないのが残念でした。

当日は、大学より理事総務部長の藤原広太郎様と同窓会本部から事務局次長の梶村貞男様にご出席いただき、最近の大学の様子や同窓会活動などをご報告頂きました。

母校も、80周年を機に次々と施設のリニューアルに取り組まれており、オールド学生にはなんとも羨ましい報告でありました。また、施設だけではなく、大学運営も健全に推進されているようで心強く感じた次第であります。同窓会の旗も紫を基調としたデザインに変わっておりまして、ややソフトな印象を受けました。

総会後の懇親会では、大学時代の話や現状報告等々で盛り上がり、有意義な時間を共有出来ました。24年度支部事業では、12月24日に関西大学並びに関西学院大学の小野支部同窓会とのゴルフ交流戦を、小野東洋ゴルフ倶楽部で開催します。両校に負けないように頑張りたいと思います。

支部長　伊藤俊博(32回)

## 奈良支部

### ブロックごとに交流を深めよう

24年度の支部総会は11月4日、東大寺門前の「夢風ひろばホール」で開かれた。大学から家本修情報社会学部長、同窓会本部から廣野義直常務理事組織部長・丹有支部長の参加をいただいた。参加支部員は30人で、いつもの元気な顔がそろった。最初に本部から贈られた新同窓会旗のお披露目があり、会場正面に誇らしげに掲げられた。

西本集一支部長は「何としてでも総会への参加者を増やすことが命題。ブロック長を中心にお誘いの電話や手紙を書くなどして日ごろからの交流を深めてほしい」とあいさつ。支部員が「新聞記者が見た震災現場」と題して講演、熱弁にハンカチを手にする人も。被災地を見てきた西本支部長も新聞が書かない、TVが放送しない話をし、皆が聴き入った。

午後からは、日本料理の「志まず」で懇親会に移った。窓外には天下の「若草山」が一望でき、支部員は「こんないい眺めが」と改めて納得の様子。会計事務所を開き、顧客集めに奔走している院卒の保田まち子さんは「諸先輩のお力添えを」と笑顔をこぼしていた。山本長彦(32回)

## 淡路島支部

### 景勝の地・慶野松原で支部総会

9月29日、約5万本のクロマツ松林に囲まれた国民宿舎・慶野松原荘で、ご来賓として大学から藤原総務部長、同窓会から平田広報部長、梶村事務局次長、隣接の下土井神戸支部長をお迎えし、23回から75回までの卒業生32名が集い盛大に開催した。

洲本市長の竹内支部長より出席者に心からお礼の挨拶のあと、来賓のご祝辞では冊子を開いて学舎の整備状況、同窓会本部の近況報告、体育会の活躍や80周年記念募金の状況など詳細の報告があった。総会の議案審議で実績・決算報告と監査報告、事業計画・予算案は全て承認され、役員改選で現役員が全員留任、新たに古池浩二郎氏(53回)が幹事就任で新体制が整い、赤松副支部長が議事を締めくくった。

記念撮影に続く親睦会は、淡路ビーフとマツタケ料理で乾杯。初出席3名から自己紹介があり、新たに仲間入りした各氏に会場は盛大な拍手。参加者相互の賑やかな歓談は佳境を迎え、最後に全員で学歌・逍遥歌を斉唱、小堀副支部長から明年の再会を誓い合う挨拶で閉会となった。今回会えなかった皆さん！次回はぜひともご参加を！

事務局長　喜田憲康(40回)

## 和歌山支部

### 大いに盛り上がった、80周年記念支部総会

昨年10月6日(土)同窓会和歌山支部総会が会員32名出席の下、和歌山市のホテルグランビアにて開催されました。

総会には来賓として、大学から梅原経済学部長、同窓会から平田広報部長、またお隣の泉南支部から今西様の出席を頂きました。新田支部長の開会の挨拶の後、来賓の皆様から80周年の取り組み状況や学生の様子などが紹介され、会員一同自分達の学生時代にも思いを馳せ、熱気溢れる総会となりました。また、支部活動を充実させるため、新たに増田支部長代理(32回)を選任しました。懇親会では、大学当局への提言や要望が相次ぎ、卒業生の大学への深い思い入れと愛情を改めて認識する機会になりました。総会終了後、ホテル近くのスナックに席を移し二次会が開かれました。全員で逍遥歌を斉唱した後、大カラオケ大会となりました。

平田部長様にも最後までお付き合いを頂き意義深い総会でした。

事務局長　西 芳男(36回)

# 支部だより

## 岡山支部

### 同窓生52名が集い、総勢60名で盛大な総会

6月30日(土)岡山支部総会が、50期の松山さんが支配人をされている岡山プラザホテルで今年も開催されました。

大学より勝田理事長はじめ4名、同窓会本部から2名、津山支部から竹本支部長らの御来賓をお迎えし、同窓生52名が集い総勢60名で盛大な会になりました。勝田理事長から大学の近況と大阪経済大学の目指す未来をお聞きし、小林同窓会常務理事から創立80周年にむけての協力のお願いがありました。その後、皆さんが楽しみにしている懇親会に移りました。今年は現役の学生3名が就職活動を兼ねて大阪から参加してくれ、さらに初めての参加という同窓生が5名にも上り、いつにもまして盛り上がり、あちこちで楽しい談笑の輪が出来、あっという間にお開きの時間が来てしまいました。最後に恒例の学歌、逍遥歌を全員で合唱し、来年の再会を約して宴を終えました。学歌、逍遥歌を共に歌うことで学生時代を思い出し、大阪経済大学の同窓生としての絆が一層強くなると実感しました。

岡山在住の同窓生の皆さん、是非一度参加してみて下さい。共に楽しい時間を過ごしましょう。　　支部長　松永清彦(41回)

## 津山支部

### 真庭地区で初の開催

8月25日、大学から城人間科学部長様、同窓会本部より佐藤会長様、竹中事務局長様、岡山支部、松永支部長様、小野前支部長様、塩尻前副支部長様のご来賓を始め、多くの会員の参加を得て、総会を盛会裡に開催することができました。

今回は、真庭地区で初めての総会開催ということで、真庭の実行委員会の皆様の大変なご努力で、総勢40名と過去最高の参加を得ての開催となりました。真庭の地元なら近いので、また幹事の皆さん、先輩からの声掛けと開催直前まで参加の連絡をしていただき、本当に頭の下がる思いです。懇親会では、35期の岡田さんの一人芸で多いに盛り上がり、時間の経つのも忘れるくらい楽しいひと時でありました。

この総会を契機として、真庭地区の皆さんが、忘年会をぜひやろうと話しが弾んでおり、開催を楽しみにしております。

支部長　竹本 巧(37回)

## 広島支部

### 支部70回総会を母校で開催

広島支部は結成以来総会が70回を迎える節目に、平成24年度大樟会総会の11月3日に合わせて、母校での総会開催を企画・実施しました。

残念ながら、参加人数は少なかったですが、阪急電車の上新庄駅を降りるや目に飛び込んできた駅付近の様変わり、また大学建物の落ち着いた趣のある校舎群に皆さん感慨深く昔を懐かしむお声ばかりでした。佐藤会長のご挨拶、大学からのご案内もいただき、総会では新大樟会旗が披露され全国第一号として旗をバックに記念撮影もでき、ささやかでしたが、皆さんの思い出となる70回総会になったと思います。また、懇親会では、支部の先輩方は同期の方、お知り合いの方々ともお会いすることもでき、今回の総会の意義も少しは達成できたのではないかと思っています。

これから75回、80回と支部の歴史を積み重ねていきたいと思います。大樟会総会でお世話になりました皆さん、ありがとうございました。　　支部長　陰山秀明(44回)

## 山口支部

### 若い卒業生の参加が課題

平成24年10月13日(土)、午後3時半から山口市湯田温泉の「ホテルかめ福」にて、本年度の同窓会山口支部の総会を開催しました。

山口支部としてはここ10年以上支部総会を連続して開催しており、常に20名以上の参加者がありましたが毎年開催していることもあってか最近は減少傾向が続いております。他支部も同様な状況かと思いますが、参加者の年齢も高くなってきており、若い方の参加も希望しているところです。

同窓会を開催していつも楽しみにしているのが大学本部と同窓会本部の方からの近況報告をお聞きすることです。特に最近の話題は大学の建物が近代化されて新しくなっているとのことで、卒業生としても未来に向けた大学の経営方針に大変期待しているところです。半面、以前の様子がすっかり変わってしまうのも残念な気がしてなりませんが、少子化の時代を迎えての先を見た大学当局のご努力に感謝申し上げたいと思います。　　事務局長　後藤 毅(41回)

## 徳島支部

### 少し寂しい支部総会

平成24年1月21日、大学より崎田洋一事務局次長、同窓会本部より佐藤武司同窓会会長をお迎えし、同窓生がちょっぴり少ない17名が集い徳島県支部総会を行いました。

今年は何故か他の予定との重複が多く、こじんまりとした集いになりました。ご来賓から母校の入学希望者の状況、就職状況から、今年迎える大学創立80周年記念事業等の事業進捗状況の説明もいただきました。が、残念ながら私たちが記憶している母校の姿から新生大学の姿は浮かんできません。数年前に昔の下宿の同期の仲間8人で母校を訪問し、若かりし時の記憶と現実のギャップに驚いたことを思い出しました。

そして、恒例のお楽しみ懇親会へと宴が進み、体が温まるにつれ、久しぶりの再会に三々五々あちこちに集まりの環が増えて行き、互いに近況を話し合い、一本締めで締めくくり、元気で来年の再会を確かめ合いながら、小雪の舞う夜の町へと消えてゆきました。

事務局　山口勝敏(32回)

## 愛媛支部

### 支部総会に初参加、恩師・徳永学長に再会

第29回大樟会愛媛支部総会が平成24年7月1日(日)道後「やすらぎ荘」において開催されました。大学来賓として学長の徳永光俊先生、大樟会会長佐藤武司様、事務局長の竹中亨様も参加頂き、大学の近況報告など頂きました。平成9年3月に第63回卒業生として学舎を後にし初めての参加となりました。参加者は39名でした。私にとってほとんどの方が初対面の方ばかりでしたが、先輩方からたくさんのお話を頂き大変有意義な時間を過ごすことができました。その中でも徳永先生とお会いできたことは、大学時代ゼミ生だった私にとって大学時代の懐かしい時間を取り戻すことができました。私も現在38歳となり、徳永先生と同じ故郷の愛媛で高校教師として働かせて頂いています。徳永先生の教育方針の根幹でもある「道理」を大切にし、「おかげさま」精神で頑張ります。

大阪から遠く離れた愛媛でも「大経大プライド」を持ち、母校の発展を願う先輩方に今後も勉強させて頂き、次回の総会に参加できることを楽しみにしています。

山田哲司(63回)

## 香川支部

### 和気あいあいの支部総会

香川支部総会は平成24年7月1日(日)にオークラホテル高松にて開催しました。

小林真人同窓会常務理事や高塚邦夫事務局長らのご臨席を賜り総勢31名の出席者のもと、始まりました。席上、今年、香川県宅地建物取引業協会の会長に就任された日下雅彦氏(35回卒)や創部わずか12年で全国高校バスケットボール選抜大会で準優勝した尽誠学園高校の色摩拓也監督(62回卒)、そしてジャズピアニストの合田裕則氏(37回卒)など支部会員の活躍ぶりを紹介。

懇親会では荒井正人氏(37回卒)とシェリーによる懐かしいポップス曲の演奏と歌声に陶酔し、積極的に舞台で歌う人が続出。私も持参したエレキギターで演奏に参加しステージ盛り上げに尽力。あっという間の2時間が過ぎ去り、最後は恒例の大奥雅彦氏(46回卒)による威勢のいい閉めの音頭で幕引き。盛会裡に終えた支部総会ではありましたが、欲を言えば、やはりもう少し多くの参加者を集めたいものです。

支部長　鈴木澄夫(36回)

## 高知支部

### “祝大学創立80周年”

平成24年10月20日(土)午後6時より、三翠園にて総勢20名での開催となりました。

大学からは勝田理事長、大樟会からは田村副会長のご出席を賜り、大学の近況報告、今後の方針等についてお話いただきました。会計報告、乾杯へと高知らしい宴席に入り、日本酒の熱燗をさしつされつ、和気あいあいと盛り上がりました。宴席中は大学ＤＶＤ、校歌のＣＤをＢＧＭとして流し、我を忘れて学生生活に戻った様な気がしました。

来年はどのような展開でいくのか？　100％男性の出席を女性にも出席していただくには？　いろいろなアイデアを募集しています。皆様ありがとうございました。

幹事　南 宏道(52回)

# 支部だより

## 北九州支部

### 懐かしく、楽しく、自然と握手

年末押し迫った12月8日、大樟会北九州支部総会を開催しました。12月に入り一番の寒さを感じる中、大学から井形経営学部長、同窓会から田村副会長、小林常務理事、近隣の支部から濵熊本支部長らが御出席いただきました。厚く御礼申し上げます。当支部は、福岡、佐賀、長崎各県に在籍される同窓生で構成されています。ご多忙の中、出席されました同窓生の皆様に感謝申し上げます。支部総会は一年に一回の再会の場です。とても懐かしく、自然と握手し、肩をたたき合って、笑顔で親睦会のひとときを皆さん、楽しんでおられます。縁あって大阪経済大学で学び、卒業して同窓生となり、先輩、後輩と年々つながっていきます。当支部同窓会にまだ参加されていない在籍の皆様、ぜひ一度参加されることを願っています。最後に大阪経済大学の益々のご活躍を祈念しています。大阪から遠い北九州支部にとって、話題に上がることが何より元気になります。　　支部長　植田達三(52回)

## 熊本支部

### 支部設立25年、母校で11月に「総会」を計画

11月18日、ホテル全日空熊本ニュースカイで平成24年度支部総会を、大学より高塚常務理事、同窓会から小林常務理事、植田北九州支部長らの来賓を迎え開催しました。作見事務局長からの議事提案もすみ、懇親会が始まりました。出席者は常連8名が今回欠席され12名とやや少なく、次回は1人でも多く参加者が増えるよう知恵を絞りたいと思います。

当支部も平成25年は発足25年の節目となります。卒業後、母校を訪ねた会員も少ないようなので11月の大樟会総会はスケジュールを合わせ、ぜひ母校に寄り思いで多い大阪の地で支部総会を計画、実行したいと考えております。長年にわたる当支部のくつろいだ雰囲気の中での交流と温かい支部運営をモットーに、これからも活動を続けていきます。　　支部長　濵 忍(35回)

## 宮崎支部

### 大学・同窓会の状況を聞いて再確認

11月17日(土)、宮崎支部総会を宮崎レマンホテルで開催した。南九州支部(鹿児島県との合同)から独立して、10年を迎える節目の総会であった。当日は大学から高塚邦夫常務理事、同窓会から平田義行広報部長をお迎えし、諸々の近況報告を拝聴することが出来た。地方に住む我々にとって、学生時代のイメージだけが残っている中、最近の大学周辺の環境や規模及び運営方針等を聞いて余りのギャップに驚くことばかりであった。また同窓会の運営内容や募金活動状況、学生のクラブ活動における活躍状況の報告があった。お二人には大学そして同窓会に関する説明・報告に充分な時間をとっていただいたため、出席者一同母校の最新情報を得たことに満足した次第である。なお今回の総会に数年ぶりに出席した人、さらに宮崎にUターンして来た初参加の人がおり、新鮮味のある会合となった。今後は県内に80余名の卒業生がいるため、毎年の当支部の課題である「会員拡大」を目標にすることを確認し総会を終了した。　　支部長　福田俊彦(32回)

## 南九州支部

### 大学に何をできるか、が私たちの使命

鹿児島・城山の緑が冬の空には珍しいほどの快晴に恵まれ、一段と鮮やかさを増した平成23年12月18日、天文館のホテルで南九州支部総会を開催しました。大学から家本修先生、同窓会本部から平田義行広報部長の出席を得、忘年会を兼ねた総会です。

当支部顧問の保岡興治元法務大臣(元本学客員教授)から政界と経済のお話を聞き、皆さんからの質問などで花が咲きました。また久しぶり参加の鶴田兼国さん(33回)と広報の平田さん(31回)がクラブの新聞会で一緒に活動され懐かしい再会をされました。安山一彦さん、新内勝彦さんと私の家内を含めご夫人も3名こられ、沖縄大会以来の参加です。支部からの80周年記念募金も皆さんのご承認をいただき一歩前進したかと感じました。

大学への要望も現職の高校長からもあり、地方支部のあり方が問われる昨今ですが、少なくとも南の玄関口を自負する当支部は、大学が同窓生に何をしてくれるかではなく、常に大学に何ができるかを考えていることを、お越しいただいた大学と同窓会のお二人にしっかり伝えることができ、当支部全員の志と熱い血潮をみせることができたような気がします。

同窓会佐藤会長の「率先垂範」の行動で80周年の寄付金が満額達成されんことを祈ります。　　支部長　前薗博隆(34回)

## 春秋会

### 東西で会員交流が活発化

平成24年度の春秋会は大阪、東京合わせて例会を3回開きました。毎回、大学から理事長、学長のご出席を頂き「大学の現状と将来像」についてのお話を聞かせていただいております。いずれの会も出席者全員の自己紹介、現況報告、母校への思いなど力強い話が披露されています。11月9日の東京開催では約1時間の講演があり、その後の会員の活発な意見交換は大変有意義でした。

平成24年度の例会実績は以下の通りです。

1) 2月16日(木) 東京・平和不動産他　16名
講演　大阪経済大学客員教授　岩本沙弓氏
「外国為替の動向について」

2) 7月24日(火) 大阪・新阪急ホテル　22名

3) 11月9日(金) 東京・ホテルオークラニホンバシ　13名
講演　岡三証券理事　永見和彦氏
「株式相場の動向」

春秋会は再スタートして2年、会員数は現在55名ですが、平成24年度例会の出席者は延べ51名と増えており、会則の策定など会の具体的活動を現在検討しています。当会の理念は、同窓会の中で大学との“つながる力”の強い推進団体を目指しています。

事務局長　志水利通(23回)

## 社労士大樟会

### 中小企業支援でより一層の活躍を！

2012年7月14日、社労士大樟会第5回定期総会を大学で開催いたしました。当日は高知県や岡山県といった遠方からも会員の方々に駆けつけていただき、活気溢れる総会を開催することができました。

ご来賓として同窓会本部より中坪健治財務部長・梶村貞男事務局次長、税理士大樟会より中村吉伸総務部長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。同窓会本部からは80周年記念事業の進捗と同窓会の展望についてお話を頂戴でき、大いに意気上がるものがございました。

総会に先立ち社労士大樟会久保太郎会長は、中小企業が逆境に置かれている昨今、社労士の取り組むべき課題は数多くあり、より一層の活躍が望まれていると挨拶致しました。

総会は議長に久保太郎会長を、議事録署名人に山内淳子氏を指名し、審議を開始いたしました。そして、第1号議案：平成23年度事業報告並びに平成23年度収支決算及び監査報告承認に関する件、第2号議案：役員改選に関する件、　第3号議案：平成24年度事業計画(案)並びに平成24年度収支予算(案)承認に関する件がそれぞれ審議され、満場一致で承認されました。

引き続き行われた記念講演では、税理士大樟会 研修担当副会長 倉田 収　先生より「社労士の業務に必要な税務知識」と題してご講義いただきました。講演には税理士大樟会から三木泰会長・檜垣典仁総務副会長・大山伸之専務理事がご来賓に加わられました。

我われ社会保険労務士にも事業継承等の関連で関心の深い同族会社と役員間の税務取引、所得税法の改正等充実したお話をうかがう事ができ、大変勉強になりました。

記念講演終了後に懇親会が開かれ、大学から崎田洋一事務局次長が駆けつけて下さり、講師の倉田先生にもご臨席いただくことができました。ご来賓の三木税理士大樟会会長にご挨拶を賜り、同窓会本部の中坪財務部長の高らかな乾杯の御発声でスタートです。時間の経つのも忘れる和気藹々の中、同窓の絆深まる懇親会は大いに盛り上がりました。お開きでは、古池浩二郎監事による中締めが行われ、税理士大樟会の檜垣副会長(グリークラブOB)に先導戴き、学歌が斉唱される中、大団円を迎えました。

社労士大樟会では引き続き会員の募集を行っております。入会ご希望の方は、下記までご連絡下さい。

事務局　「飯田労務事務所」
TEL:06(6263)5511　FAX:06(6263)5510
mail:mi-ro-mu@trust.ocn.ne.jp

## 池田泉州銀行経友会

### 創立80周年を祝う、和気あいあいとした雰囲気

平成24年度経友会総会を8月22日(水)に難波の「スイスホテル南海大阪」にて開催致しました。当日は、佐藤同窓会会長・勝田理事長・当行の藤田新頭取を来賓としてお招きし、75名(会員数138名)の参加を得て、盛会となりました。

午後7時より、田中会長の開会の挨拶で始まり、昨年7月3日にご逝去された当会の喜多名誉会長を悼む弔意の言葉がありました。引き続き勝田理事長からは、ご自身の経験を踏まえた合併行融和の苦労話、佐藤同窓会会長からは、企業経営者としての金融機関への期待についてお話をいただきました。塙坂副会長の音頭で乾杯の後、かけつけてくださった藤田頭取から、コミュニケーションの重要性について、メッセージをいただきました。

その後、新入会員の紹介・結婚祝いの贈呈・会計報告・来年度幹事の紹介の後、恒例のビンゴゲームで盛り上がりました。

グリークラブOBの里谷君を中心として、学歌・逍遥歌を斉唱し、しばし学生にもどった気分になりました。懐かしく、楽しい時間は、すぐにたち、河瀬副会長の閉会の挨拶でお開きとなり、記念撮影のあと、二次会へ繰りだしました。　事務局長　長岡克浩(48回)

# 支部だより

## 日立大樟会

### 勝田理事長をお迎えして

第26回日立大樟会の総会が、2012年9月14日金曜日の午後6時30分より、大阪市北区梅田の「ガーデンシテイクラブ大阪」にて開催しました。

ご来賓として、ご多用の中、大学側より勝田泰久理事長、徳永光俊学長、同窓会本部より佐藤武司会長のご出席をいただき感謝しております。今年は15名の方に参加していただき緊張の中にも和やかな雰囲気でありました。なお、今回は広島より平井さん(38回)も久し振りの出席でした。

初めてご出席をお願いしました勝田理事長より80周年への記念事業の取り組みや企業と大学側の「つながる力」のスピーチがあり、普段大学側の情報が入らない状況で、出席者の方々には大いに参考になったのではと解釈しています。この「つながる力」は現在の日立Ｇｒへの入社が8年間途切れている中、来年こそ入社にと期待させていただきました。また、日立大樟会の田中初代会長からも80周年にあたり、経大の歴史に欠かす事ができない、故黒正巌博士のお話などがあり、改めて経大の歴史の重みを感じました。

来年は、今回ご出席されてない方々も是非ご出席いただき、日立大樟会を盛り上げたいと考えています。　　会長　角脇忠行(34回)

## 税理士大樟会

### 三木執行部2期目がスタート

平成24年7月13日金曜日午後5時10分、ハートンホテル心斎橋別館で、研修会に続き井元喜一総務部長の司会により、会員33人の出席のもと大阪経済大学税理士大樟会の第21回定期総会を開催しました。

来賓としてご臨席頂いた方々は、研修会の講師をして頂いた大阪経済大学学長　徳永光俊先生、大樟会　平田義行常務理事・広報部長、秋山治信常務理事、橋本浩二進路支援部長の紹介の後に定期総会の開会を宣言し、議場に諮ったうえ、東和伯前会長を議長に選出して議事に入りました。

第1号議案の事業報告については各部長が説明し、収支計算書の報告があり監事を代表して澤渡聰謹監事が監査報告をしたあと、異議無く議決承認されました。引き続き、第2号議案として事業計画案と収支予算案を審議し可決承認されました。

今回は執行部の任期が満了するため、第3号議案として役員改選の議案が提案され、三木会長以下、檜垣典仁副会長(総務)、倉田収副会長(研修)、市原孝志副会長(組織)、植村祐三副会長(研修)、堀田治副会長(厚生)、大山伸之専務理事、中坪健治事務局長の重任が可決承認され三木執行部2期目の陣容が整いました。

東議長の流れるような議事進行により、午後6時に定期総会が閉会しました。　　広報部長　西川孫市(64回)

## 大樟体育会

### スポーツ文化振興室とさらに協力を

第11回大樟体育会総会が4月28日(土)、J館で開かれた。出席クラブは全34クラブ中23、欠席は11クラブだった。

はじめに下垣恒彦会長が日ごろの各クラブ活動に対してお礼を述べ、「総会は全クラブが出席していただいて話し合いをするのがベストです。2012年度のスポーツＡ〇入試枠75名は堅持していく。またマナーアップキャンペーンは積極的に参加するクラブが増えています。創立80周年記念募金に当会から20万円協賛しました」とあいさつした。

同窓会を代表して佐藤武司会長は「80周年記念募金は体育会への使用方法を充実させます。大学のスクールカラーを決め同窓会旗を新調しますが、大学はピンク系を考えているようで、体育会系はエンジかブルーを使用しているのが多い。引き続き大学と協議していきます。またマナーアップの向上に皆さんのお力を得たい」。旗の問題につき学内理事の田村正晴同窓会副会長がその経緯と方向性を、特に旗の使用頻度が多い体育会クラブに説明した。

大樟会本部をはじめ同窓会、体育会本部役員の紹介、出席クラブの自己紹介ののち議事に入り、2011年度活動報告・決算報告(2011年4月～2012年3月)があり、いずれも承認された。役員改選があり会計が交代、組織強化に2名が新任された。

次いで2012年度活動方針として(1)スポーツ文化振興室との協力体制の確立(2)指定競技種目の指導体制の強化(3)大学との定期的打ち合わせ要請(4)マナー向上運動に協力する(5)全クラブの参加体制の強化(6)クラブの活動視察(7)大樟体育会の親睦会を実施が提案され一括承認された。　　広報部長　平田義行

大樟教育研究会

# 教師の「たまご」が「ひよこ」を目指します
# 第12回大樟教育研究会を終えて

秋晴れの下、創立80周年を迎え大きくジャンプしようとする母校において、今年も多くの方のご支援のもと、研究会が開催できた。OB45名、学生57名が真新しい」館を会場に集い、絆と友情を深め、熱い議論を戦わせた。今年の特徴は、講義の学生がそのまま席を会場に移してくれ、大いに盛り上がったこと、また、マナーアップに協賛したことにより、学生・職員・OBの輪が広がったうえに、学内外の美化に協力できたことがあげられる。

全体会では「母校の今とこれから－100周年に向けての確かなVision－」のテーマのもと学長、入試・教務各部長より、講演・講話があった。

学長からはカラーコピー10ページによる資料をもとに、志願者の推移・偏差値一覧・模試による他大学との比較・卒業率・就職率・留学生の状況等、さらには課外活動などの詳細な報告があり、興味深く拝聴できた。さらにVisionとしては、経済・経営系の私大NO.1を目指すことを宣言され、その実現のために3つのNO.1を提示された。「学生たちの満足度NO.1(大経大PRIDEを持った学生の育成)、全スタッフの力を結集して、面倒見の良さNO.1(大経大FAMILYを目指したゼミ教育を中心とした、きめ細かい教育の実現)、教員は学問研究においてNO.1(学生たちに知的な人間的刺激を与えられる学問の追求)」などを熱く述べられた。結びとして、初代学長黒正巌先生の「道理は天地を貫く」を引用され、人間的な確信を持った人材育成に努めたいと述べられた。私たち教育に携わる者にとっても「そっと手を添え、じっと待つ」の意味を熟考し、与えられた各現場でも実践したいものである。

「母校の今」については、斎藤入試部長よりパワーポイントを用いて、最近の入試状況の詳細が説明され、とりわけ学生の質の重視を視野に入れた入試の展開が注目された。菊川教務部長からは、よりきめ細かなカリキュラムの編成で学生をサポートしていく方針を説明され、直近4年間の教職関係資料が提示された。OB支援が始まったころより、履修者数・教育実習生数・免許取得者数・採用試験受験者数等が増え、その成果も確実に上昇しており、「教職の大経大」を目指したい。

分科会は、小学校・中学校・高等学校の3会場に分かれ、学生・OBが向かい合っての討論となった。各会場とも白熱した、熱心な意見交換の場があり、「つながる力」がいかんなく発揮されていた姿は素晴らしかった。

懇親会の席では、さらに打ち解けた学生・OBのテーブルが随所に見られ、微笑ましささえ感じさせられた。恒例の学歌・逍遥歌をOB指揮のもと、肩を組んでの大合唱となり、来年の再会を期して夕暮れ迫る母校を後にした。　　会長　眞鍋一美(32回)

JR大阪駅・各線梅田駅より徒歩7分

大阪市北区堂山町7-7 角庄ビル1F
tel：fax　06-6312-0529

org... レストラン　オルグ

2012年6月にピザ釜を導入し、リニューアルしました。
アンティークな空間で素敵なひと時を、お過ごし下さい。

Party Plan　(税、サービス料込み、御一人様)
姫プラン　2名様～(コース・ドリンク・ドルチェ付)　2,900円
貸切パーティ(50名～、フリードリンク付)　5,250円

大学関係のお客様は"澱江見た！"で、パーティ・ディナー 10% OFF

姫プラン女性4名様以上で、御一人　1,900円！

おかげさまで〈市信〉は今年、金庫創立85周年を迎えます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本店営業部 | 〒541-0041 | 大阪市中央区北浜2-5-4 | TEL.(06)6231-2881 |
| 中之島支店 | 〒530-0005 | 大阪市北区中之島1(大阪市役所内) | TEL.(06)6202-0891 |
| 西支店 | 〒550-0025 | 大阪市西区九条南1-10-17 | TEL.(06)6581-2421 |
| 阿倍野支店 | 〒545-0021 | 大阪市阿倍野区阪南町1-48-1 | TEL.(06)6622-0671 |
| 生野支店 | 〒544-0034 | 大阪市生野区桃谷2-23-32 | TEL.(06)6718-1121 |
| 福島支店 | 〒553-0005 | 大阪市福島区野田3-1-18 | TEL.(06)6462-3621 |
| 住吉支店 | 〒558-0051 | 大阪市住吉区東粉浜3-23-8 | TEL.(06)6673-8371 |
| 城東支店 | 〒536-0004 | 大阪市城東区今福西1-9-6 | TEL.(06)6939-5131 |
| 東成支店 | 〒537-0021 | 大阪市東成区東中本3-18-25 | TEL.(06)6971-2401 |
| 都島本通支店 | 〒534-0014 | 大阪市都島区都島北通2-3-19 | TEL.(06)6924-1171 |
| 布施西支店 | 〒577-0848 | 東大阪市岸田堂西2-3-6 | TEL.(06)6728-3301 |
| 南田辺支店 | 〒546-0031 | 大阪市東住吉区田辺3-25-20 | TEL.(06)6628-0581 |
| 門真支店 | 〒571-0046 | 門真市本町30-3 | TEL.(06)6909-7451 |
| 住道支店 | 〒574-0033 | 大東市扇町16-7 | TEL.(072)872-4881 |
| 八尾支店 | 〒581-0072 | 八尾市久宝寺2-4-57 | TEL.(072)992-0081 |
| 若江岩田支店 | 〒578-0941 | 東大阪市岩田町3-10-17 | TEL.(072)963-2151 |
| たつみ支店 | 〒544-0013 | 大阪市生野区巽中3-9-2 | TEL.(06)6751-1281 |
| 生野中支店 | 〒544-0006 | 大阪市生野区中川東2-4-6 | TEL.(06)6754-1811 |
| 高井田支店 | 〒577-0042 | 東大阪市西堤1-13-4 | TEL.(06)6788-2821 |
| つるみ支店 | 〒538-0052 | 大阪市鶴見区横堤3-6-52 | TEL.(06)6912-8861 |
| 加美中支店 | 〒547-0004 | 大阪市平野区加美鞍作1-9-24 | TEL.(06)6794-3931 |
| 生野南支店 | 〒544-0022 | 大阪市生野区舎利寺3-5-28 | TEL.(06)6718-2181 |
| 桃谷駅前支店 | 〒543-0033 | 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-9-3 | TEL.(06)6771-4881 |
| 鴻池支店 | 〒578-0975 | 東大阪市中鴻池町3-4-5 | TEL.(06)6745-2811 |
| 加美北支店 | 〒547-0001 | 大阪市平野区加美北3-12-1 | TEL.(06)6794-3121 |
| 中津支店 | 〒531-0071 | 大阪市北区中津1-17-26 | TEL.(06)6376-3071 |
| 吉田駅前支店 | 〒578-0981 | 東大阪市島之内2-13-9 | TEL.(072)964-8641 |
| 森ノ宮支店 | 〒540-0003 | 大阪市中央区森ノ宮中央1-8-1 | TEL.(06)6946-1081 |
| 谷町支店 | 〒543-0072 | 大阪市天王寺区生玉前町1-18 | TEL.(06)6775-0751 |
| 大東北支店 | 〒571-0012 | 門真市江端町9-23 | TEL.(072)882-1661 |
| 北支店 | 〒530-0053 | 大阪市北区末広町3-3 | TEL.(06)6365-7801 |
| 岸の里支店 | 〒557-0054 | 大阪市西成区千本中2-2-21 | TEL.(06)6659-6522 |
| 桜川支店 | 〒556-0021 | 大阪市浪速区幸町2-3-22 | TEL.(06)6562-3224 |
| 小阪支店 | 〒577-0806 | 東大阪市上小阪3-1-6 | TEL.(06)6730-1281 |
| 江戸堀支店 | 〒550-0002 | 大阪市西区江戸堀3-1-25 | TEL.(06)6447-7881 |
| 関目支店 | 〒535-0031 | 大阪市旭区高殿4-22-40 | TEL.(06)6954-0374 |
| 平野支店 | 〒547-0045 | 大阪市平野区平野上町2-7-18 | TEL.(06)6791-1804 |
| 日本橋支店 | 〒542-0073 | 大阪市中央区日本橋2-6-1 | TEL.(06)6641-8131 |
| 萩之茶屋支店 | 〒557-0015 | 大阪市西成区花園南1-3-15 | TEL.(06)6661-6031 |
| 梅田支店 | 〒530-0001 | 大阪市北区梅田1-3-1-100 | TEL.(06)6341-6434 |
| 加島支店 | 〒532-0031 | 大阪市淀川区加島4-2-46 | TEL.(06)6309-7821 |
| 東大阪支店 | 〒577-0035 | 東大阪市御厨中2-5-6 | TEL.(06)6788-5181 |
| 港支店 | 〒552-0016 | 大阪市港区三先1-10-28 | TEL.(06)6573-6261 |
| 長吉支店 | 〒547-0013 | 大阪市平野区長吉長原東1-2-73 | TEL.(06)6708-9001 |
| 恩加島支店 | 〒551-0012 | 大阪市大正区平尾4-21-8 | TEL.(06)6554-1351 |
| 北加賀屋支店 | 〒559-0011 | 大阪市住之江区北加賀屋1-1-26 | TEL.(06)6683-6551 |
| 姫島支店 | 〒555-0033 | 大阪市西淀川区姫島5-2-1 | TEL.(06)6475-3231 |
| 西九条支店 | 〒554-0013 | 大阪市此花区梅香3-33-9 | TEL.(06)6464-0621 |
| 東淀川支店 | 〒533-0014 | 大阪市東淀川区豊新5-14-30 | TEL.(06)6327-8861 |
| 守口支店 | 〒570-0083 | 守口市京阪本通1-4-12 | TEL.(06)6993-8541 |
| 豊中支店 | 〒561-0853 | 豊中市服部南町4-1-25 | TEL.(06)6864-7471 |
| 堺支店 | 〒590-0959 | 堺市堺区大町西3-2-1 | TEL.(072)232-7601 |
| 夢ふくらむ支店 | 〒541-0041 | 大阪市中央区北浜2-5-4 | 0120-77-2976 (テレホンダイレクト支店) |
| 市大病院出張所 | 〒545-0051 | 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 | TEL.(06)6633-1321 |

【店舗外市信キャッシュコーナー】

| | |
|---|---|
| 大阪市立総合医療センター出張所 | 大阪市都島区都島本通2-13-22(大阪市立総合医療センター1階) |
| 信金中金大阪支店出張所 | 大阪市中央区農人橋1-4-34(信金中央金庫ビル1階) |
| 大阪市立大学出張所 | 大阪市住吉区杉本3-3-138(大阪市立大学学術情報総合センター内) |
| 加島駅前出張所 | 大阪市淀川区加島3-中2-14(JR東西線加島駅前) |
| 阪神西九条駅前出張所 | 大阪市此花区西九条3-15-13(阪神西九条駅1階) |
| 姫島駅前出張所 | 大阪市西淀川区姫里1-39-1(阪神姫島駅改札口横) |
| 東成支店ATM出張所 | 大阪市東成区東中本1-15-29 |

夢・ふ・く・ら・む
大阪市信用金庫
代表理事会長 新堂友衛
(第21回卒 本学理事)
本店/〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL.(06)6201-2881(代表)
大阪市内全24区に店舗(府下全54カ店)を有する唯一の地域金融機関です。
インターネットアドレス http://www.osaka-shishin.co.jp/

## 創部60周年記念式典・祝賀会に230名が出席
## 半世紀超に及ぶ文武両道の歴史

**空手道部**

**【記念式典】スポーツは社会人としての資質をみがく**

○…昭和26年に創部された空手道部が平成24年11月10日(土)60周年の記念式典及び祝賀会を盛大に開いた。式典にはOB60名、大学関係者と現役部員20名が出席した。祝賀会には德永光俊学長はじめ大学関係者、大樟体育会、全日本学生空手道連盟、関西学生空手道連盟、関係各派ら来賓150名を加え総数230名の出席者で、同部の半世紀以上に及ぶ歴史と伝統を称賛し、さらなる活躍を期待する声で会場は最後まで盛りあがった。

○…式典は物故者への黙とうのあと佐藤武司OB会長が「空手道部が創部60周年を迎えました。この席に創部されました1期生の諸先輩のご臨席をいただき、大変うれしく思います。今年は母校が創立80周年を迎えましたが、当部も大学の歴史とともに歩んできました。最近の学生は運動部を敬遠しがちですが、4年間スポーツをすれば社会人としての資質が身につきます。部員が増えることを望みますとともに関西さらには全日本での「優勝」を目指して精進して欲しい」と述べた。

○…次いで本学理事の崎田洋一事務局長が「創部当時は道場もなかったが、昭和35年には全日本で準優勝し今日まで本学の名声をあげていただいた。」と感謝された。大樟体育会の下垣恒彦会長が「強い空手道部の復活を願っております」と激励した。

最後に感謝状の贈呈があり特に、現在フランスで空手道の普及に努められ「南武道場」を開所されているOBの南部義尚さん、海外で活躍されている塚田良三・蒲原勉さんらに贈られた。

○…鈴木隆夫前OB会長が閉会のあいさつを述べたあと、61代への幹部交代式が行われ、與世田総監督が「これまで苦難の連続でしたが部の解散もなく60周年を迎えられました。今日を機に一から出直すつもりで頑張ります。」と決意を述べた。坂本勝宣コーチが閉会の辞、最後に逍遥歌を斉唱、60周年の歴史を祝うにふさわしい式典であった。

**【祝賀会】クロアチアから来日、迫真の演武を披露**

○…祝賀会は学生会館に移動して行われ、全日本学生空手道連盟、関西学生空手道連盟をはじめ関係各派のご来賓が多数臨席され、一段と華やかな雰囲気で始まった。記念式典與世田実行委員長が「これまで周年は大阪市内のホテルで開催しましたが、今回は大学のご好意で2年前に新装された学生会館をお借りしました。今日は明るい部屋で思う存分お楽しみください」と開宴のあいさつ。次いで佐藤OB会長が「母校は今年創立80周年を迎え、キャンパス整備計画として学生会館、体育館、図書館、J館と新・増築されました。2年後には新校舎が大学のシンボル的な学舎として竣工します。今日は創部当時の諸先輩にもご臨席いただき、60年の歴史を感じます。「草食系男子」が多いといわれる世の中、武道系を愛する気合いの入った若者をどう育てるかが私たちに問われています。当部も10年、20年と伝統をつないでいく中で、皆さまの温かいご指導を願っております」と歓迎のあいさつ。

○…来賓として大阪経済大学德永光俊学長が「今日は全日本学生空手道連盟、関西学生空手道連盟からも多数お越しいただき感謝申し上げます。当部1期生の新堂友衛さんはじめOBの方々を加え230名がお越しになり、大変ありがたいことです。グローバル化といわれる今日、空手道は本学の中でも大きな位置を占めています。20年後、本学は経済・経営系の私立大で№1を目指します。目標を高く持ち、一歩一歩進みます。空手道部も大学とともに歩んで欲しいと願っております」。さらに全日本学生空手道連盟の古川一彦理事長、岡本敏良関西学生空手道連盟理事長が祝辞を述べた。

○…次いで祝賀会のハイライトともいうべき「演武」が始まった。真武館真勝流刀道の古坂勝也さんら4名による真剣での居合斬り、糸東流空手道でウイーンで指導されている大下正孝さん、現役部員の形披露のあとOBの「南武道」の道主・南部義尚さん(32期)がクロアチアから2人のお弟子さんを連れ来日され、迫力ある数々の演武を披露、会場が静まり返ったあと、割れんばかりの拍手を贈った。

○…鏡開きのあと乾杯は全日本学生空手道連盟副理事長で中・四国空手道連盟理事長の波多洋治さんが音頭をとられた。重厚なテーブルクロスが敷かれた各テーブルは一気に談笑の輪が広がり、本学マンドリン部のさわやかで清涼感あふれる演奏が会場を包み込んだ。

○…空手道を愛する人々の祝宴も、結びはOB会名誉会長の新堂友衛さんが「私たち1期生の蒔いた空手道というタネは小さかったですが60年を経た今日、大きく育ち定着しました。大経大の空手道部のさらなる成長を楽しみにしております」と謝辞を述べた。名残を惜しむかのように、「逍遥歌」が応援団OBの糸数勝彦さんの力感あふれるリードで空手道部OBによって歌われる中、OB会副会長の前田尚二さんが「大経大空手道部の将来は明るい。今日は心からお礼を申しあげます」と笑顔で祝賀会を閉めた。

広報部長　平田　義行

## 新師範に有川勇貴氏を迎える

**柔道部OB会**

平成24年3月25日、本学同窓会ホールにて、平成24年度総会を開催した。当日は吉田、逸見両相談役を始め総名60名の参加を得、石橋事務局長の開会宣言と司会で始まる。はじめに物故者への黙祷の後、議事に入った。

23年度事業報告、会計報告、会計監査報告があり、いずれも異議なく承認された。続いて24年事業計画案、予算案が報告され承認を得た。また、昨年勇退された西岡先生の後任に、有川勇貴氏（30歳、筑波大学・大学院卒、現財団法人講道館職員）を師範として迎える案も全員異議なく承認され、本日付けで師範に就任され、現役学生の指導にあたって頂くことになった。

以上で、24年度総会は終了、続いてOB懇親会及び現役学生の歓送迎会に移る。来賓に柔道部部長の大橋先生、西岡名誉師範、有川新師範、同窓会竹中事務局長らご出席の中始まる。会長挨拶の後、大橋先生、西岡名誉師範、竹中事務局長より挨拶があり、有川師範より就任の挨拶があり、全員拍手で迎える。上地先輩(32回)の乾杯のご発声で和やかな交流が始まる。宴の半ばで安田監督より卒業生、新入生(5名)の紹介があり、全国大会出場に向け努力すると心強い宣言があった。最後に山口先輩(32回)より万才三唱があり、学歌、逍遥歌、柔道部遠征歌を合唱して佐々副会長の挨拶で無事閉会した。

会長　下垣恒彦(36回)

## 健康第一に今年も元気に!! 23期生の集い

**23期生会**

“23期生の集い”を2月19日(日)に開き、今年もおかげ様で皆元気に楽しくする事が出来ました。私達が昭和32年3月に卒業してから今年で55年になり、この集いも毎年続けて28回目を数えます。

来賓としてご出席頂いた家本教授からは、母校の現況と今後の計画等についてのお話があり、新しい取組みをしておられる事が分かりました。同窓会の竹中事務局長からも同窓会の活動等についてお話を聞き、私達は今後共自信をもって頑張っていきたいと思います。また、同窓生の元気な姿と各自の現状報告を全員に話してもらい、皆様が健康に注意して色々と活動をしておられることがまた、健康の源になっていると思いました。今回、23期生の集いとして経大80周年記念事業に30万円を個人とは別に募金することを参加者全員の了解を得ました。

これからも私達にとっては何よりも健康第一です。お互い健康には充分注意しましょう。次回の平成25年2月17日(日)には、経大同窓会ホールでお会いしましょう。　酒井弘光(23回)

## 創部55周年記念式典を開催

**日本拳法部OB会**

平成23年度の日本拳法部OB総会が平成24年2月25日(土)、本学同窓会ホールで開かれました。山田副会長の司会で始まり、山本会長の議事進行にて、23年度会計報告、OB会則の変更、組織変更さらに24年度活動方針が全員一致で承認されました。また、24年度の全ての活動日程が参加者40名のOB諸兄に渡され、あわせて来年のOB総会は平成25年2月9日(土)開催することが決定されました。

引き続き式典会場に移り、司会は酒井副会長の元気な声で進行。ご来賓の徳永学長は、大経大プライドを持ち、日本拳法部プライドを持ってナンバーワンを目指して欲しいと励ましのお言葉を頂戴致しました。宋学生委員長からは、現当部の部長代行として、優勝宣言も飛び出しました。創立80周年記念募金を岡本名誉会長から同窓会竹中事務局長に贈呈され、お礼の挨拶を頂きました。下垣大樟体育会会長のご発声で乾杯、会場には創部された初代浦畑先輩から54代までの世代が一堂に会し、日本拳法を絆に半世紀以上に及ぶ同窓の輪が広がりました。宴半ば、西日本大会ベスト8、全日本大会ベスト16の功労者、個人ベスト8の羽室主将が大学主催の課外活動祝勝会で表彰され、また大樟体育会優秀者表彰にも選ばれ、新OB会員入会式に花を添えました。

現役学生紹介、学歌、逍遥歌を元気よく合唱、またこの式典開催に向け、3代宮崎特別顧問から沼田会長補佐を中心に10数回に及ぶ実行委員会をもち成功裡に導いた実行委員の皆さんに労いの言葉があり無事閉会しました。5年後の60周年記念式典の成功を目指し、団結を深める素晴らしい式典でありました。　会長　山本隆造(37回)

## 新監督のもと、全日本大学選手権大会出場を目指す 平成24年度 硬式球部OB会総会開催

**硬式野球部OB会**

平成24年2月18日、神仙閣で平成24年度OB会を開催。大国幹事長代理の開会宣言と司会で議事に入る。

まず、初代OB会会長　二宮清次氏(3回卒)・平成23年6月ご逝去の報告並び

に、OB会員物故者のご冥福を祈り黙祷の後、内田会長を議長に選出、議事に入る。内田会長挨拶に続き、大国幹事長代理から平成23年度事業報告、内海会計から会計報告、岡崎監査から監査報告、いずれも出席者全員に承認された。引き続き、平成24年度事業計画、会計計画の説明があり、原案通り承認された。大場名誉会長より、赤井貫治(34回卒)新監督就任の紹介と桜井前監督の退任の報告、新旧監督挨拶に続き親睦会に移る。

今年は創部80周年で奇しくも大学の80周年と同じ年。全日本大学選手権大会出場を目指し、OB会会員のご協力のもと、現部に対する支援体制の強化とOB会員間の交流、親睦を深めることを誓い、大阪締めで幕を閉じた。

名誉会長　大場謙二(24回)

## 先輩の墓前で献吟 吟詠部OB山陽会

**樟耀会(吟詠部OB会)**

大阪経済大学吟詠部OB会は、5年ごとに大阪の地で“樟耀会”と銘打って総会を催し、旧交を深めております。この度は、34期(吟詠部7代)から37期(吟詠部10代)のOBが相集い、「大阪経済大学吟詠部OB山陽会」を平成24年4月14日広島県・福山鞆の浦　仙酔島で14人の参加を得て開催致しました。

懇親会では1人残らず壇上に上がり、現況報告を行い、現在の心境と持論を披露し、本音を語りつつ和気あいあいの楽しい美酒を酌み交わし、気心の知れた懐かしい面々と至福のひとときを過ごすことが出来ました。

翌朝には全員で佐々木清人氏(8代OB元府中市役所総務部長)・塩手倍昭氏(10代OB元ヒロショク株式会社社長)両氏の墓参りをさせて頂き、墓前に線香を手向け献吟し、それぞれの寺の境内の桜を鑑賞しつつ、敬愛する吟友を偲ばせて頂きました。そののち、福山(城)、鞆の浦(港)、尾道(寺と町並)、瀬戸田(平山郁夫美術館　耕三寺)等見物し、再会を期し、散会致しました。

幹事　高橋和夫(35回)

## 10学年32名が40年ぶりに 母校に集う

**珠算研究部OB会**

平成24年4月28日(土)午後、第32回～41回卒業生が母校に集合、青春時代にタイムスリップし楽しいひと時を過ごしました。同期会や学年が近い者同士のＯＢ会はありましたが、もう少し範囲を広げようと今回の開催に至りました。

10学年、参加者32名。近畿圏以外の他府県からも多数参加し、懐かしい顔・顔・顔と言いたいのですが何せ40年ぶり、顔を見ても名前が思い出せません。名を言われて思い出すのは昔の姿、残念ながら当時の面影は殆どなく、お互い様と笑いながら当時のエピソードに花咲き、年月の経過の出来事をしみじみと語り合いました。当時は珠算能力の練習、大樟祭での活動、楽しい春・夏合宿、合宿先での僻地教育、近郊の豊里盲学校での指導など、常に心を一つにした活動的な日々を過ごしました。

会は参加者代表挨拶に始まり、最後に全員記念撮影で閉会となりました。楽しい時間は短く、再会を約束し二次会･帰宅組に別れ散会となりました。

坪田敏夫(36回)

## 「ひとみ会」への より多数の参加を!!

**ひとみ会**

十三回生「ひとみ会」は既に報告されたように、卒後60年を期に終焉宣言をしたが、継続を望む声が多く、「二次ひとみ会」の形で年2回春は桜、秋は紅葉に誘われて開催されている。今年の春は京都嵯峨で開催、出席者は13名であった。齢80半ば、夫々何らかの不調を抱えながらも押しての参加は、共に戦火をくぐり苦難の戦後を生き抜いた友の元気な顔を見て語りあいたいためである。つらい老いも病も友の頷きで癒される。

社会への関心にも劣えず政治、経済、憲法問題、大震災や原発問題に至るまで歴史を踏まえた見識をユーモラスな会話で展開、共感し合い勇気づけられる。こうした問題意識はその昔、大隅川辺のあの古びた学舎で培われたものである。今私たちは一層厳しい老いに直面しつつあるが、この「老いを如何によく生きるか」の問題を共に考え学び合うために、「二次ひとみ会」へより多くの参加者を心より願っている。

しぶとくも生き来し我等経専時代
培ひしもの風化しざらめ

山脇(田中)延子氏の歌

(ひとみ会会員･歌人)

藤澤みほ子(13回)

**同窓会ホームページもご覧ください!**

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しています。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。ご活用いただき、ご意見ご感想をお寄せ下さい。

HPアドレス
http://www.osaka-ue-denko.com

## 一人一人の近況を語り合う

**徳永ゼミ野風草会**

今年も同窓会総会と大学のホームカミングデーに合わせて、集まりました。4回目の開催となってみんな慣れてきたのか少々集まりが悪く、30名ほどでした。同窓会の懇親会に参加したあと、教室で屋台「徳ちゃん亭」の仕事を終えた現役の4年生たちも交えて、1人1人近況を語り合いました。懐かしかったです。うれしかったです。

最近は地方へ出張した折、できるだけ野風草会のみんなと会うようにしています。岡山、高松、松山、名古屋、東京、京都などなど。また声をかけるので、よろしくね。2013年度も第5回野風草会を開催します。来てください。連絡はメールで。toku@osaka-ue.ac.jp

## 平成25年は創部55周年

**経翔会**
**（ワンダーフォーゲル部OB会）**

平成24年度経翔会総会は6月17日（日）に昨年と同じ母校の同窓会ホールにて34名が出席し開催しました。会長より開会のあいさつと一年間の活動報告があり、次いで会計係から昨年6月より平成24年5月までの会計報告がなされ全て承認されました。議題の一部である会計年度の変更に関し、現行は1月から12月となっているが、徴収が紛らわしいとの指摘もあり、7月から6月を会計年度に改めるとの事で参加者全員の承認を得ました。

平成25年は我部も創部55周年を迎えるのを機に、記念誌を発行しようという機運があり、平成24年度から準備に取り掛かるべくOB各位に協力してもらう様要請、全員の了承を得た。総会終了後学生会館に移動、14時過ぎから懇親会に入り38年卒の国西先輩の音頭で乾杯、約2時間歓談、最後は会長の一本締めで終了。来年の再会を誓い、無事散会致しました。　牧田征雄（31回）

## 1年半振りの開催に約30名が出席 邦楽部第3回OB会

**邦楽部OB会**

平成24年6月23日（土）午後5時より邦楽部第3回OB会総会・懇親会をE館（50周年記念館）7F会議室及び同窓会ホールで開催しました。今回のOB会は秋を春に延期しての1年半振りの開催ではありましたが、現役部員含め総勢30名弱の出席、特に今回は5名の方が初参加で、OB会役員一同、OB·OGのみなさんに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

OB会総会では(1)規約の一部改正(2)役員の改選(3)平成22年度事業・決算報告さらに平成24年度事業計画案と予算案がOB会長より報告があり満場一致で採決されました。懇親会では恒例により住田OB会名誉会長と尾上OB会会長による尺八演奏があり、乾杯のあと出席者全員による部活の思い出や近況報告等がなごやかにありました。現役邦楽部第47代幹部及び部員からは平成24年7月8日（日）第18回春季演奏会「和」及び平成24年11月26日（月）第46回定期演奏会「響」の来場依頼の案内がありました。最後は恒例により学歌・逍遥歌を大合唱し来年の再会を約束し閉会しました。二次会は上新庄駅前の居酒屋にて時間を忘れて深夜まで酒を酌み交しました。会長　尾上眞己（36回）

## 大樟会に大学院同窓会が統合を決定

**大学院同窓会**

平成24年9月1日、ホテル・モントレ大阪で大学院同窓会総会を開きました。当日は、草薙大阪経済大学副学長、田村同窓会副会長、平田広報部長に来賓としてご出席いただき、ご挨拶をいただきました。

議事に入り、平成22年度と23年度の決算報告を了承しました。続いて、大阪経済大学80周年記念募金に大学院同窓会から50万円寄付することを決定しました。役員改選の件では、現在の役員は全員留任とし、片上洋、森義晴、中井大介の三氏を新たに理事に加えることを決定しました。任期は、いずれも2年とします。

最後に、大学院同窓会と学部同窓会の統合を総会で承認しました。目的は会員相互の研鑽と親睦、大学の教育研究に対する支援、留学生をふくむ在学生の支援などをなお一層、進めるための統合です。活発な議論が交わされ、将来のあり方に対する提案などがなされました。有意義な時間を過ごし、和やかに終了しました。会長　川口正義

## 卒業して52年、今も脈々と親交が続く

**澱江27期会**

卒業後52年となり、今も一人でもたくさんの旧友と会い、大いに談笑したい。そんな思いを持つお仲間が今年も

集まりました。平成24年4月20日、ホテル・モントレ(大阪市北区)で「27期会」が開かれました。参加者は10名、時間の経つのを忘れひと時を過ごしました。以下、皆さんの近況報告です。

(順不同)

太田時二さん … 和歌山で悠々自適の生活です

角田喬計さん … お酒がすきで飲むために毎日歩いています

角本喜八郎さん … 大阪で73年間育ってきました。ゴルフを続けるため酒も最近は少量となりました

土屋徳治さん … 阪南市におり毎日元気な日々です

夏原拓治さん … 参加は久しぶり。応援団で一緒だった角本、岸野君に会えて嬉しい

水元重雄さん … 初参加です。今も仕事は現役でゴルフ、テニスに汗を流しています

岸野光雄さん … 大病を2度患いこの会も最後かと思いますが、簡単にはくたばらない気で命ある限り出てきます

車野修三さん … 関西空港が目の前に見える泉南市に住んでいます。足が少し不自由ですが歩ける限りこの会は出ます

鍋島増弥さん … 和歌山の海南市におります。元気にボチボチやっています

神代憲治さん … 18歳で大阪にきてすでに53年住みました。1年ぶりに皆さんとお会いでき、お酒を飲みながらワイワイやりたいです

## 「氣流会」総会

### 氣流会(合氣道部OB・OG会)

平成24年11月3日(土)本学70周年記念館において平成24年度「氣流会総会」を現役23名、OB・OG15名の参加を得、開催しました。

当日は第4代の市原、山口両先輩が今年逝去されたので、そのご冥福を祈り黙祷。古谷創始者挨拶の後、議事に入る。51期事業報告、会計報告、新会則承認、役員改選及び監査役承認、大学創立80周年記念事業寄付金の件がいずれも参加者全員異議なく承認された。総会終了後、恒例の「現役、氣流会会員合同稽古」が古谷師範の指導のもと今年も和気藹々と行われました。夜には勿論現役OB・OGの参加のもと懇親会を開催し、和やかに楽しい一時を過ごしました。

最後に、中国から一時帰国の梅田先輩の音頭で、「フレー、フレー、経大フレー、フレー、合氣道」で会をお開きとしました。(大きな声で学歌等を歌うことを禁止された会場の為です)

会長　浜田修造(34回)

## 2013年は「古希」を祝う会

### 32期生会のつどい

大樟会の総会と懇親会、その後　同窓会ホールで「32期生会のつどい」が開かれた。4回目である。順風満帆で第二の人生を謳歌している君、まだ、現役で頑張っている君、波乱万丈、数十億の倒産から立ち上がり、リベンジを遂げ、全国展開している猛者の君、同窓企業のコンサル業務まで手掛ける税理士の先生、十人十色の人生。47年前には想像できない世界ですね、でも　みんな昭和と平成を駆け抜け、子育てを終え、後輩にバトンを託せる世代になったことが、印象深く、あったかい気持ちになりました。

鬼も笑う来年のお話です。2013年は概ね70歳を迎える当たり年。まだまだ、元気に生きようと全員で古希の会を開こうと意見がまとまる。多数の参加を願い、開催は、大樟会の時期に併せ、変貌した大経大の学舎の見学もできる11月3日に併せた時期がとの意見が大勢であり、場所等の企画は、竹中事務局長と有志に一任された。来年の再会を誓い散会する。　笠井興二(32回)

## 卒業して49年、つながりは永遠に

### 29回同期生会

平成24年11月3日、大阪経済大学同窓会「大樟会」総会終了後、29期生卒会を今年も大隅1丁目の「民芸居酒屋ひでよし」で開きました。大経大卒業から49年、そして、29期生卒会はすでに11回目となりました。

今回の参加者は15名でしたが、不参加の内78名の方からの近況報告が届いており、中には所用や体調不良で断念された方、3名の同朋の悲報もありました。参加者の近況報告、水本喜久雄さんの素晴らしい詩吟、そして、途中から別席での30期卒会のみなさんも合流され、杯を交わしながら学生時代を思い浮かべ楽しい一時を過ごしました。応援団に所属されていた大西昌年さんのエールで学歌、吹奏部に所属されていた三原健太郎さんの指揮で逍遥歌を斉唱して締めとなりました。

大学のキャンパスは私達が在学していた当時とは様変わりしていますが、大経大での4年間に培われた友と友とのつながりは懐かしい青春時代の思い出と共に、久遠に変わらず断つことは出来ません。いつまでも大切にしてまいります。平成25年は卒業後50年の記念すべき年、多くの友が集うことを楽しみにしています。米村紀代孝(29回)

## 今年も春・秋集まりましょう
### 14期生同期会

平成24年14回生クラス会は、錦秋の11月14日、日本料理「有馬」で18名の皆さんが参加され、にぎやかに行うことができました。

母校80周年記念式典に出席された方からその模様を聞き、改めて私たちが学んだ頃のボロボロの校舎を思い出しました。この会も何時まで続くかわからないけど、平成25年も集まろうと、春の1泊旅行と秋のクラス会の計画を立て、楽しいオシャベリの半日を過ごしました。

世話人
鷹野静子
山本光子
山崎喜美子（14回）

## 定年後の人生を力強く生きていこう
### とりあえず34期会

昨年に続いて「とりあえず34期会」を平成24年11月3日、大樟会総会後開催しました。26名の参加者があり、遠く鹿児島や高知から来られた方もおられました。50周年記念館に集まった皆さん、司会者が初めに「本会」のユーモラスなネーミングの由来（なんでも、まず「とりあえず」やってみよう、挑戦しょうや！）について説明があり、皆さんすでにお酒も入っているためすぐに打ち解けた様子。定年後の第二の人生の「自己紹介と近況」報告では、商売で大手スーパーに押され苦労している友、癌と壮絶な闘いをしながら、入院中病院に許可をもらい参加された方、最愛の女房をなくし、しかし、元気に立ち直り再婚し頑張っている友、新たに園芸の技術を学び造園業を営んでいる友、まだまだ現役で大きな事業を営んでいる友、武道術面での指導者でバリバリやっている友、まさに今も「とりあえずなんでもやってみよう、挑戦してみよう」と、「繋がる力」の精神を忘れない前向きの元気な報告がありました。途中からは話も打ち解けて「おい」「こら」の声も上がり下ネタも飛び出す等々、一挙に若い学生時代に戻った皆さん、新たにこれからの人生を力強く生きて行こうとの思いで、「また来年の会える日を楽しみにしています」。

また80周年記念事業に対し本会から昨年の5万円に引き続き今年も5万円、計10万円の寄付をしましたことを報告します。次の再会を約し、高らかに学歌と逍遥歌を歌い閉会を惜しみながらの散会をしました。

世話人　廣野義直（34回）

## 本会の現況ーアンケートの集約ー
### 16・18回同期会

近年参加者が固定傾向にあり、かつ恒常的な不参加（主として体調不良）、無返信のウエイトが高く、通知の費用・事務処理の効率化を図るため、23年4月アンケートを実施した。その結果は次表のとおり。

| 発信総数 | | 116（H23. 3 現在）（宛先不明・死亡は除く） | | |
|---|---|---|---|---|
| （1） | 通知要 | 26 | 22.4% | 平成24年度以降も通知を希望 |
| （2） | 通知不要 | 51 | 44.0% | 平成24年度以降　通知不要 |
| （3） | 無返信 | 39 | 33.6% | 無　返　信 |

加齢にともない体調不良はやむを得ないが、無返信の多いのは残念。本会は今後、毎年5月・11月の年2回定例会の開催を予定しているが、上表の（2）（3）の中でも参加を希望される方は、1カ月前（4・10月）に連絡いただければ、実施要領をお知らせいたします。ふるって参加してください。

【連絡先】
〒538-0054　大阪市鶴見区緑1-6-26
陰下 嘉典　電話 06-6931-7300
〒659-0042　芦屋市緑町4-8-2
酒井 克己　電話＆FAX 0797-31-0301
酒井克己（16回）

## 現役諸君、ＯＢ会に結集しよう
### Ⅱ部軽音楽部ＯＢ会

現役の皆さん、こんにちは。私たちはⅡ部軽音楽部ＯＢ会です。昨年の12月2日、7名の仲間が集まり、新大阪で忘年会を開きました。私たちの現役時代の仲間も音信不通の方が多数おられ、なんとか連絡を取りたいと思いますが、離れてしまうと難しいものです。そんな話から忘年会では、現役諸君の卒業後はぜひＯＢ会に入って欲しいと語りあいました。今の状況がいつまでも続く保証はなくむしろ就職難の今日、生活に追われ、せっかくの楽器も5年後、10年後は埃にまみれ、気がつけば定年退職がまじかに迫っているかもしれません。学生時代、苦楽を共にしたクラブ仲間も卒業後は連絡が途絶え、懐かしい部室にいっても知らない顔ばかりではとてもツライですね。この時の非情さを跳ね返してくれるのが「過去と未来」を結ぶⅡ部軽音楽部ＯＢ会への入会です。当会はＯＢ会員の親睦、現役生の受け皿、同窓会との交流、消息不明の方や物故者家族への受け皿、Ⅱ部軽音楽部の資料の保管や配布などを目的としています。だれでも卒業後は1人ぼっちになりがちです。軽音楽を奏で、愛する人ならだれでもＯＫです。ぜひＯＢ会に入り、これからの人生を楽しみましょう。連絡はお電話で。
☎０６-６４６８-５７３８　生島 糺
幹事　生島 糺（41回）

## バスケットボール部創部60周年記念祝賀会

**バスケットボール部ＯＢ会**

平成24年11月11日(日)大学学生会館において徳永学長、佐藤大樟会会長、下垣大樟体育会会長のご臨席を賜り、緑淀会ＯＢ、父母会、現役選手総勢70余名が相集い、盛大且つ厳粛に催しました。御来賓の方々の力強い激励に参加者全員が心を新たにし、来季の1部昇格を目指して頑張る事を誓いました。

祝賀会では特にＯＢと現役選手が和気あいあいと交流し、歓声が沸き上がる中、絶妙の雰囲気で終始しました。

大阪経済大学バスケットボール部の益々の発展を祈念し、北村實バスケットボール部長の〆挨拶で60周年記念祝賀会が無事お開きとなりました。

この“澱江”を読まれたＯＢの皆様、後輩の更なる頑張りに力をお貸し下さる様お願い致します。

“大阪経済大学バスケットボール部に栄光あれ”

ＯＢ会代表幹事代行　井上 寛(21回)

## 今年創部50周年 9月に記念パーティを開催

**マンドリンクラブOB･OG会**

マンドリンクラブは平成24年10月12日に第47回定期演奏会を開催致しました。現在、部員は女子10名余を含め47名で日々活動に励んでくれております。

さて、当クラブは今年で創部50周年を迎える事となりました。これもひとえに、これまでのＯＢ・ＯＧの方々のご苦労と当クラブへの熱意と愛情の賜と感謝しております。

つきましては、詳細は後日連絡させて頂きますが、平成25年9月21日(土)大阪リーガロイヤルホテルにて「記念パーティ」、また10月19日(土)に「記念定期演奏会」を開催する予定です。

これを機にＯＢ・ＯＧの方々との絆を深めたいと思っておりますので、何卒ご協力を宜しくお願い致します。「記念パーティ」での再会を楽しみにしております。　　会長　藤林靖浩(50回)

## 証券研究部は、平成24年で第52代を迎えました

**証券研究部**

証券研究部は、証券・金融・投資を学術的に研究･議論することで、学生の投資知識や金融リテラシーの向上を図っています。平成24年は関西の6大学が出場するディベート大会で、3ブロックのうち2ブロックで優秀賞をいただくなどしております。

平成24年のＯＢ・ＯＧ会は、活動報告と12月の全日本証券ゼミナール大会に向けた抱負、ＯＢ・ＯＧの方の近況、次年度幹部の発表と抱負などを報告し、また立食形式での歓談を行い、現役生とＯＢ･ＯＧの交流を深めました。

平成24年は、例年に比べて少ない人数となってしまいましたが、より多くのＯＢ･ＯＧの方に参加していただきたいと考えております。

経営学部3回生　副部長　中野一正

## 元気､元気､みんな元気な35回生

**35回同期会**

3回目となる35回卒業生の同期会を11月3日の大樟会総会後、大阪新阪急ホテルで行いました。初参加の方も入れ出席者は18名、終始和気あいあいと楽しい会合になりました。自己紹介を終え懇親会へと進み、クラブ、ゼミが別々でも4年間同じ学び舎で過ごした思い出は、40数年の時を埋める懐かしい時空でした。大半の皆さんが現役で今も頑張っておられ、意気軒昂なお話の連続で大いに盛り上がりました。

開催日について11月3日は地域行事と重なることが多く、出席も難しくなるので変更の提案も出されました。幹事で一度真摯に検討させていただきます。次回は卒業後45年目となります。同期生の皆さん、同期の友人に声をかけて頂き集まろうではありませんか。温かい同期会をさらに発展させましょう。　　幹事　濵 忍(35回)

NC LEASE CORPOLATION
資源の有効利用と環境に配慮した事業に取り組みます

防音パネル・採光パネル

クサビ足場

橋梁足場

仮設機材レンタル　AF事業
エヌシーリース株式会社
〒550-0011
大阪府大阪市西区阿波座1丁目6番13号
カーニープレイス本町 8階
tel : 06-6578-1081　web : http://www.nclease.jp

# お世話になった先生からのお元気なお便り

（敬称略・順不同）

## 朝鮮学校のこと

**永野　仁**

経大の近くに朝鮮学校があることをご存じですか。昨年創立五十五周年を迎えました。三十数年前「岸和田市史」に南大阪における学校の沿革を書いたことが機縁でこの学校を支える会の代表になりました。

ところで一昨年、昨年と青天の霹靂が起こりました。一つは高校の無償化（これは画期的な施策ですが）から朝鮮学校を除きました。これは法律違反です。もう一つは大阪府と大阪市の補助金の不支給です。この方は二十年間つづいている信頼関係への裏切りです。十校合わせて年に一億五千万円。小さな額ではありません。私たちは毎週火曜日府庁横で抗議するとともに朝鮮学校の経営に資する寄金を集めています。

## $CO_2$ 地球温暖化説をめぐって

**松原　和男**

さいきん、$CO_2$地球温暖化説に興味をもち、同窓の友人と勉強しています。大学では経済変動論を教えていましたが、もとは理学部物理学科の出身です。

私もはじめは$CO_2$温暖化説が正しいと考えていましたが、学べば学ぶほど、温暖化説にたいする疑問が深まってきました。$CO_2$温暖化を否定する実証的研究がたくさんあり、その方が正しいと考えます。

しかし、世間、とくに日本の政・官・財界では温暖化一色といった状態です。そこには、「原発の原子力ムラ」のように、ＩＰＣＣを中心とする「$CO_2$温暖化ムラ」といってよいような研究者集団があり、それを利用して利益を得ようとする国や企業が経済を歪めているように思います。

## 日常雑感

**大槻　裕子**

一昨年11月にあるところから講演の依頼があり、今回はシラーあたりについて話してくれませんかということで私には全くの素人のシラーの美学論を手掛けることになった。それで一昨年の夏はカントの『判断力批判』とシラーの美学理論との文字どおりの取っ組み合いがはじまることになった。ギリシャ熱に浮かされた18世紀ドイツの状況のなかで、ゲーテは全人的人間形成を、シラーは人間性における美的形成を目指した。ところで現今、日本の周囲を見渡すと尖閣諸島、竹島、国後・択捉等の問題について日本政府は日本固有の領土と宣言しながらなんら積極的な策を打ち出し得ず、おとなしく手をこまねいているのみの体たらくである。彼ら与太者たちは経済優先の風潮のなかで無茶苦茶な論理を振りかざし勝手な行動を取り続けている。もとより彼らにまさかゲーテ・シラーのような人間性の高貴を追求せよとは言わないまでも、おとなしい日本人あるいは日本政府はそれをただおとなしく見過ごしているばかりの状況は何をかいわんやである。この地球上ではもはや正しいことが本当に正しいとして互いに認め合うわけにはいかなくなってしまったのであろうか。無茶苦茶で強いだけの者たちの専横のみゆるされている現況にたいし憂鬱な思いで日を過ごしている昨今である。

## 太い絆で

**稲場　紀久雄**

名誉教授の称号を四月一日付けでいただいた。光栄である。専任教授十六年、特任教授三年、合計十九年は一瞬の間に過ぎた気がする。楽しく充実した教員生活だった。昨年秋の叙勲で瑞宝小綬章を賜ったが、名誉教授の称号は、私と大阪経大とを結ぶ太い絆である。これ以上の喜びはない。大学教員には、教育と研究と社会活動という三つの課題がある。研究と社会活動の成果が全て講義に注入されて初めて、講義は魅力的になる。私は、そうした講義をしたいと常に心がけていた。今や対象は社会人である。尊敬する久野収先生のようになりたい。そして大学の外から、大阪経大の発展に尽くしたいと思う。これから、さらに努力する決意でいる。


ガンバレ　経大ラグビー部！

あらゆる生活シーンで安心と安全を提供したい
それが私たちエース警備のテーマです。

ACE GUARD　株式会社　エース警備保障

本社　〒660-0815　尼崎市杭瀬北新町4丁目9-7　TEL 06-6481-0055　FAX 06-6481-0011
支店　大阪・神戸　URL：www.ace-guard.com　ISO 9001 認証　S55卒 ラグビー部　河内　龍澈

## 畏友ラルフ・ベーベンロート

**田渕　進**

ラルフ・ベーベンロート氏は2003年10月から1年7カ月経営情報学部の海外研究者であったドイツ人の先生である。私の講義やゼミの時間に話をしてもらったこともある。彼が経大に来る1年前にはじめて学会で知り合い、日本の大学に勤めて学術交流に貢献したい希望を聞いた。外国人の日本の大学への就職は極めて厳しい。しかし彼は独力で神戸大学に就職し現在正規の准教授として活躍している。毎朝8時に研究室に来て夜まで研究する彼の生活パターンは変わらず多くの業績を積んでいる。今年の経営学会では「外資系企業への震災影響」について報告し活発に意見が交わされた。時たま彼とワインを飲んでダベるのを楽しみにしている。

## ゼミ生の皆さんへ

**泉谷　勝美**

お元気ですか。私すっかり老人化して、押し車なしでは歩けません。おまけに、全身病気だらけです。一昨年はバイパス手術後二度の心不全それに昨年２月には風呂場で転倒、幸い露命は繋いでいます。一昨年仲人したカップル男子出産予定です。こんなスピード時代初めてよ。最近、アレルギー性鼻炎で困っています。食事中鼻水の不愉快なこと。でも薬はないそうです。年と心臓のせいだそうです。これからまたマイライフの後編を足して完結したいです。マイライフの予備若干あります。

## 七十七年！

**上島　武**

還暦を過ぎ、古希も過ぎて今や世に喜寿と称する年齢に達しました。考えていた退職後の計画もなんとか達成して、やりたい事はやって来たとの感もないではありません。しかし最近、ちょっと必要があって「金融資本論」をひもときましたら、昔読んだところをほとんど忘れてしまい、今も分かりにくい個所がたくさんあることに、われながら情けなくなりました。そう言えば「資本論」でも、利子論などはさっぱり分からないままに過ごしてきたものです。これではとうてい壇ノ浦の知盛よろしく、「見るべき程の事は見つ」と言って死んでゆくことはできないでしょう。「ああ、おまえは何をして来たのだ」、そんな声が秋の風に乗って聞こえてくるようでした。

## 書を楽しむ

**内海　健一**

小生から近況として報告できることは、82才の割には元気であることと、最近、書の道にのめり込んでいることです。「かな」をやっていた亡き母への追想の糸をたぐっているのかもわかりませんが、初心者ながら中国古典の鑑賞や臨書を基軸にしつつ、「多書多捨」をモットーに熱く、楽しく学書しています。

最近、感ずることは、お互いに、もう「年令（とし）」なんだから肩を張らずに、萬事安全運転で行きましょうということです。小生が実行している「安全的スポーツ」は、週５くらいの早朝ウォーキングとラジオ体操です。もう十数年続けています。「継続は力なり」です。諸君もお試しあれ。

## 平衡老化の日々

**成瀬　洋**

去年に続き今年も「想定外」の連続です。一月以来耳にカビが入って頑固な中耳炎をおこし、二月は出血の繰り返しから大腸に腫瘍が見つかって手術。五月末から咳がひどくなり検査の結果気管支肺炎、さらにその翌日喀痰の DNA 検査で肺結核と判明、直ちに救急車で隔離病院へ。そこで 40 日程閉じこめられた末七月中旬やっと解放され､目下自宅療養中です。むかし中学時代に患った肋膜炎の病巣が老化による免疫力の低下で再活動したのだそうで、まさか 70 年後再発しようとは全く想定外でした。「忘れた頃に来る」のは天災だけではありません。知人によると、一ヶ所を癒すとすぐ他の所が悪くなるのを「平衡老化がすすむ」というらしいですが、長生きするのもよし悪しです。（24・8・10）

## 病から学んだ、人間科学の原点

**滝内　大三**

思いがけなく癌の宣告を受け、前立腺と精嚢の全摘手術をしました。主治医はもう必要のないものだからと慰めてくれましたが、職場復帰した今、人間の臓器に不要なものなど存在しないということを痛感しています。と同時に、なぜ癌ができるのかというメカニズムを調べてみると、生命の不思議ということにも気づきました。癌細胞も、生命活動を活発にさせるために増殖しているわけで、生命に敵対するものではないのですね。また、生命を私有することの問題にも気づきました。生命を分かち合うことが人間共生であり、人間科学の原点でもあると知ったことは、大きな収穫でした。人間科学部のますますのご発展を祈っています。


●不動産登記（相続・贈与・売買・抹消）　●商業登記（設立･役員変更・増資･減資）
●債務整理（任意整理･自己破産）　●遺言書作成手続・成年後見申立手続

**岸本司法書士事務所　TEL 06-6621-2522**

司法書士　岸本啓二（46回卒）　アイススケート部監督

〒545-0004　大阪市阿倍野区文の里1丁目8番30号1F　阿倍野区役所　南隣　あびこ筋沿い
●地下鉄谷町線・文の里駅（3番出口・徒歩3分）
●地下鉄御堂筋線・昭和町駅（1番出口・徒歩6分）　※事前にご予約いただければ、土・日・夜間の相談も承ります。

# ゼミ短信 先生方からのメッセージ

（敬称略・順不同）

## 「徳ちゃん亭」６年連続で学園祭に

**徳永　光俊**

皆さん、お元気ですか。ゼミでは昨年も学園祭に、屋台「徳ちゃん亭」を出しました。4年生たちがわらび餅を3日間売って、しっかり儲けました。屋台を出して6年目です。今ではすっかりゼミの恒例行事となり、昨年のそろいのＴシャツは紫色でした。今年も出しますので、ぜひ食べにきてください。

ゼミのテキストは、本川達雄『生物学的文明論』（新潮新書）と広井良典『創造的福祉社会』（ちくま新書）です。一度読んでみてね。

（学長）

## 記憶と忘却

**六浦　英文**

老化現象のせいか、最近、タレントの名前を思い出すことができなくなることが多くなってきた。

この世に記憶力の良くなる薬があれば、もっと研究もはかどるのではないか、と想像してみる。

一方で、辛い思い出は一刻も早く忘れたい、と切に願う。こんな時は、忘れることのできる薬があればどんなに良いだろう、とも思う。

そこで、記憶力の良くなる薬と忘れることのできる薬が発明されたらよく売れるのではないか、と想像してみる。だが、この二つの薬を同時に飲むと、どういう結果になるのだろうか？

最近は、こういう想像ゲームをして「脳トレ」をしています。

（経営学部教授）

## 最新の時事問題を、体育会系のノリで

**吉田　弘子**

ゼミテーマは、「メディアからみた社会と経済」です。本ゼミでは学生が『社会人基礎力（経済産業省）/「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」』を習得することを目標にしています。授業は「バリバリの体育会系のノリ」で最新の時事問題に関するリサーチを行い、それを個人またはグループで発表します。構成が甘ければ先生の辛口コメントが飛び出し、「聴衆を意識した完成度の高いプレゼン」が求められます。また、レポート等も多く、学生は最初、レポートが真っ赤になるほど添削され四苦八苦しますが、確実に成長していきます。卒業式で「先生のゼミが厳しくて良かった」と言った学生の言葉が私の宝物です。

（経済学部准教授）

## 学生と「むらの教科書」づくり

**藤本　高志**

都市と農村の格差が一層拡大し、限界集落と言われるような過疎集落が増えるなかで、ここ数年は、農村問題に関心を持っています。経済的条件不利地域の典型である離島、具体的には隠岐諸島、五島列島、沖縄の離島を調査しています。公共事業の削減により建設業の雇用機会が失われるなかで、地域資源を生かした農水産業の振興とそれをベースとするツーリズム開発による地域経済の維持が課題になっています。学生さんとは、限界集落を対象とし、むらの教科書づくりをしています。むらの消滅はしょうがないことかもしれませんが、農山村がはぐくんだ大切なものを書きとめ、それを後世に残すことなら大学生でもできそうだと思いました。

（経済学部教授）

## ネットワークでの交流をしましょう！

**城　達也**

人間科学部は2002年の創設以来、昨年度で11年目を迎えました。この期間にすでに7期生までが巣立っていきました。これを記念して、11月３日のホームカミングデーに、学部全体でゼミ同窓会をJ館にて開催致しました。

じつはこの文章は開催の１ヶ月前に書いており、残念ながら当日の様子をご報告できません。しかし、すでに100名を超える卒業生の方から参加のお返事をいただいており、当日はきっと盛況であっただろうと申し上げておきます。

最近はフェイスブックなどソーシャル・ネットワークが発達し、卒業生の皆さんとも、離れていても交流を続けやすくなりました。私も登録していますので、ぜひネット上で見つけてください。

（人間科学部長）

## 困難は、あなたを成長させる

**古宮　昇**

仕事でしんどい思いをしている人も多いと思います。不満なことも多いでしょう。職場にすごくイヤな人がいるのかもしれないし、仕事の時間があまりに長いのかもしれないし、仕事がうまくできなくて辛いのかもしれませんし、その他にもさまざまな悩みがあるかもしれません。

困難はあなたを成長させます。困難のなかにプラスの面を探してほしいです。そして、あなたが直接的に又は間接的にかかわるすべての人たちのためになろう、という思いで、誠意をもって、謙虚な気持ちで仕事に取り組んでくださいね。それがあなたの道を開くことにつながります。

（人間科学部教授）

## 祝☆大経大 80 周年、草薙ゼミ 15 周年！

**草薙　信照**

1997年度に私が本学に着任してから、15年が経過しました。この間に担当したゼミは12学年、総勢270名に上ります。そして2012年度は大学創立80周年、私は副学長として、様々な形で関連するイベントに関わっているところです。昨年11月に開催されたホームカミングデーでは、草薙ゼミの1期生から12期生まで、37名もの卒業生が集まってくれました。

毎年の卒業論文集に書いているように、「大人になった諸君」と再会するのは私にとって大きな喜びです。たまには仲間と誘い合わせて、大きく変わった大学の校舎を見に来て、ついでにあんまり変わらない私にも会いに来てください。大学も私も、いつでも諸君を歓迎します。

（副学長・情報社会学部教授）

## 経大生活は、人生そのもの

**渡邉　泉**

渡邉泉ゼミの卒業生の皆さん元気ですか。税理研究会の皆さん変わりありませんか。私は、この3月でいよいよ定年退職になります。大阪経済大学に奉職したのは、1974年4月ですから、この3月で丸39年になります。あっという間のことでした。いろんなことがありましたが、大阪経済大学での生活は、私の人生そのものでした。卒業生諸君とゼミや旅行で楽しく一緒になって騒いだこと、論文が思うように進まずに夜遅くまで呻吟したこと、新学部の設置や70周年の記念講演会で心労したこと等が走馬灯のように懐かしく思い起こされます。近況をwatanabe@osaka-ue.ac.jpに知らせて下さい。楽しみにしています。同窓生の皆さんの活躍を心からお祈りしています。　（情報社会学部教授）

## 再びロンドンへ

**鵜飼　奈津子**

卒業生の皆さん、お元気ですか？　既にご存知の通り大学は80周年記念でホームカミングデーの開催を始めたくさんの行事が行われた1年間でした。また、早いもので私たちの鵜飼ゼミからはこの春に3期生が卒業をむかえます。またゼミの1期生で本学大学院に進学した2人もこの春には修了。彼らにとっては本学で2回目の「卒業」ということになります。

さて、私が本学に赴任した2008年4月からちょうど丸5年が過ぎましたが、この2013年4月より再びロンドンで1年間、研究をさせていただける機会をいただきました。実に5年ぶりのロンドンになるわけです。もし機会があれば、この1年の間に皆さんもぜひ一度ロンドンを訪れて下さい。楽しみに待っています!!

（人間科学部准教授）

## 伊藤ゼミ卒業生の皆様へ

**伊藤　大一**

皆様のおかげで、伊藤ゼミも現在5期生まで迎えております。卒業された皆様も、社会の各所でご活躍のことと思います。簡単な近況をお知らせいたします。

ゼミは相変わらず女子学生比率が多く、非常に華やかなゼミです。しかし、皆様がゼミ生だったころとまったくかわらず、だれもゼミ教員の言うことを聞いてくれません。私は現在、本を執筆しております。2013年2月頃に、法律文化社から出版されると思いますので、皆様どうか自腹を切って買ってください。よろしくお願いします。タイトルは『非正規雇用と労働運動－若年労働者の主体と抵抗』になる予定です。それではお元気で。

（経済学部・地域政策学科准教授）

## ゼミ仲間の一体感から、学ぶ意欲へ

**小松　亜紀子**

2010 年に本学に参りました、人間科学部の小松亜紀子と申します。今年度、初めての４回生を担当しております。「消費者行動の研究」をテーマとし、理論的考察、データ分析、仮説構築などの力を身につけることを狙いとして、ゼミ活動を実施しています。ゼミ活動では、まずはグループディスカッションから始めてゼミ仲間が一緒に考えることで知的活動を通じた一体感や楽しさを少しずつ味わってもらい、それを発展的な内容についての学究への関心・意欲に結びつけていこうと模索しております。消費者行動に関する課題・ご関心をお持ちの OB・OG の方々がおられましたら、是非学生とともに議論や調査などをさせて頂きたく、ご連絡をお待ちしております。

（人間科学部准教授）

## 三島ゼミの活動内容

**三島　重顕**

2年の三島ゼミでは、正規雇用者と非正規雇用者の生活水準の差や能力開発の差などを詳細に学んでいます。学生はフリーター等への抵抗感があまりないため、ゼミの最初の段階で現実を学ぶようにプログラムを組んでいます。

3年時には、数字データや文字データを使って企業分析を行うとともに、種々の経営学理論からの分析も行います。就職活動を始める前にある程度企業の目利きが出来るレベルを目指しています。

４年時は、内定をもらった学生から卒業研究を開始していきます。７月現在で約 80％の学生が内定をいただき、自分の就職する企業や産業、あるいは女性が社会で活躍するための研究を行っています。

（経営学部・経営学科准教授）

# 休眠支部の再活動を進める

## 2012年理事会

熱心な討議が続く理事会

平成24年度同窓会理事会が5月26日午後からE館で、理事総数160名中、出席98名、委任状提出45名の計143名で開かれた。

はじめに昨年の物故者へ全員で黙祷を行った。ついで田村正晴副会長が各回卒の新理事の出席に感謝し、開会を宣言。また事務局から健康上などの理由で辞任された総務、組織、財務部長の後任に総務・進木伸次郎(33回)、組織・廣野義直(34回)、財務・中坪健治(41回)各氏を選出、紹介があった。

### 同窓会名「大樟会」と改称

佐藤武司同窓会長は「80周年記念事業のキャンパス整備計画も着々と進み、最終段階のシンボルタワー棟の建設が始まりました。80周年記念事業募金の締め切りは来年の3月末までです。今一度、周囲でまだの方がおられたら声をかけてください。同窓会からは募金以外に「陶板」のボードの寄贈を考えています。10万円以上の募金者のお名前を入れ、ボードは建物に埋め込む形となり永遠に顕彰されます。恒例の同窓会総会は11月3日、本学で開きます。

さて同窓会名を今秋から「大阪経済大学大樟会」と改称します。これに伴い同窓会旗を新調します。

学生さんの就職状況は今年も悪いという一言ですが、こういう時こそ皆さんの企業で経大生の採用をお願いしたいと思います。同窓会と大学は決して対峙することなく言うべき主張は言い、今後ともより生産的な関係を創っていきたいと考えます」と述べた。

### ◇事業報告など

次に議事に入り、議長に進木伸次郎氏、副議長に廣野義直氏を選び、議案審議に入った。第1号議案の23年度事業報告、収支計算書、監査報告が行われた。同窓会員数と澱江の発行部数の差や会員名簿の管理及び名簿調査費の内容、基金運用の取り崩しなどについての質問があり、中村前財務部長が補足説明をし、全員一致で承認された。

第2号議案では24年度事業報告、収支報告が提案された。事業報告では広報部の次号「澱江」が創立80周年記念号としてオールフルカラー、80ページを予定していることが承認された。

一方、組織部では休眠支部として大阪市支部の細分化をはじめ滋賀、鳥取、島根支部の再建を進める提案に対し、平尾哲男理事(28回)から大阪市支部の細分化案が出ており、事前連絡もないが、と反論があり、組織部長が陳謝した。今後は十分相談をして進めていく。支部再建は同窓会の活性化に必要という見解も示した。

収支予算では会費収入が安定化に戻った経緯が説明された。80周年募金は計上されていない点につき、佐藤会長はまず陶板のボードを約1千万円かけ作成し寄贈する。また25年度への次期繰越がマイナスでは不自然との指摘に、特別基金2千万円を1千万円に減額訂正しあとは調整する案で承認を得た。

### 同窓会の校友会化を進めるべきではないか

中村敏啓理事(31回)から「大学運営が厳しくなる今日、同窓会と大学が将来的にも手を携えるには同窓会の組織と体制をどうするかを真剣に考える時期にきている。例えば大阪市支部の会員4000人の掘り起こしなど同窓会だけではできない。大学と手を結ばないと同窓会は伸びない。その意味で同窓会は『校友会』化を進めるべきだ」。これに対し佐藤会長は「同窓会が独立しており、今以上に力をつけることで存在意義がある。本学は中堅大学であるからこそ同窓会活動が成り立つ。少なくとも私の在任中は校友会化への考えはありえません」と答えた。

第3号議案で神田博常務理事の辞任により各回理事の上田敬二郎氏(52回)を紹介、承認された。

### 学生の就職状況の悪さに力不足を感じる―勝田理事長

第2部では来賓あいさつで勝田泰久理事長が「80周年記念事業は同窓生の皆さんのご協力で順調に進んでいるものの、学生の就職状況が悪く、われわれの力不足を感じています。大学の使命は学生に知力、気力、耐力を教え夢と希望の実現を支援していくことです」。

### 原点に戻り建学精神を伝えたい―徳永学長

徳永光俊学長は「最近、経大生のいい話が一般新聞によく取り上げられます。いいことです。私の部屋から大樟の木が見えますがこの時期今一度原点に戻り、建学の精神『天地は道理を貫く』とは何かを学生に教え、伝えたい」と教学の理念を述べられた。

第3部の懇親会は100名以上の参加者で盛り上がり、理事会は終了した。

Takasho

やすらぎのある空間づくり

私たちはよりよい庭での暮らしを提案いたします。

わたしたち、タカショーグループは和歌山から日本へ、そして世界へ「ガーデニング文化創造企業」として発展しつづけています。

株式会社タカショー
本　社：和歌山県海南市南赤坂20-1
〒642-0017 TEL.073-482-4128
東京本部：東京都千代田区三崎町3-2-14
〒101-0061 TEL.03-3238-0532
他、国内15支店・営業所　海外6支店

インターネット・ホームページ
http://takasho.co.jp
JASDAQ
（証券コード7590）

<タカショーグループ20社>
国内10社（タカショー含む）
海外10社
タカショーグループ20社が
私たちの仲間です

# 支部活動をキメ細かく活発化しよう

## 2012年全国支部長会

2012年度全国支部長会が5月26日、理事会にさきがけ午前中に開かれた。全国支部長会は今年の2月に設立された大阪府の「箕面・豊能」支部を加え現在50支部と7職域・団体の支部長、会長で構成されており、年一度開催し活動や近況報告をする中で本部、支部、職域団体の運営に役立てることを目的としており、議案審議や議決などは行わない。

特に今年は全員の報告は限られた時間内ではできず、新支部長になられた方の自己紹介をはじめ提案や意見のある支部長の発言に絞った。

佐藤武司会長は「少子化時代に入り大学の生き残りをかけた経営が問われ厳しい局面が続きます。母校に隣接する茨木市に2015年立命館大学が開校します。同窓会としてもチエを絞って受験生の皆へ支援したいと思っています。同窓会名も一層の団結を目指す意味から『大阪経済大学大樟会』と改称します。すでに大樟という名を使っておられるところはありますが、これからは『大樟会〇〇支部』となります。また同窓会旗も在庫が減ってきたため『大阪経済大学大樟会』と染め直し新調します。その色について大学に『スクールカラーは何色ですか』と聞きましたところ、2008 年頃からピンク系を使用してきており、これまで紺系が多かった同窓会の色とまったく違うため数回協議しました。同窓会としてはどんな色がふさわしいか、皆さんのご意見をお聞かせ願いたいと思っています」と述べた。

次いで初参加の支部または支部長(代理も含む)として石川、岐阜、滋賀、豊中、箕面・豊能、尼崎、東播磨、岡山、愛媛の皆さんが紹介された。以下、各支部からの意見、提案など。

### 【支部総会の増員】

福井：総会ではタレントとか音楽家など招き増員を図る。今年は落語家を予定。

高知：高知銀行に同窓生が多くそのメンバーが参加してくれて支部に元気がでてきた。

島根：地理的に東西に長く集まりにくい。鳥取県も同じようで県境を越え米子、境港、安来、松江、出雲で細分化も考えている。

奈良：奈良は2,000人ぐらい卒業生がいるが東西に長く集まりにくい。県境を越えた横断的な地区の再編がいい。

挨拶をする佐藤会長

堺：泉南地方は南海線1本でつながっており隣の泉南支部と行事も一緒にしたら効率があがる。地域別に県をまたいでもいいのではないか。

### 【支部再建】

大阪：地元でありながら組織率が悪い。4,000人前後いるが40万円かけハガキを送っても返事は少ない。役員も少なく建て直しを本部とも話し合い進めたい。

北九州：休眠支部の大分は現場では解決しない。

### 【本部への要望】

岡山：本学PRのDVDは放映時間が長すぎてよくない。10分ぐらいを作成して欲しい。

和歌山：80周年記念グッズを利用したい。(事務局＝岡山、和歌山とも大学広報へ申し入れします)

熊本：ＨＰの活用をもっとすべきだ。本部だよりなどマンネリ化だ。(広報＝ご意向に沿いたい)

山口：九州新幹線も開通し大学も近くになった。もっと大学は地方へもPRすべきだ。

### 【高齢化】

姫路：役員会や総会も老人会のように高齢化が進む。若い人が活動してくれるよう取り組む。

宮崎：県内の同窓生には年賀状、暑中見舞いを出し本人確認をしている。

**「澱江」購読料のお願い…**「自らの購読料で『澱江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深いご理解とご協力をいただき、感謝いたしております。編集子一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。
※ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。

お気軽にご相談ください

大阪経済大学生活協同組合
〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 3-16-10
TEL.06- 6379- 2230 Fax.6379- 2232　URL.http://OK.osaka.coop/
e- mail Osakakeizaidai.Coop@ma4.seikyou.ne.jp

# 本部だより

## 本部役員一覧

平成24年12月20日現在

| 氏　名 | 役　職 | 卒回 | 氏　名 | 役　職 | 卒回 | 氏　名 | 役　職 | 卒回 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 佐藤　武司 | 会長 | 30 | 小林　真人 | 広報部 | 32 | 植村　祐三 | 監事 | 32 |
| 田村　正晴 | 副会長 | 30 | 秋山　治信 | 広報部 | 37 | 大西　健介 | 監事 | 35 |
| 竹中　亨 | 事務局長 | 32 | 大谷　忠久 | 広報部 | 51 | 山内　淳子 | 監事 | 47 |
| 梶村　貞男 | 事務局次長 | 37 | 廣野　義直 | 組織部長 | 34 | | | |
| 進木伸次郎 | 総務部長 | 33 | 石橋　隆夫 | 組織部 | 32 | | | |
| 齋　貞文 | 総務部 | 30 | 下垣　恒彦 | 組織部 | 36 | | | |
| 福地　利仁 | 総務部 | 39 | 菊川　和義 | 組織部 | 59 | | | |
| 上田敬二郎 | 総務部 | 52 | 中坪　健治 | 財務部長 | 41 | | | |
| 平田　義行 | 広報部長 | 31 | 二宮　勉 | 財務部 | 65 | | | |

## 平成23年度収支決算書

自　平成23年4月1日　　至　平成24年3月31日

(単位：円)

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目 | 決算額 | 予算額 | 科目 | 決算額 | 予算額 |
| 前期繰越金 | 15,428,447 | 15,428,447 | 総会費 | 2,158,783 | 3,000,000 |
| 会費収入 | 45,078,000 | 43,500,000 | 役員会費 | 929,920 | 1,200,000 |
| 総会収入 | 570,000 | 750,000 | 支部費 | 9,784,819 | 11,000,000 |
| 利息収入 | 716,348 | 700,000 | 事務費 | 966,749 | 1,000,000 |
| 澱江収入 | 915,460 | 1,000,000 | 人件費 | 5,826,230 | 6,000,000 |
| 広告料収入 | 1,065,750 | 900,000 | 旅費交通費 | 2,185,440 | 2,800,000 |
| 雑収入 | 42,800 | 0 | 広報活動費 | 9,225,410 | 9,000,000 |
| | | | 名簿調査費 | 267,015 | 300,000 |
| | | | 学対費 | 13,306,441 | 15,000,000 |
| | | | 諸会助成費 | 1,226,742 | 1,500,000 |
| | | | 慶弔費 | 533,190 | 500,000 |
| | | | 特別基金繰入金支出 | 5,000,000 | 5,000,000 |
| | | | 予備費 | 0 | 2,000,000 |
| | | | 次期繰越金 | 12,406,066 | 3,978,447 |
| 合計 | 63,816,805 | 62,278,447 | 合計 | 63,816,805 | 62,278,447 |

## 平成24年度収支予算書

自　平成24年4月1日　　至　平成25年3月31日

(単位:円)

| 収入の部 | | | 支出の部 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目 | 予算額 | 摘要 | 科目 | 予算額 | 摘要 |
| 前期繰越金 | 12,406,066 | | 総会費 | 3,000,000 | |
| 会費収入 | 56,500,000 | | 役員会費 | 1,000,000 | 理事会・常務理事会・各部会 |
| 総会収入 | 1,000,000 | | 支部費 | 12,000,000 | 運営費・支部総会援助 |
| 利息収入 | 800,000 | | 事務費 | 1,000,000 | |
| 澱江収入 | 1,000,000 | | 人件費 | 6,000,000 | 事務局人件費 |
| 広告料収入 | 1,200,000 | | 旅費交通費 | 2,500,000 | |
| | | | 広報活動費 | 12,000,000 | |
| | | | 名簿調査費 | 300,000 | |
| | | | 学対費 | 15,000,000 | 大学祭・クラブ活動援助 他 |
| | | | 諸会助成費 | 1,300,000 | 諸会援助 |
| | | | 慶弔費 | 500,000 | |
| | | | 特別基金繰入金支出 | 10,000,000 | |
| | | | 予備費 | 2,000,000 | |
| | | | 次期繰越金 | 6,306,066 | |
| 合計 | 72,906,066 | | 合計 | 72,906,066 | |

# 大樟会支部長・各種団体会長一覧

平成 24 年 12 月 20 日 現在

| 支部・団体名 | 氏　名 | 卒回 | 現　住　所 | 電　話 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 池田　正勝 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 東京 | 藤本　二郎 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 富山 | 小泉　俊夫 | 30 | [illegible] | [illegible] |
| 石川 | 鍛治　一英 | 36 | [illegible] | [illegible] |
| 福井 | 石橋　隆夫 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 岐阜 | 浅野　四郎 | 35 | [illegible] | [illegible] |
| 静岡 | 大塩　博喜 | 40 | [illegible] | [illegible] |
| 愛知 | 五十棲 保彦 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 三重 | 英　成樹 | 38 | [illegible] | [illegible] |
| 滋賀 | 橋本　庫一 | 30 | [illegible] | [illegible] |
| 京都 | 田中　伸治 | 45 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪市 | 三好　政彦 | 26 | [illegible] | [illegible] |
| 大阪市役所 | 南　正治 | 43 | [illegible] | [illegible] |
| 北大阪 | 平田　義行 | 31 | [illegible] | [illegible] |
| 北摂 | 大門　壽郎 | 29 | [illegible] | [illegible] |
| 北河内 | 森川　義一 | 25 | [illegible] | [illegible] |
| 豊中 | 植田　富雄 | 38 | [illegible] | [illegible] |
| 池田 | 中　一正 | 27 | [illegible] | [illegible] |
| ★箕面・豊能 | 木谷　正雄 | 31 | [illegible] | [illegible] |
| 泉南 | 車野　修三 | 27 | [illegible] | [illegible] |
| 堺 | 堀本　修 | 24 | [illegible] | [illegible] |
| 尼崎 | 久保　太郎 | 31 | [illegible] | [illegible] |
| 伊丹 | 水納　敏也 | 25 | [illegible] | [illegible] |
| 阪神 | 進木 伸次郎 | 33 | [illegible] | [illegible] |
| 神戸 | 下土井 康晴 | 25 | [illegible] | [illegible] |
| 丹有 | 廣野　義直 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 明石 | 佐藤　武司 | 30 | [illegible] | [illegible] |
| 北播磨 | 伊藤　俊博 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 但馬 | 髙本　勲 | 35 | [illegible] | [illegible] |
| 東播磨 | 西川　嘉紀 | 33 | [illegible] | [illegible] |
| 姫路 | 林　和信 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 淡路島 | 竹内　通弘 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 奈良 | 西本　集一 | 23 | [illegible] | [illegible] |
| 和歌山 | 新田　和弘 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 鳥取 | 秋口　政俊 | 39 | [illegible] | [illegible] |
| 島根 | 浅原　宏 | 22 | [illegible] | [illegible] |
| 岡山 | 松永　清彦 | 41 | [illegible] | [illegible] |
| 津山 | 竹本　巧 | 37 | [illegible] | [illegible] |
| 備後 | 小池　勝章 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 広島 | 陰山　秀明 | 44 | [illegible] | [illegible] |
| 山口 | 小林　真人 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 徳島 | 樫本　孝 | 35 | [illegible] | [illegible] |
| 香川 | 鈴木　澄夫 | 36 | [illegible] | [illegible] |
| 愛媛 | 眞鍋　一美 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 高知 | 野崎　邦男 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 北九州 | 植田　達三 | 52 | [illegible] | [illegible] |
| 大分 | 寒田　陽 | 40 | [illegible] | [illegible] |
| 熊本 | 濵　忍 | 35 | [illegible] | [illegible] |
| 宮崎 | 福田　俊彦 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 南九州 | 前薗　博隆 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 春秋会 | 田中　夏木 | 26 | [illegible] | [illegible] |
| 大樟体育会 | 下垣　恒彦 | 36 | [illegible] | [illegible] |
| 池田泉州銀行経友会 | 田中　寛 | 37 | [illegible] | [illegible] |
| 日立大樟会 | 角脇　忠行 | 34 | [illegible] | [illegible] |
| 税理士大樟会 | 三木　泰 | 35 | [illegible] | [illegible] |
| 大樟教育研究会 | 眞鍋　一美 | 32 | [illegible] | [illegible] |
| 社労士大樟会 | 久保　太郎 | 31 | [illegible] | [illegible] |

★新設支部

ズームアップ経大人

Zoom Up Keidaijin

（順不同）

# 一次産業×デザイン＝風景

グラフィックデザイナー
**梅原　真** 氏（38回卒）

略歴…昭和25年1月16日高知市生まれ、62歳。父親の転勤で和歌山県立向陽高校から本学経済学部へ入学、在学中は阪急三番街の画材販売店でアルバイトをしながらデザインの通信教育を受講。昭和40年卒業後地元のＲＫＣ（高知放送）プロダクションへ入社。そこではあらゆる美術に関することを経験。自分のグラフィックデザインを確立しようと昭和54年同社を退職後、単独渡米。帰国後30歳の時、現在の梅原デザイン事務所を立ち上げる。現在では国内はもとより世界各地からのオファーがあり、新聞、テレビ、雑誌等でも取り上げられる超多忙なデザイナー。秋田県スーパーバイザーも務める。

梅原　真氏のデザイン事務所は高知市の隣、香美市を流れる物部川河畔の小高い丘の一角に建つ。梅原氏は原則大手企業からの依頼は断っているのだが、開業して間もなくの頃、電電公社（現NTT）から子供たちを対象とした「あなたの考えている未来の電話を絵にしてください」というポスターの依頼を受けた。ところが30年経った今、話す以外の多機能を兼ね備えた電話機に発展した。「まさに今日の現実を予言していたかのような仕事だった」と梅原氏は振り返る。

風景をみればその国のあり方が分かる。「一次産業にはほとんどデザインがない。それをプッシュしてあげると世の中に認知されて物が売れる＝経済的に豊かになる。これが原風景を保つことに繋がるのではないか」梅原氏の持論である「一次産業×デザイン＝風景」だ。

事実、梅原氏のデザイン、アドバイスで成功した例は枚挙にいとまない。一農協職員が梅原氏のアドバイスで立ち上げた「（株）四万十ドラマ」は、地元野菜など四万十川流域で採れる新商品開発、会社の運営+インターネット販売などを立ち上げ、年商4億5,000万円にも上り、全国からの視察者が絶えない。新しい商品開発で地元産の栗を使った「クリ玉」はパッケージのデザインのお蔭で売り上げが飛躍的に伸び、今では生産が追い付かず、新しくクリの苗木を毎年1,000本植え、10年間で1万本にするプロジェクトを立ち上げた程だ。

また、水産加工会社が取り扱っていたかつおのたたきのパックデザインを依頼され、＜漁師が釣って、漁師が焼いた＞という赤いデザインのパッケージは評判を呼び、年商1,800万円だったものが10年後には23億5,000万円にまで大成長したのである。

他にも梅原氏がデザインした埼玉県皆野町の「男の石鹸」は男性の加齢臭対策として特産の柿から作ったもので2年間に1万3,000個を売り上げた他、島根県隠岐島の「島じゃ常識　さざえカレー」、高知県馬路村の「ポン酢しょうゆ・ゆずの村」など、いずれも大成功をおさめている。

これまで、89年には高知県黒潮町の海岸に吊るしたロープにTシャツを何枚も通しただけの「砂浜美術館」は全国的に話題を呼んだ。

また、2009年には沖縄県国頭村の観光ポスター「やんばる　ふんばる　国頭村」は日本観光ポスターコンクールで金賞を受賞。

今、梅原氏は一つのプロジェクトを立ち上げた。新聞紙を使って袋を作る「東北ニュースペーパープロジェクトJAPAN」。東北大震災で復興庁が募集していた雇用の場つくりに採用された。「新聞紙を使って袋を作るのだから日本の新聞は勿論、外国の新聞を集めたりすればデザインは無限。これを作るのに震災にあった人たちの時給900円程度の内職にもなる」。この話に地元の銀行と全国紙が乗ってきて、銀行が買い上げ、預金者にノベルティーとして渡すという仕組み。まだまだこれ以外に使い道は無限だ。（左写真参照）

他にもせっかく残された沈下橋を渡って行った先には研修施設があり、そこに多くの人たちを呼び込もうという「四万十分校」構想も実現に向けてスタート。こうした奇抜な発想は「案外草刈作業中に生まれる。他からの音はエンジン音にかき消されて意外と集中できる」のだとか。やはり凡人とは違う。

（聞き手＝編集委員・小林真人）

# 卓越した焼き入れ技術で製造業の生き残りをかける

大洋金属工業株式会社　代表取締役
**原田　政吾** 氏（41回卒）

略歴…昭和27年10月8日生まれ、60歳、大阪市東淀川区出身、兵庫県立宝塚高校から本学経営学部に、昭和50年3月卒業と同時に大手総合商社「大沢商会」に入社、テニス、スキー、ゴルフ用品などを販売する東京本社スポーツ用品部に配属され、営業活動に従事。26歳で服飾雑貨、毛皮、貴金属などを担当していた女性と社内恋愛を結実。昭和57年10月大沢商会を退社し、義父が経営する金属製品の焼き入れ専業の『大洋金属工業株式会社』へ。平成9年義父からバトンを受け、4代目の社長として資本金5000万円、社員15名、年商1億円の企業のかじ取り役を担う。現在は東部金属熱処理工業組合副理事長の要職に就き、業界のリーダー的役割も果たす。

商社マンから技術屋へ。原田社長の人生の分岐点を探れば、大学入学後なんとなくおもしろそうだと取り組んだアーチェリーだったかも知れない。先のロンドン・オリンピックで男女ともメダリストを生み、いくらかメジャーなスポーツになりつつあるが、「私が入学したころはあまり知られておらず、入部した時は創部5年目で、まだ同好会でした。それでも淀川の河原で畳を的によく練習し、関西学生個人戦で予選1位、決勝戦で敗れ準優勝したこともありました」と。この運動部経験を買われて難関の就職戦線を突破した。しかし縁あって結婚した彼女の義父が、製造業「株式会社飯塚工機製作所」を営むと同時に「大洋金属工業」の経営にも深くかかわりを持っており、同社の初代、2代目社長の相継ぐ急逝で、義父が3代目、そして平成9年4代目の社長として同社の経営を継ぐことになった。

高度な炎焼き入れ、高周波焼き入れ、真空窒化処理を行う同社にとって最も重要なことは、その焼き入れ技術において他社が真似のできない高付加価値の創出を可能にしていることだ。原田社長自ら特級金属熱処理技能士の資格を取り、熱処理技術の刷新に精を出しているが、「同社の強みは何と言っても2009年に『現代の名工』に選出された上村信水工場長の存在です。彼のモノづくりに対する姿勢が、次の熟練した技術者を生み、次代に夢を与えることになる」と、大きな期待を寄せる。

ただ、リーマン・ショック以降の製造業の海外流失は歯止めがかからず、「焼き入れ技術の大量生産比率の高まりから、中国では日本の800社に対して2000社を超える熱処理業者があり、先行き予断を許さない」とみる。しかし「日本の熱処理技術が日本のモノづくりを支える基幹産業でなくてはならないと今も思っている」と、前向きな姿勢は変わらず、製造業の生き残りをかけた戦いに挑戦中。

（聞き手=編集委員・森川義一）

# ジャズピアノに自分の人生を奏でる

ジャズピアニスト
**合田　裕則** 氏（37回卒）

略歴…1948年12月生まれ、64歳。香川県出身。大学時代から本格的にジャズピアノに取り組む。卒業後川鉄商事入社。1998年ジャズピアニストとしてデビュー。ライブハウスで演奏のほか名古屋芸術大学講師、ヤマハミュージック東海講師。北名古屋市在住。

ジャズピアノのプロミュージシャンとして名古屋市を中心に、ライブハウスで演奏している合田裕則さん。洗練された緻密な叙情的演奏で知られ、多くのファンを魅了している。

音楽との出会いは、幼少のころ母に連れられ学んだクラシックピアノ。中学1年生まで続けた。大学に入り軽音楽部のフルバンドのリーダーとして活動するかたわら、仲間とコンボ（トリオ）を組み昼間体育館で練習をしては夜、大阪のキタやミナミで演奏のアルバイト。ほぼ毎晩で、貴重な体験の日々だったという。大学5年生の時、ヤマハ・ライトミュージックのコンテストで最優秀個人賞を受賞。「5年間大学に行った甲斐がありました」と合田さん。

卒業後、川鉄商事（現JFE商事）に入社、名古屋、東京、仙台と鉄鋼販売で猛烈なサラリーマン時代を過ごすが、ピアノの練習だけは欠かさなかった。「やはりジャズピアノが自分の人生を奏でるのに一番だ」と決意、ジャズピアニストとして本格的にスタートした。50歳の時である。

ジャズピアノについて合田さんは「ジャズとは、創造力に富んだ自由な演奏方式で、ピアノもその楽器群の一つです。ジャズは瞬時に作曲、編曲が求められるため正しい音楽理論やリズム感性が問われ、その結果多様な個性が現れます」と教わった。

現在は「合田裕則トリオ」としてライブ演奏を続けながら、名古屋芸術大学のジャズピアノ講師として熱心に指導している。最近はラテン・ポピュラー等演奏分野を広げ、ヴォーカルの指導も増えてきた。

「演奏のたびに新たな挑戦にドキドキしながら、いつも最高の思い出となるようピアノに向かいます。音楽に限らず若い人たちには何事も一心不乱に取り組んで欲しい」。一昨年の夏、軽音楽部の当時の仲間が集まり、明石市のポチジャズクラブで懐かしく演奏をした。その模様は「合田裕則トリオ」と検索すれば動画で見られる。いつの日か、母校でのライブ演奏が聴けるだろうか。

（聞き手=編集委員・平田義行）

# 「国際郵便」の感動が人生を決める

日本郵便株式会社　事業開発推進本部　担当部長
**高須　博昭** 氏（51回卒）

少年時代、ラジオの国際放送を聴いては「受信報告書」をその放送局へ国際郵便で送ると「受信確認カード」が国際郵便で送り返されてくる。時にはその国の古切手も入っている。このカードの収集が趣味だった高須さん。まだ見ぬ外国の人からの心の温もりに「国際郵便」への面白さと感動を覚えた。国際郵便サービスを利用していた高須さんは、やがてサービスを提供する職を得、国際公務員として国際郵便の総本山であるスイスの「万国郵便連合（UPU）」の1等書記官として33歳から約5年間働かれた。まさに郵政の国際人である。

さて、2012年10月に郵便事業会社と郵便局会社が合併して「日本郵便株式会社」が発足。これに加えてゆうちょ銀行、かんぽ生命、日本郵政の4社からなる「日本郵政グループ」が誕生した。郵政事業を担当するグループとして20万超の従業員を抱えるわが国最大級の企業の一つだ。このグループの前身、旧郵政省の郵便局に就職した高須さん、まず大阪堺郵便局に配属されたが仕事への向上心とチャレンジ精神で24歳の時、国際郵便を扱う郵便局勤務のための登用試験に一発で合格、待望の国際郵便の仕事ができる。若い高須さんの人生が動き出した。

さらに26歳の時、郵政省内最難関に位置づけられていた幹部養成の「郵政大学校」にも一発で合格。現在、同期のほとんどは本社管理職に就き、先輩にはグループ会社内で役員となられて活躍している方もおられるという。

略歴…昭和38年3月27日生、49歳。和歌山県立向陽高校出身。経大卒業後、堺郵便局勤務。25歳で大阪中央郵便局国際郵便部、26歳で郵政大学校入校、33歳で国際公務員としてスイスのUPUに勤務、38歳で帰国。現在は日本郵便株式会社で事業開発推進本部担当部長。

卒業後本社勤務となったが持ち前の向上心は衰えずさらに「国際公務員」に応募。各国からの応募者の中から高須さんが選定されUPUに赴任した。この国際機関は世界各国の郵政事業の発展、とりわけ途上国のレベルアップを支援しており、高須さんはアジア地域の発展を担当した。この赴任期間で世界の郵政行政の人々とのネットワークができたという。任官が終わり38歳で帰国した頃から日本の郵政事業は従来の国営事業からの変革がはじまっていた。

国際郵便の普及に全力を尽くし、その活動経験から体得した国際的感性で、今は日本郵政が掲げるビジョン実現にむけて、新規サービスの仕組み作りに専心されている。経大同窓生が巨大郵政で今後どう活躍するのか楽しみである。　（聞き手=編集委員・平田義行）

# 超巨大造船に挑む

今治造船株式会社　常務取締役　西条工場長
**日高　義信** 氏（38回卒）

略歴…昭和25年2月24日大分県津久見市生まれ、62歳。県立津久見高校から昭和43年本学経済学部へ入学。在学中は柔道部に所属。昭和47年卒業後、今治造船へ入社。丸亀工場へ配属後、同社の傘下にはいった幸陽ドック再建のため出向、その後丸亀工場から西条工場へ。副工場長を経て2008年からは同社常務取締役工場長。家族を丸亀市に残し単身赴任歴は20年にも及ぶ。日本最大級の造船所の工場長として2800名の従業員のトップに立つ。

昨年6月27日、NHK総合テレビで爆笑問題が司会をつとめる「探検バクモン～超巨大船をつくれ!」が放送されてインターネットのアクセスが3,000件以上も寄せられたとか。この番組の説明役を担当したのが日高氏である。

巨大船舶を製造する工場長は技術系の出身者が普通なのだが、今治造船西条工場長は、何と大経大出身なのだ。リーマンショック以後、造船業界は構造不況に陥っている。おまけに2000年までは日本の造船業界は世界のトップを占めていたのだが、一昨年、中国が世界シェアの38%、韓国が35%、日本は19%に転落、第3位に甘んじているのが現状だ。現在、各国とも受注が減少している中、8工場11船台を持つ今治造船は年間100隻ペースの建造実績をあげ、国内シェアの4分の1を占め大健闘している。中でも西条工場は大型船に特化していて年間10隻、この不況下でも2014年には世界最大級の33万5,000トンの鉄鉱石専用船の受注が決定している。

巨大造船所の責任者として「重量物の鉄鋼を扱うだけに従業員の安全確保は勿論、品質管理、受注先への納期厳守が最優先」と、日高氏は話す。また、地元の企業の代表として対外的には西条市などとの色々な関わりも大事な職務なのだ。日高氏が工場長になってISO9001（品質管理）、ISO14001（環境）、OHSAS18001（安全）取得に取り組み、「世界に認められる造船所」を目指して実績をあげてきた。西条工場はまだ歴史は浅いのだが2012年10月15日には100隻目が竣工し、造船マンの日高氏にとっては感慨深いものがあった。

今造のシェアは日本一。「航行中の船を見ただけで自社製造の船が識別できる」と言う、根っからの造船マンなのだ。

（聞き手=編集委員・小林真人）

# 大阪府茨木市を中心に すし店7店舗を経営

株式会社三府フードサービス　代表取締役
**岸中　雅之** 氏（44回卒）

略歴…昭和30年4月12日生まれ。57歳。大阪市立扇町商業卒業後、昭和53年経済学部入学。在学中は硬式野球部で投手として活躍。3年時春季リーグ戦近畿リーグ優勝、京滋、阪神リーグとの3リーグ優勝決定戦で優勝し旧関西6大学リーグ入れ替え戦へ。当時最下位の近畿大学戦1回戦に完投するも惜敗。卒業後、家業の三府鮨に入る。平成3年35歳で代表取締役に就任。社団法人大阪外食産業協会（ORA）前副会長、現在理事。

本学の北東部に位置する吹田、茨木、摂津の3市が同窓会「北大阪支部」を4年前に立ち上げた。その茨木、摂津市内でお魚の旨いもん処三府鮨4店、お届け料理三府鮨1店、廻し鮨「新鮮や」2店舗を経営する岸中さん。180cmの長身は大経大時代、硬式野球部の投手としてならしただけに今も堂々たる体躯で、7店舗の総席数450席、従業員・パートをいれ総数180名を日々動かす総司令塔だ。

屋号の由来は大正時代と古く、当時は東京都が東京府と呼ばれており、京都府、大阪府の3つの府をとって「三府鮨」と名づけたそうだ。以来90数年、今も変わらぬ味を守り続けており、岸中さんは先代の築いた店の近代化を果たした。茨木市内で三府鮨といえば地域に密着したお店として親しまれている。

岸中さんは包丁を持たないが競争の激しい飲食業界だけに、野球に通じる“結果は人なり”を信念に社員教育にはプロ意識を持ち、会社の理念、目的、使命など社員にわかり易い言葉で示す。三府鮨の売りは?と尋ねたところ「生き生きとした職場づくり、お店づくりを目指せる人づくりです」。社員をそのレベルに引き上げるには?「お客さまが食事を終わり『ありがとう』の声をいただけるよう、利己より利他を考える人づくりが私の使命です」。こうした人間教育は、若手経営者が多く集まる京セラ名誉会長稲盛和夫氏が主宰する「盛和塾」で薫陶を受ける。以来、世の中で自分が役だつ仕事は何かを模索しつつも、外食産業の変化は日々激しく少子化の中いわば“胃袋の取り合い”は今後も収まる気配はない。しかしお客さまに喜んでいただき、また来ていただくためには、仕事を通じて人が磨かれる社風づくりが最も大切な経営者の仕事と断言される。そんな言葉を耳に後日、カウンターに席した私に板前さんは包丁を休め、注文を急がすわけでもなくニコニコ顔で迎えてくれた。　（聞き手=編集委員・平田義行）

# 「バスケットの尽誠学園」を全国に広める

尽誠学園高等学校　バスケットボール部長
**色摩（しかま）　拓也** 氏（62回卒）

略歴…1973年大阪府生まれ。中学1年生からバスケットボールをはじめ、京都の洛南高から大経大経営学部へ。卒業後2年間、大学バスケのコーチをしながら教員免許を取り98年から尽誠学園高校に赴任。担当は地歴公民。高校ではバスケット部の創部から監督を務める。39歳。香川県善通寺市在住。

バスケットボール部を創設し、わずか12年目の快挙だった。2012年の全国高校バスケットボール選抜優勝大会で、男子香川県代表の尽誠学園が準優勝を飾り、県のバスケ界はもとより「バスケットの尽誠」の名を全国に知らしめた。その快挙を導いたのが創部以来の監督、色摩拓也さん（経営学部62回卒）だ。尽誠学園はもともとスポーツを重視する私立の進学校として硬式野球部、バスケット、ソフトテニス、卓球などいずれも全国レベルの実力校として有名だ。

色摩さんは大学卒業後もバスケを続けたく仕事と両立できるのは教員だと思い、2年間母校のバスケのコーチをやりながら教員免許を取った。24歳の時である。早速尽誠学園から「当校にはバスケ部がないので来ないか」と誘いがあり赴任した。はじめの2年間は同好会として基礎を作り、00年に正式に部に昇格した。しかし部員はバスケは好きだが意識はバラバラ。「なぜバスケットをしているのか、どうして大好きなバスケットを思い切りできるのか、自分たちの目標はどこなのか」を繰り返し指摘し、自分を律する自覚とバスケができる自分の環境に感謝をしようと教えた。

日々33名の部員が練習に励むが、試合に出られるのは約半数。大会直前のメンバー発表後外れた者が、その後の練習や生活習慣の意識が下がることはない。毎日3時間の練習に土日も練習試合が続くが休む者はいない。チームプレイが故にサボると他人に迷惑がかかる。全部員が完璧なプレイヤーを目指すと同時に1人1人が雑用係だと自負している。このように高度に訓練されたチームについて色摩さんは「本当に私の言ったことを一生懸命実践しようとしてくれています。その上で選手同士の横の信頼関係がうまくできている。部への団結、上手くなりたい熱意、バスケが好きだという情熱が選手から感じます」。

色摩さんの薫陶を受け尽誠学園から大経大バスケ部に入る選手も多く、現主将の三枝一輝君（経営学部4年）、弟の三枝皐君（経営学部1年）らトップ選手が活躍している。次の目標は、昨年12月広島で行われた全国選抜で日本一を目指すことだ。この小誌が発行される頃、改めて色摩さんを訪ねてみよう。　（聞き手=編集委員・平田義行）

# 太鼓で町おこし

演奏中の久米仙人太鼓

和太鼓集団「久米仙人太鼓」代表
**国米（こくまい）　繁行（しげゆき）** 氏（37回卒）

略歴…1948年12月22日生まれ、64歳。岡山県津山市（旧久米町）出身。昭和46年経済学部卒。在学中はどのクラブにも所属せず、もっぱら新聞社、衣料品卸などでアルバイトに専念。ゼミは「国際貿易」。卒業後は6年間薬品卸会社へ就職。その後、長男で家を継ぐため久米町へ帰り、薬品卸の会社へ就職。定年後、津山市の嘱託職員として津山市久米総合文化運動公園に勤務の傍ら、地元の太鼓集団「久米仙人太鼓」の代表を務める。

津山市は岡山からJR津山線で約1時間半。旧出雲街道が通り、かつては津山藩10万石の城下町として栄え、全国に数ある小京都のひとつ。四方を山に囲まれたしっとりとした町だ。中国自動車道が町の近くを走る。

中心地からやや外れた田園地帯の廃園になった保育園の建物から毎週月曜日の午後7時30分、太鼓の音が響きわたる。久米仙人太鼓の練習風景だ。

故郷に帰った国米氏は、昔から伝えられてきた三成音頭などがすたれていくのを目の当たりに見て、何とか伝統芸能を復活させて町おこしの起爆剤になればという思いから約10人が他地区の先輩太鼓集団に教えを乞うたのがこの久米仙人太鼓の誕生だ。平成7年、津山市と合併する前の旧久米町が40周年を迎えるに当たり、町が太鼓を買い揃えてくれて、その祝賀記念行事でデビューした。メンバーは小学4年生から80歳までと幅広く、中には30歳台が2人、50歳台3人の女性もいていつも活動出来るのは20人弱。女性メンバーがいるので「他の太鼓集団よりも見栄えがいい」というのが国米氏の自慢だ。「簡単なリズムの組み合わせをどう表現するかで技量を問われ、奥が深い」という。地道な活動が徐々に認められ、現在は美作地方だけでなく遠く岡山市まで出かけて行くこともある。「腹の底に響き渡り、発散できる。その上全身運動だ」というのが太鼓の魅力だという。太鼓は確かに日本人の心に響き、魅了して止まない。今では久米町ふるさとまつりのオープニングにはなくてはならない存在に。国米氏は「我々の地道な努力がある程度初心の町おこしにつながってうれしい。今後はレパートリーを増やし、皆からより愛される太鼓集団に成長させたい」という。

（聞き手=編集委員・小林真人）

# ホノルルマラソンに魅せられた男

北神セメント・生コン卸協同組合　営業部長
硬式庭球部OB/OG会会長
**秋山　治信** 氏（37回卒）

略歴…昭和23年7月28日生まれ、兵庫県西宮市出身、64歳。兵庫県立西宮東高等学校を経て、昭和42年3月本学経済学部に入学。同46年春卒業直後に、顔面から頭部にかけて20針も縫う交通事故で、20日間も入院するというアクシデントに見舞われたが、当時の県会議員、奥五一氏の紹介で「合田光三商店」に入社、セメントの販売に従事。42歳の時、住友大阪セメントの子会社「エスオーシー建材株式会社」へ、63歳で常務取締役を退任するまで営業一筋で活躍、平成23年8月から現職。同時に大樟会常務理事広報委員、硬式庭球部OB/OG会会長を務める。

まだ薄暗い早朝の5時、打ち上げ花火を合図にアラモアナ公園をスタートするホノルルマラソン。思い思いのユニフォームに身を包んだ選手たちが、ワイキキのホテル街を駆け抜け、ダイヤモンドヘッドを横目にワイアラエビーチへ、素晴らしい朝日に染まる海の絶景を目にして走るランナー達。やがて42.195キロを完走して歓喜のゴールへ。

今から12年前の正月、このテレビ番組を見ていた則子夫人から「私たちも家族ぐるみでホノルルマラソンに参加しましょうよ」と持ちかけられた。学生時代の4年間、硬式庭球部で馴らした身体に多少の自信はあったが、「その時52歳、42キロを超える長距離を走るなんて、とても自信はありませんでした」と。ただ「家族揃って健康でありたいという強い思いと、家族みんなで楽しめるホノルルマラソンも悪くはないと決心しました」と、当時の心境を語る。

以来12年間このホノルルマラソンを走り続けてきた。最初のタイムは5時間29分だったが、平成22年には4時間23分、同23年は4時間28分と大幅に記録を伸ばしている。「家内とは最初の1回だけだったが、長男とは6回、昨年はロンドンに嫁いだ長女が駆け付け、一緒に走ってくれたことは本当にうれしかったですね」と。今もホノルルマラソンが家族を一つに結びつけている。

それだけに、マラソンにかける日頃の努力も見逃すことはできない。「仕事のない日は朝9時から16キロのランニング、仕事で出歩くことも多いですが、タクシーはめったに乗りません。ゴルフもカートは一切乗りません」と。「確かに30キロを過ぎると腰から下がしびれて動かなくなるのです。エイドステーションで給水の紙コップを受け取った瞬間、身体が動かなくなったこともありました」と厳しさの一面を語る。

「完走した時の気持ちは…」と聞いてみた。「このマラソンに参加できることは、自分もそうですが、何より家族が幸せで、健康でいられたからであり、それに感謝の気持ちを一番に感じますね。健康さえ許せば、100歳まで参加するつもりです」と意気軒高。

（聞き手=編集委員・森川義一）

# 挫折をバネに優良企業へ脱皮

(株)エコーインターナショナル　代表取締役
**半田　正** 氏(32回卒)

略歴…昭和13年5月11日生まれ、74歳、宮崎県小林市野尻町出身。地元の中学校を卒業後、宮崎県立都城泉ケ丘高校夜間部に入学と同時に学芸用品の販売会社、「東騰写堂」に住み込み店員として入り訪問販売に従事。昭和33年同校を卒業後、上京して婦人服地の販売会社「丸南洋装店」に入社し、現業のアパレル業界に足を踏み入れる。しかし姉婿の紹介もあって神戸製鋼所神戸工場の検査工として7年間、大企業の職場経験をするが、平凡な現場作業に馴染めず、最初に就職した会社の社長から「男は30歳までどんな仕事をしてもいいんだ、大学へ行って、勉強しろ」と言われていたことを思い出し、大阪経済大学第2経済学部に入学、この時23歳。昭和41年本学を卒業後、婦人服・婦人服地の卸売業を営む「石本株式会社」に入社、ここで彼本来の真面目さ、誠実さ、積極性を存分に発揮し、業界でも知られたセールスマンとして頭角をあらわし、昭和46年、33歳の若さで婦人服製造・卸販売の「アトリエ・エコー」を設立、平成3年5月決算では売上70億円を計上する企業に急成長を遂げた。ただ翌年のバブル崩壊で63億円の負債を抱えて倒産、その後の会社再建は順調で、平成9年現在の「エコーインターナショナル」の代表取締役として会社経営の陣頭指揮を執る。

バブル崩壊で多くの中小企業が姿を消していったが、半田社長もその荒波をかぶった一人。「毎日のように銀行マンが会社にやって来て、金はいくらでも貸すから土地を、株を、ゴルフ会員権をと勧めに来る。言われるままにしていたら、気が付いたらゴルフ会員権は15を超えていましたね。坪200万円で買った土地があっという間に7千万円になっていた。本社を80坪の土地に9階建ての自社ビルに、東京支社も85坪の土地に地下1階、地上3階建ての自社ビルにといった具合に図体ばかりが大きくなっていました。この時は本当に金持ちになったんだなあと思いましたよ」と、自戒の念を込めて当時を振り返る。

幸い三和銀行、第一勧業銀行をはじめ大手銀行、商社が主な債権者であったことから、大きな負債を抱えての倒産であったが、債権者の厳しい取り立て騒動もなく「静かな倒産劇でした」という。「もちろん当時地方デパートなどお世話になっていた90店舗近いお店には詫び状を送りましたが、先方から再スタートの時はまたうちにと言ってくれるところも少なくありませんでした」と。

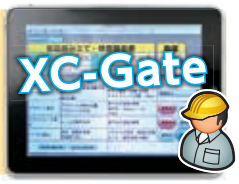
こうした関係筋の支援もあって、平成4年、現在の「エコーインターナショナル」を設立、再スタートを切った。経営はバブル期の失敗を教訓に、売上げだけでなく、あくまで利益に拘り、会社の利益は社員皆んなで分ける。「納税の義務は法人税より、個人それぞれの所得税で社会に貢献するというのが私の持論」という。高い給料の女子社員を積極的に登用し、海外での買い付けも担当させる。責任感を植え付けると同時に社員自身の見識を広めることにもなる。

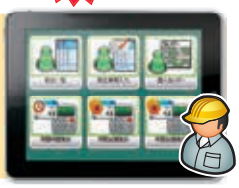
同社の販売業態を通称SPA（製造小売業）と呼ばれているが、判りやすく言えば企画、生産から小売りまで。つまり自分が作って、自分で売る。如何にスピード感を生かしながらグレードの高い生地で、デザインに優れた商品を作り上げていくかが勝負となる。三越、高島屋などのデパートやイオンに代表される大手量販店に出店している商品が、どれだけ顧客の手に取って頂けるかが勝負の分かれ目。半田社長は「デザイン力が決め手でしょうね」とみる。それだけに個々の社員のセンスとやる気と見識が必要なのだ。

いま半田社長は毎年大阪市立大学都市造成学部夜間部の客員教授として「独立開業から41年、私の体験」を学生たちに話している。学業も仕事も中途半端で挫折していく若者の多い中で、何事にも必死に取り組むことの重要性を体験談を通して学生たちに語りかけ、感動を与えている。そのパワーは今も衰えを知らない。

（聞き手=編集委員・森川義一）

同社の取り扱い商品から
右）コート、プルオーバー、パンツ、ストール
下）ストール

テクノツリー 新 ソリューション
iPadを現場で活用！
チェックシート入力・報告書作成


作業ナビゲーション 設備点検とメンテナンス

介護サービス

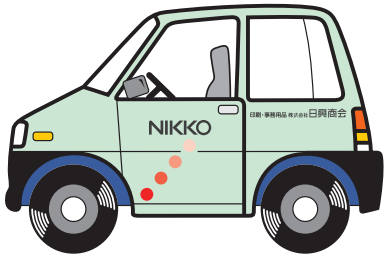
電子コンテンツ

TechnoTree 株式会社 テクノツリー
[本 社]　〒674-0074　兵庫県明石市魚住町清水534番地の7　TEL：078-948-2300
⬇⬇ WEBからもどうぞ！⬇⬇
http://www.technotree.com

## 創立80周年おめでとうございます

オフィス創りの総合商社
文具・事務用品・印刷・OA機器・オフィス家具

どんなことでも NIKKOへ!



NIKKO
株式会社日興商会　代表取締役社長　藤縄　健一（第37回卒）

コクヨ製品取扱高全国 No.1

●本　　社　〒660-0892 尼崎市東難波町５丁目10番30号　Tel. 06・6487・1401　Fax. 06・6487・1414
●支　　店　大阪・京都・神戸・東京・名古屋・広島　他　　ホームページ http：//nikko.bunguclub.co.jp

## 2012年11月8日 開業20周年を迎え これからもみなさまと共に

客室・ブライズルーム・バンケット・レストラン　リニューアルでさらなる進化

阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩約3分
ホテル阪急インターナショナル　検索

ホテル阪急インターナショナル　06-6377-2100（代表）

# 「モノ」の向こうにある生活や変化を伝えたい。
# より多くの人々の『快適ライフのパートナー』を目指して。

ジャパネットたかたは、通信販売の会社です。
しかし、ただのモノ売りにはなりたくないと思っています。

商品の向こうにある変化や生活を伝え、私たちがお奨めする商品がきっかけで
「生活が豊かになった」とより多くの方に感じていただけるような提案がしたい、
そんな想いで、メディアミックスと自前主義の事業方針のもと、
日々すべての工程に全力投球しています。

100年後も、世の中に必要とされる会社であるために、
皆様と少しでも多くの「感動」を共有できる会社であることを目指して。

## 自前主義

### 商品の仕入れからアフターフォローまで、全てに責任を持つ

商品の仕入れからアフターフォローまで、全工程において責任を持てるよう、自前主義の形式をとっています。商品の仕入れ、媒体制作、ご注文受付、発送、購入後のアフターフォローなど、社内にすべての部門を持つことにより、社員が責任と誠意を持った対応をし、各部門が連携して業務を進めます。スピードをもって業務を進め、お客様に最新情報と商品をいち早くお届します。

## メディアミックス

### いつでも買える、どこでも買える、快適ライフを目指して

テレビのみならず、ラジオ、インターネット、カタログ、チラシなどたくさんの入り口を用意することで、お客様の多様なライフスタイルに合った快適なショッピングをしていただけるよう、メディアミックスの形式をとっています。時代の流れをいち早く捉え、少しでも多くの皆様にとって身近な存在となることを目指しています。

ジャパネットたかた
〒857-1197　長崎県佐世保市日宇町2781
http://www.japanet.co.jp/corporate/


ジャパネット 検索

ホームページはこちらから!

# 株式会社エーアイティー

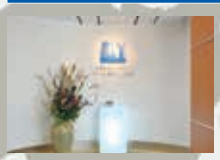
代表取締役社長　矢倉　英一　（昭和48年卒業）

（http://www.ait-jp.com）

東証第一部上場
【証券コード：9381】

会社概要
事業内容：国際貨物輸送事業（海上輸送・航空輸送）/通関業
従業員数：連結398名　/　単体186名（2012年8月末現在）
資本金：271百万円（2012年8月末現在）
営業収益（売上高）：146億47百万円（2012年2月期連結）

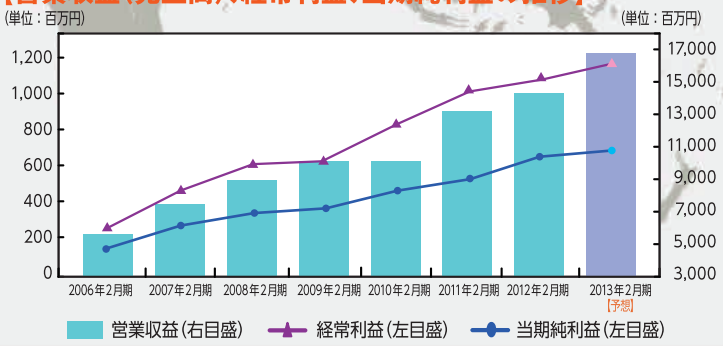
## ■　世界トップクラスを目指す国際フォワーダー　■



～日中間の貨物輸送に特徴～
◆ 中国全土に10ヵ所の自社拠点を配備
◆ 提案型の国際輸送サービスを実現
2012年10月には東京支社も移転し、業務拡大を図っています。

2012年8月
大経大在学生6名への
インターンシップを実施

【営業収益（売上高）、経常利益、当期純利益の推移】




お問合せ先
＜本社＞
大阪市中央区本町二丁目1番6号
TEL：06-6260-3450（代表）
＜東京支社＞
東京都港区芝五丁目26番24号
TEL：03-5427-6510（代表）
○名古屋営業所　TEL：052-963-0260
○福岡営業所　TEL：092-433-7560
○成田空港営業所　TEL：0476-33-1090
○海外オフィス：上海・大連・天津・青島・南通
蘇州・寧波・厦門・深圳・香港
バンコク・ホーチミン

# FUJITA'S FUTURE

未来は大きな可能性に満ちた希望の世界です。過去は今を創り、
今は未来を創る原動力。フジタは、築き上げた総合力をもって、
次の時代に柔軟に対応していきます。建設を基盤とした豊かな
環境づくりへ。フジタは、いま、人と地域と自然がひとつにつながる、
“高”環境づくりを目指します。子供たちとその子供たちが
のびのびと生きていける快適な環境を創造するために。

たゆまず、未来をつくる。フジタ

FUJITA

次の100年へ。

www.fujita.co.jp

Iwatani
富士の湧水
バナジウムの恵み
富士山が育んだ天然水
「富士の湧水」
SINCE 1961
MONDE SELECTION
2012
GOLD AWARD
モンドセレクション2012
金賞受賞
冷・温両用
ウォーターサーバー
（レンタル制）
「富士の湧水」
D-パック
12ℓ入り
「富士の湧水」
D-パック
8ℓ入り
イワタニは天然水をお届けします。
富士の湧水
検索
0120-817-150
イワタニアイコレクト株式会社 （平日 9:00～17:00）

# *For a Lively World*

大成建設の技術で実現する未来都市

わたしたちは“人がいきいきとする環境を創造する”というグループ理念のもと、
自然との調和の中で、安全・安心で魅力ある空間と豊かな価値を生み出してきました。
*For a Lively World*…この思いとともに、これまで育んできた技術を、さらに高め次の世代へ。
わたしたちは、夢と希望に溢れた地球社会づくりに取り組んでいきます。

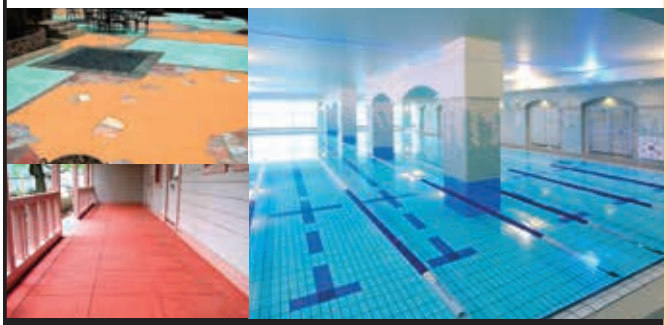
**地球がいきいき、人もいきいき。大成建設がめざす未来です。**

TAISEI 大成建設株式会社

EVER ONWARD

新たな時代を彩る、

# カラーモルタル誕生！



イメージひろがる！ テクノカラーは、アイデアしだいで使い方いろいろ…

## ColorMortar

［特徴］ ●豊富なカラーバリエーション（全カラー66色）で自在の色の組合せが可能です。 ●プレミックスモルタル製品ですので、硬化物は接着性に優れ、かつ高い強度を発揮し、耐久性に優れています。 ●白華現象のおこりにくい配合設計になっています。 ●用途目的に合わせて多種の組合せが可能です。

［種類］
- ●テクノカラーSK（厚塗り用）
- ●テクノカラーMU（薄塗り用）
- ●テクノカラーNS（洗い出し及びコンクリート用）

色・カタチ思いのまま
スタンダードをめざす
業界初の新発想モルタル

TechnoColor

業界初

## テクノカラー66

〈受注生産型〉


機能性モルタル類の総合メーカー
TECHNOS JAPAN
テクノスジャパン株式会社
代表取締役 社長 佐藤武司
（昭和39年 30回卒業 大樟会会長）

○お問い合せは
TEL／078-924-1234 FAX／078-924-0050
http://www.attack-pro.com

■本社・工場／〒673-0028 兵庫県明石市硯町3丁目4番7号
■東京支店／〒130-0012 東京都墨田区太平3丁目11番10号


関連会社

日本ジッコウ株式会社 | エースコンサルタント株式会社

# 大樟会旗を新調しました

母校創立80周年を迎え、また同窓会名を「大樟会」と改称しました。これを機に大樟会旗を新調し、写真右側の旗を全国各支部に順次お送りしています。旗のサイズはタテ130cm、ヨコ200cm、赤紫の落ち着いた色調で、大学の校旗とも同じ色合いで一体感を持たしています。支部での諸行事にご使用ください。

## ●編 集 後 記●

○…母校創立80周年の記念事業が次々と花開き、“Jump up”の会い言葉で始まった「記念募金事業」も今年3月末で幕を閉じます。多くの皆さまの善意が、大学の発展に必ず寄与するものと確信します。本当にありがとうございました。

○…記念事業の結びはキャンパス計画最終となります新校舎の竣工です。大学全体のシンボル棟として90～100周年を展望しながら、大隅の地に「大阪経済大学」の名を永遠に刻むでしょう。

○…昨年11月の大樟会総会の記念講演では世界の情勢が詳解され、グローバルな視点を持つことの大切さが身にしみました。「産近甲龍」を追い越し「関関同立」に追いつけ、という関西私立大学を囃し立てるランク付けなど、小さな視点にすぎません。

○…80周年記念号は藤原広太郎総務部長はじめ教職員の多大な協力と外注の拡充で発行できました。同窓会の広報部だけの企画、取材は限界を超えています。今後、大学のさらなるご協力をお願いするとともに、読者の皆さんも澱江へのご協力をお願いいたします。

（広報部長＝平田義行）

OSAKA UNIVERSITY OF ECONOMICS
澱江（でんこう） 2013

■発行日　2013年1月30日（水）
■編　集　大阪経済大学大樟会 広報部
〒533-8533　大阪市東淀川区大隅2-2-8　電話06-6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp　URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印　刷　株式会社 廣済堂
〒560-8567　大阪府豊中市蛍池西町2-2-1　電話06-6855-9241